

地域密着型教育推進事業

平成23年度 実践報告集



是川東小学校地域学校連携協議会委員委嘱状交付式

「地域密着型教育」を通して

子どもたちに確かな学びと豊かな育ちを！

学校・家庭・地域社会が連携・協力し、

- (1) 子どもたちによりよい教育環境を提供します。
- (2) ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもを育てます。
- (3) 地域ぐるみの教育活動を展開し、
明るく活力あるまちづくりに貢献します。

八戸市教育委員会

— 目 次 —

巻頭言 ----- 八戸市教育委員会 教育長 松山隆豊

1 章 平成23年度の事業概要

1 基本方針 -----	2
2 平成23年度の重点 -----	2
3 平成23年度の予算 -----	3
4 コーディネーターの活用 -----	4
5 事業の経過 -----	5
6 予算からみた各校活動状況（地域密着型教育推進事業費活用校のみ） -----	6
7 平成23年度の成果と課題 -----	6
8 次年度の見通し -----	8

2 章 平成23年度推進校報告書

1 八戸小学校 -----	1 0	21 西園小学校 -----	5 8
2 城下小学校 -----	1 2	22 明治小学校 -----	6 0
3 吹上小学校 -----	1 4	23 豊崎小学校 -----	6 4
4 長者小学校 -----	1 6	24 新井田小学校 -----	6 6
5 函南小学校 -----	2 0	25 松館小学校 -----	6 8
6 中居林小学校 -----	2 2	26 旭ヶ丘小学校 -----	7 0
7 柏崎小学校 -----	2 4	27 市野沢小学校 -----	7 2
8 江陽小学校 -----	2 6	28 中野小学校 -----	7 4
9 青潮小学校 -----	3 0	29 鳩田小学校 -----	7 6
10 白銀南小学校 -----	3 2	30 島守小学校 -----	7 8
11 種差小学校 -----	3 4	31 第一中学校 -----	8 0
12 金浜小学校 -----	3 6	32 第三中学校 -----	8 2
13 根城小学校 -----	3 8	33 江陽中学校 -----	8 4
14 白山台小学校 -----	4 2	34 白銀南中学校 -----	8 8
15 江南小学校 -----	4 4	35 根城中学校 -----	9 0
16 田面木小学校 -----	4 6	36 北稜中学校 -----	9 2
17 根岸小学校 -----	5 0	37 是川中学校 -----	9 4
18 日計ヶ丘小学校 -----	5 2	38 明治中学校 -----	9 6
19 是川小学校 -----	5 4	39 大館中学校 -----	9 8
20 是川東小学校 -----	5 6	40 島守中学校 -----	1 0 0

3 章 実践発表資料

1 第一中学校発表資料（推進校連絡会） -----	1 0 3
2 柏崎小学校発表資料（実践研究発表会） -----	1 0 8
3 大館中学校発表資料（実践研究発表会） -----	1 1 3

4 章 関係資料

1 地域密着型教育推進事業実施要項 -----	1 1 6
2 八戸市「地域密着型教育推進事業」推進校における 地域学校連携協議会の設置に関する要綱 -----	1 1 8
3 地域密着型教育推進事業に係る 「地域密着型教育コーディネーター」設置要綱 -----	1 2 2
4 地域密着型教育推進事業基本構想図 -----	1 2 4
5 同一学区内地域学校連携協議会の形態例 -----	1 2 5
6 新規推進校年間スケジュールの例 -----	1 2 6
7 地域密着型教育推進事業と学校支援地域本部事業との違い -----	1 2 7

地域密着型教育の推進に向けて

八戸市教育委員会

教育長 松 山 隆 豊

今年度から小学校で、来年度からは中学校でも全面実施される新学習指導要領では、これまでも増して家庭や地域社会と連携した教育活動の推進が求められています。平成20年度にスタートした地域密着型教育推進事業は、この方針を先取りし、八戸市の学校風土や地域性をふまえて、いわば八戸版コミュニティースクールとして、家庭や地域社会と連携した開かれた学校づくりとして推進してきたところです。

今年度はこれまでで最多の24校を新規推進校に指定したことから、①新規推進校に対する支援の強化、②地域学校連携協議会の組織の簡素化・見直し、③推進校連絡会等の開催による支援、の3点を市教育委員会としての重点といたしました。具体的には、担当指導主事による新規推進校への訪問を通して、地域学校連携協議会設置に関わる手順や、学校や地域の状況に合った組織について検討を重ねたり、各校の状況を情報交換できる場として推進校連絡会等を開催したりして支援してまいりました。地域学校連携協議会の立ち上げに際しては、「このような話し合いの場ができてよかった」「学校の様子がよくわかった」等の意見が出されるなど、充実した話し合いが行われたところが多かったようです。これまでに、新規推進校の全てで地域学校連携協議会が立ち上がるなど、合計40校の推進校が着実に実績を積み重ねております。

地域密着型教育のねらいは、学校教育の充実にあります。当事業はそのための学校、家庭、地域社会三者の連携・協力が推進できるしくみづくりを進めようというものです。しくみづくりのキーワードは願ひ・情報・責任・学びの共有ですが、特に「責任」については、それぞれの責任を三者で共有するとともに、それぞれが責任を果たすことも求められます。時には立ち戻って、家庭が、地域社会が、学校が本来果たすべき責任に目を向けることも重要です。

また、地域密着型教育は短期間に大きな成果を求めず、じっくりと取り組むことが大切です。協議会の組織は、発足の時点で細かく作りすぎると課題が多いようです。話し合いを繰り返し、他校の実践を参考にしながら見直しを図り、学校や地域の実情に合った組織や内容を作り上げていく必要があります。学校教育課題の解決を目指して、時間をかけて取り組んでほしいものです。

来年度は新規の14校を加え、54校が推進校となる予定です。この報告集が参考となって、これまでの推進校も新規の推進校も、学校や地域の特色を生かした取組が行われ、子どもたちの確かな学びと豊かな育ちを目指す地域密着型教育が推進されるよう心から願っております。

1 章 平成23年度の事業概要

1 基本方針

(1) 趣旨

児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、地域密着型教育を推進し、推進校の運営に関して、地域の住民及び保護者等の参画等を進める。

(2) 推進校における実践内容

保護者および地域住民が、学校運営に参画できる地域学校連携協議会を推進校に設置し、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

- ①「願い」「情報」「責任」「学び」の四つを学校・家庭・地域社会が共有し、PTA 活動や地域活動などとの連携・協力を深めることにより、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させる。
- ②教育方針等に地域住民等の願いを反映させるとともに、地域の特色や地域住民等の教育力を生かした教育活動を展開することにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着を育む。
- ③地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献する。

(3) 推進校の指定

- ①学校が指定を希望し、教育委員会が推進校を指定する。指定は、単年度ごととする。
- ②各校には4月1日付で指定書を交付する。
- ③平成24年度の指定については、10月頃に希望調査を実施する。

(4) 留意点

- ①八戸市教育委員会が定める「八戸市『地域密着型教育推進事業』推進校における地域学校連携協議会の設置等に関する要綱」及び「地域密着型教育推進事業実施要項」に従って事業を推進する。
- ②地域学校連携協議会（保護者、地域住民、教職員等で構成）は必ず設置し、年3回程度開催する。
- ③専門部会、企画・推進部会、事務局等の設置は、学校の判断によることとする。

2 平成23年度の重点

(1) 地域学校連携協議会の立ち上げ

新規推進校は、地域学校連携協議会立ち上げのための準備にじっくりと時間をかけて、保護者、地域住民、教職員の共通理解のもとに立ち上げることが重要である。よって、新規推進校は、地域学校連携協議会の立ち上げと3回の協議会の運営を1年目の目標とする。

①新規推進校に対する市教委の支援

担当指導主事を割当てて支援するほか、推進校連絡会を開催し情報交換を推進する。市教委は、地域学校連携協議会立ち上げに関する支援を最優先に取り組む。

②中学校区の校長協議会の開催

地域学校連携協議会の形態（学校単位、学区単位等）をどのようにするか、中学校区内推進校の校長先生方で相談をする必要がある。

③推進校 1 年目の年間のスケジュール

年間スケジュールを立て、急がずに進めることが重要である。

④立ち上げの準備段階での留意事項

ア 市教委の定める要項及び要綱のもとで、学校としての当事業のねらいを明確にする。

イ P T A や既存の組織を生かし、新たな負担を少なくする工夫をする。

ウ 準備会や準備委員会での話し合いを大切にする。特に地域住民や保護者の代表者に学校の方針を理解していただき、組織のあり方や委員の人選について率直に話し合うことが、今後の地域学校連携協議会の充実につながる。

(2) 地域学校連携協議会の充実

指定を受けた最初の 2 ～ 3 年は、地域学校連携協議会の充実をめざして取り組む必要がある。専門委員会の活動やボランティアの活用は、協議会が充実することで自ずと推進が図られると考えられることから、地域学校連携協議会の委員（特に保護者、地域住民）が協議会を通して、「学校運営への参画意識」が高まるよう、協議会の運営を下記のような視点で工夫する。

①学校の現状や経営方針、教育計画等の扱い方

保護者や地域住民が関心をもちやすい具体的な内容を、わかりやすい資料を使って示し、話し合いをもつことが重要である。

②保護者や地域住民の考えや要望等の扱い方

要望、意見について、どこで検討するのか（学校で、P T A で、企画推進委員会等）を明らかにし、検討結果（学校行事の変更、P T A 活動の改善、ボランティアの活用等）を次回の協議会で報告することが重要である。

③協議会としての意志決定の機会の保障

委員全員の意見を吸い上げたり、学校が協議会に年間行事予定等を諮り意思決定の機会をつくったりするなどして、委員としての役割を担っているという実感をもってもらうことが重要である。

④協議会前の司会者との打合せと協議会進行への支援

上記①～③を充実させるためには、協議会の司会を務める会長との事前の打合せが必要であり、学校としてどのような意見や要望、話し合いを望んでいるのかを司会者に理解してもらうことが重要である。また、必要に応じて協議会中でも多くの委員の意見を吸い上げるような工夫が重要である。

3 平成23年度の予算

(1) 予算上の学校支援地域本部事業活用方針

学校支援地域本部事業は、これまでの委託事業から補助事業に変わり規模は縮小されるが、予算面で有利なため平成 23 年度も下記の基本方針で活用を図ることとする。

①これまで学校支援地域本部事業を実施してきた学校は、そのまま継続する。

②新規に学校支援地域本部事業を希望する場合は、相談の上決定する。

③学校支援地域本部事業が補助事業として継続されている間は活用する。

(2) 地域密着型教育推進事業と学校支援地域本部事業の予算

①学校配分予算

	地域密着型教育推進事業		学校支援地域本部事業	備 考
	普通規模校	小規模校		
報 償 費	160,000	0	240,000	コーディネーター謝金 800 円/h
消耗品費	35,000	15,000	20,860	用紙代、インク代等
保 険 料	50 人まで	15 人まで	36 人まで	ボランティア保険料

②地域密着型教育推進事業の予算－教育指導課担当

③学校支援地域本部事業の予算－社会教育課担当

4 コーディネーターの活用

コーディネーターの年間活動時間数が少ないことから、計画的、効果的な活用が望まれる。

(1) コーディネーターの委嘱

平成 22 年度までの推進校は、3 月末までにコーディネーターの名簿の提出があれば、4 月 1 日付けで委嘱できるが、保険は 4 月中旬でないと加入にならない。

来年度の新規推進校は、4 月末までの名簿提出、5 月 26 日(木)のコーディネーター研修会①で委嘱状の交付を予定している。

学校支援地域本部実施校のコーディネーターについては、社会教育課の計画による。

(2) コーディネーターの活動計画

連絡調整のために、毎週定められた曜日に活動日を設けて、あとは必要に応じて活動するなど、コーディネーターと相談しながら効果的な活動ができるよう工夫する必要がある。

(3) コーディネーターの研修

コーディネーターの資質向上を目指して、地域密着型教育の概要、コーディネーターの活動内容、関係文書の作成等の内容で、研修会を 2 回実施する。その他に、情報交換を中心とする自由参加の連絡会を 2 回実施し、コーディネーターのネットワーク作りを支援する。

(4) 事務手続きに関する業務

提出書類等について年間の見通しを立て、コーディネーターに計画的に進めてもらうことが重要である。(学校支援地域本部事業に関する業務は社会教育が窓口、それ以外は教育指導課が対応)

(5) コーディネーターの活動内容

- ①地域学校連携協議会委員等への案内の作成・印刷・発送
- ②地域学校連携協議会議事録等必要書類の作成・管理
- ③学校支援ボランティアバンクの作成・保険手続き
- ④各専門部会の全事業についての案内文作成・発送・参加ボランティアの掌握
- ⑤地学連協だよりの作成・全町内会への配付

- ⑥各専門部会で使用する用紙類や消耗品等の購入・会計処理
- ⑦授業等でボランティアが必要な教科・内容・時期の確認・調整
- ⑧学校が必要とするボランティアの開拓・連絡・日程調整
- ⑨研修 ⑩その他

5 事業の経過

(1) 全体に関わる行事関係

月	日	曜	内 容	備 考
3	28	月	地域密着型教育推進事業予算説明会 予算額及び予算の執行方法等の説明	
4	1	金	小・中学校 40 校を推進校に指定	
5	26	木	地域密着型教育コーディネーター研修会① 委嘱状交付、事業説明、予算説明、活動内容等	
7	4	月	地域密着型教育推進校連絡会① 市教委の方針、各推進校の現状と課題（分科会）	
8	22	月	地域密着型教育コーディネーター連絡会① 各校の現状と課題、コーディネーターの役割	自由参加、情報交換
9	9	金	地域密着型教育推進事業説明会 事業内容、今年度の実施状況（明治中学区報告）	未実施校対象
9	12	月	次年度推進校希望調査 次年度推進校 54 校の予定（新規推進校 14 校）	
10	12	水	地域密着型教育コーディネーター連絡会② コーディネータ活動上の問題点（分科会）	自由参加、情報交換
12	5	月	地域密着型教育コーディネーター研修会② コーディネータ活動報告（第一中）	
12	19	月	地域密着型教育推進校連絡会② 推進校報告（第一中）、各校の現状と課題（分科会）	
1	24	火	小中 JS・地域密着型教育実践研究発表会 実践報告（柏崎小、大館中学区）	推進校からの実践発表
3			平成 23 年度地域密着型教育実践報告集発行	

(2) 各推進校関係

- ・各推進校に 4 月 1 日付けで指定書を送付
- ・新規推進校の準備会、準備委員会に担当指導主事が出席
- ・新規推進校の第 1 回地域学校連携協議会に、教育長（教育部長、教育部次長）、教育指導課長他担当職員が出席
- ・全ての新規推進校で、地域学校連携協議会発足
- ・各校の地域学校連携協議会に、担当指導主事が出席

6 予算からみた各校活動状況（地域密着型教育推進事業費活用校のみ）

（1）項目ごとの予算執行状況（1月末現在）

項 目	予算額	執行額	備 考
コーディネーター謝金	2,720,000	1,314,400	800 円/h × 活動時間（17 人分）
消耗品費	730,000	472,404	35,000 円 or 15,000 円（24 校分）
ボランティア保険料等	286,000	73,480	保険登録者数 226 人

（2）コーディネーターの1校当たり月別平均活動時間（1月末現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
時間	0.8	12.5	15.5	13.6	8.8	9.9	14.1	16.8	16.4	14.4

（3）ボランティアの活用状況（12月末現在）

	短期的活動		長期的活動		備 考
	26 校合計	1 校平均	26 校合計	1 校平均	
4～7 月	1,333 人	51.3 人	150 人	5.8 人	
8～12 月	1,865 人	71.7 人	23 人	6.7 人	
合 計	3,198 人	123.0 人	173 人	6.7 人	

短期的活動：授業等の補助、環境整備作業等短期的な活動

長期的活動：部活動指導、登下校見回り等長期的な活動

※ PTA 会員等、ボランティア保険登録をしないボランティアを含む

（4）消耗品費による購入品目

用紙、輪転機インク、コピー機トナー、事務用品等を、予算の上限で一括購入する学校がほとんどである。

7 平成23年度の成果と課題

（1）市教委の重点等に関する取組について

①新規推進校に対する支援の強化

○地域学校連携協議会設立までの方法やスケジュールの例を示して日程を検討したことで、保護者や地域の代表者を巻き込んで計画的に準備が進められ、各校とも順調に地域学校連携協議会が立ち上がった。

②各校の組織に対する柔軟な対応

○専門部会等の細部にわたる組織については、必ずしも必要ないこと、学校や地域の状況に応じて今後相談していけばよいことを基本方針として新規推進校と準備を進めた結果、無理なく地域学校連携協議会を立ち上げることができた。

- 各校に適した組織の提案ができるように、情報の収集を進める必要がある。

③推進校連絡会等による支援

○年間2回ずつ推進校連絡会、コーディネーター研修会、コーディネーター連絡会を開催したことにより、特に新規推進校にとって必要な情報を得る場となった。

- コーディネーター研修会とコーディネーター連絡会の違いがはっきりしなかったので、検討が必要である。

④その他

○地域学校連携協議会の話し合いは、取組年数の多い学校ほど充実してきているが、今後も充実に向けた手立てが必要である。

- ボランティア保険の申請件数が増えてきており、効率的に手続き業務ができるよう改善を図る必要がある。

(2) 推進校連絡会で協議された内容について

①地域学校連携協議会に関して

○小中一緒に行うことによって、それぞれの成果や課題を共有できる。

- 地域学校連携協議会委員の人選について、小中の調整に苦慮している。

- 学校評価について小中一緒に行ったが、時間がかかり焦点もしぼれなかった。

②コーディネーターに関して

○事業推進の上で人脈のあるコーディネーターの役割が大きい。

○コーディネーターの活動のおかげで、教頭の負担が軽減されている。

- 地域とのつながり、学校とのつながり、活動の特性、活動時間等から、コーディネーターの選定に苦慮した。

- 資質向上のためには、コーディネーターの交流、研修が必要である。

③ボランティア活動について

○ボランティアによる活動で、図書室整備、環境整備、安全・安心活動等が進んだ。

- 保護者が学校に入ることによって教師批判になることがある。

- ボランティアが増えない。同じ人がボランティア活動を行うことが多い。

④その他

○学校への来客が多くなったことで、生徒指導面の問題が減少し、教師の授業力が向上し、子どもの学力も向上した。

- 予算が少ない。特に小規模校では余裕がない。

- 教職員、保護者、地域住民の事業に対する理解が不十分である。

- 休日の地域行事に子どもや職員の参加を求められることが多くなっている。職員の負担、事故の際の補償等課題がある。

- グッジョブウィークやジョイントスクールをどう位置付けていくかが課題である。

- 市教委として、今後の方針、方向性を示してほしい。

- ・学校支援地域本部事業終了後の方向性
- ・地域学校連携協議会の形態（単独か合同か）
- ・委員の負担軽減策

(3) コーディネーター研修会等で出された問題点について

- ボランティア活動に必要な材料やお茶菓子等、コーディネーターが独自の判断で使えるような予算がほしい。（地域密着型教育推進事業費活用校）

- 1校1人のコーディネーターの場合、相談する相手がいない。

8 次年度の見通し

(1) 平成24年度の基本方針

平成 24 年度は今年度と同様の基本方針で事業を展開するが、学校支援地域本部事業が県の重点事業最終年度を迎えることから、学校支援地域本部事業と併せて地域密着型教育を展開している学校がスムーズに移行できるよう、当該学校、教育指導課、社会教育課の連携をこれまで以上に密にして取り組むこととする。

(2) 平成24年度の重点

- ①新規推進校への支援の強化
- ②推進校連絡会等の開催による各校取組への支援
- ③地域学校連携協議会の充実

(3) 平成24年度地域密着型教育推進事業予算案（1校当たり）

	普通規模	小規模	本部事業	備 考
小学校の規模の基準	100人以上	100人未満		
中学校の規模の基準	80人以上	80人未満		
コーディネーター謝金	160,000	0	160,000	謝金 800 円（1 時間）× 200 時間
消耗品費	30,000	15,000	20,000	用紙代、インク代等
保険料	各校50人まで	各校15人まで	各校30人程度	ボランティア保険料 280 円（1 人）

(4) 平成24年度関係行事

月	日	曜	内 容	備 考
4	24	火	地域密着型教育推進校説明会	事業推進の基本方針等
5	24	木	地域密着型教育コーディネーター研修会①	
7	3	火	地域密着型教育推進校連絡会①	
8	23	木	地域密着型教育コーディネーター研修会②	
10	1	月	地域密着型教育推進事業説明会	未実施校対象
12	3	月	地域密着型教育コーディネーター研修会③	
12	17	月	地域密着型教育推進校連絡会②	
1	21	月	小中 JS・地域密着型教育実践発表会	推進校からの実践発表
3			地域密着型教育実践報告集発行	

2 章 平成23年度推進校報告書

1 八戸小学校 -----	1 0	21 西園小学校 -----	5 8
2 城下小学校 -----	1 2	22 明治小学校 -----	6 0
3 吹上小学校 -----	1 4	23 豊崎小学校 -----	6 4
4 長者小学校 -----	1 6	24 新井田小学校 -----	6 6
5 図南小学校 -----	2 0	25 松館小学校 -----	6 8
6 中居林小学校 -----	2 2	26 旭ヶ丘小学校 -----	7 0
7 柏崎小学校 -----	2 4	27 市野沢小学校 -----	7 2
8 江陽小学校 -----	2 6	28 中野小学校 -----	7 4
9 青潮小学校 -----	3 0	29 鳩田小学校 -----	7 6
10 白銀南小学校 -----	3 2	30 島守小学校 -----	7 8
11 種差小学校 -----	3 4	31 第一中学校 -----	8 0
12 金浜小学校 -----	3 6	32 第三中学校 -----	8 2
13 根城小学校 -----	3 8	33 江陽中学校 -----	8 4
14 白山台小学校 -----	4 2	34 白銀南中学校 -----	8 8
15 江南小学校 -----	4 4	35 根城中学校 -----	9 0
16 田面木小学校 -----	4 6	36 北稜中学校 -----	9 2
17 根岸小学校 -----	5 0	37 是川中学校 -----	9 4
18 日計ヶ丘小学校 -----	5 2	38 明治中学校 -----	9 6
19 是川小学校 -----	5 4	39 大館中学校 -----	9 8
20 是川東小学校 -----	5 6	40 島守中学校 -----	1 0 0

本校児童と第二中学校生徒が短冊に「自分の夢」や「復興への願い」「これからの八戸への思い」などを書きました。そして、それらが八戸七夕祭りに展示されました。

(3) 俳句と詩吟

昨年度と同じく、みやぎさん祭りに本校の5年生の子ども達が参加し、俳句を奉納しました。今年度は、詩吟愛好会の方々から指導していただき、その俳句を吟じました。

また、学習発表会でも、平家物語の詩吟を披露しました。



(4) 町内会長さん方の給食体験会

学習サポート部会のはじめての試みとして、町内会長さん方に学校給食を体験していただく会を実施しました。PTA役員の方々にお手伝いいただきながら、参加を申し込んでくださった7名の町内会長さん方とPTA役員6名、本校から3名、計16名



で会食しました。

当日のメニューは、「せんべい汁、さばのみそ煮、白菜のおひたし、ご飯、牛乳」という郷土食！会長さん方にも好評でした。その後、会長さん方から「とてもいい企画でした。続けてほしい。今度は誘い合って来ますよ。」というありがたいご意見をいただきました。

(5) 「はっち」でのアンサンブル発表会

本校の吹奏楽部が例年行っているアンサンブル発表会を、今年度は、12月19日(月)17時より、ポータルミュージアム「はっち」のシアター2で行いました。部員全員が練習の成果を発表し、多くの保護者の方々や地域の方々から拍手をいただきました。

(6) 星を観る会

11月3日の夜、施設開放部会の事業として、地域の方を講師に招き、星を観る会を開催しました。木星の縞模様もきれいに見え、子どもたちから歓声が上がりました。部会の方々のご好意で温かいココアをいただき、よい思い出になったことと思います。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 4人(保護者含む) ※実際の活動人数は、約100名

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 4人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域の方々と学校とのつながりが深くなりました。来賓の運動会・学習発表会などの学校行事への出席率が年々上向いています。地域の方々から、「学校の垣根が低くなり、身近に感じられるようになった。学校はよくがんばっている。」という声をいただいています。
- ・子どもたちも自然に地域の方々と関わり合い、教えを素直に受け入れています。地域の歴史や自然を学習したり、伝統行事等に参加したりする中で、子どもたちが将来街の活性化に貢献する大人に育つであろうと思われます。

(2) 課題

- ・これまでも、地域からの誘いが学校の教育方針と合わないときは、毅然として断ってきましたが、今後ともお互いにメリットのある関わり方をしていく必要があります。
- ・地域と関わるためには、地域のしくみをよく理解し、まずどの組織に話を通すべきかを、学校も知っておく必要があります。
- ・学校だよりや学校ブログの他にも保護者への発信方法を増やし、地域密着への周知を図る必要があります。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立城下小学校

校長 成田 昌実



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成23年6月21日(火)
- ②協議内容(箇条書きで)
- ア 委嘱状交付 イ 平成23年度の計画
- ウ 学校評価について エ その他
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成23年12月20日(火)
- ②協議内容(箇条書きで)
- ア 平成23年度活動報告 イ 学校評価について
- ウ その他連絡、確認事項等

- (3) 第3回 ①実施日時 平成24年2月下旬開催予定

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

- (1) 準備委員会 ①実施回数 回
②構成メンバーの概要
③検討内容
- (2) 企画推進部会 ①実施期日 5月30日(月)
②参集範囲 PTA会長, PTA各専門委員会委員長, PTA執行部
校長, 教頭, 各専門委員会担当教員
- (3) 専門部会 なし

3 具体的な取組状況

- (1) 図書室整備
 - ・ 4月～1月まで11回（本の登録や整頓、本の修復、図書室の装飾や装飾品の撤去）
- (2) 読み聞かせ
 - ・ ボランティア8名による年間各学級10回前後の読み聞かせを実施。
- (3) 卓球部の指導
 - ・ ボランティア2名による卓球指導4月～1月
- (4) 安全マップ作り（5年）
 - ・ 9月26日（月）沼館城下振興会、沼館城下防犯協会、交通安全協会沼館城下支部、沼館交番等から20名の方々の協力を得て実施。学区全8町内のポイントを決めてフィールドワークを行い、「入りやすく見えにくい場所」の観点による危険箇所を見つける活動を実施。

(5) 110番の家スタンプラリー(3年)

- ・10月25日(火)沼館城下振興会, 沼館城下防犯協会, 交通安全協会沼館城下支部, 沼館交番, 3学年PTA等の協力を得て実施。5つのポイントを決めて110番の家を訪問しながらのスタンプラリーを実施。

(6) しめ飾り作り(5年)

- ・11月16日(水)三八城公民館, 寿の会の協力を得て実施。寿の会12名の方々が講師となり児童に指導。

(7) 俳句教室(5年)

- ・10月31日(月)沼館二丁目第二町内会長佐々木様を講師に迎え実施。

(8) 校外巡視活動

- ・7~12月に4回実施, PTA校外指導委員会による巡視, 沼館城下防犯協会による巡視も定期的に行われている。巡視結果はPTA会員と地域学校連携協議会委員に通知。

(9) 防犯ポスター作成(4年)

- ・12月に実施。沼館城下防犯協会と連携しての取り組み。1月に学区内大型ショッピングセンターに展示。

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 17人(保護者含む) |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 9人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果 ①PTAとの連携を一層図るため, 年度当初に企画推進部会を開催し, 全職員とPTAによる各部会での情報交換を行い, 昨年度の実績を基にした共通理解を持つことができた。このことにより, 地域密着型教育関連の教育活動について見通しを持って取り組むことができた。
- ②ボランティア対応の事務, 会議記録, 地域密着教育関連教育活動の記録等の記録保存や情報発信のための学校便り発行配布ための作業等, コーディネーターの役割が昨年度に比較して明確になってきた。それによりコーディネーターとの連携もスムーズになり, 事務処理や発信に関する業務が円滑に進むようになってきた。
- (2) 課題 ①地域密着型教育に取り組んで2年目であるが, 職員やPTA、地域の地域密着型教育に関する理解が十分とはいえない。今年度の地域密着型教育として位置づけて実施した具体的な取り組みについて振り返り, 地域密着型教育に対する共通理解, 共通認識を更に確かなものにしていくための工夫が必要である。
- ②コーディネーターとの連携がスムーズになってきたが, 何をどこまでお願いするかに関しては模索しているところである。コーディネーター研修会で得た情報を校長, 教頭, 教務主任と共有したり, コーディネーターとしての思いや考えを聞いたり話し合ったりする時間を設けるなど, コーディネーターとの連携を深めていく手立てを講じ, コーディネーターの役割を一層明確にして活動しやすい状況を作るとともに, コーディネーターの持つ思いや考え, 悩みなどに耳を傾けていく必要がある。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立吹上小学校
校長 三 笠 勝 彦 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- | | | |
|---------|-------|--|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成23年6月14日（水）8：30～ |
| | ①協議内容 | 地域密着型教育推進事業の概要について
地域学校連携協議会委員の選任
学校関係者評価委員の選任 |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成24年1月23日（月）17：00～ |
| | ②協議内容 | 地域密着型教育推進事業の経過報告
学校評価（児童・職員・保護者）結果について
学校関係者評価について（意見拝聴） |
| (3) その他 | 日曜参観日 | 平成23年11月13日（日）
授業参観・道徳授業
学校保健委員会・参観
アンケート記入 |
| | 参観日 | 平成23年12月2日（金）
授業参観・各学級
アンケート記入 |

2 具体的な取組状況

(1) 図書室整備支援

<日常的な活動>

期 日 毎週2回（月曜日・木曜日）10：00～12：00
回 数 週2回 参加人数 常時3名～5名（保護者）
内 容 図書室の整備作業（修理・整備・登録・装飾・廃棄）の実施。

<読み聞かせ>

記 日 平成23年10月2日（日）PTAバザー
夏季・冬季休業中の貸出日
回 数 5回 参加人数 ボランティア 10人
内 容 ボランティアによる読み聞かせの実施。

(2) 環境整備支援

<校庭草取り・運動会入場門設置作業>

期 日 平成23年5月15日
回 数 1回 参加人数 保護者・吹上おやじの会・児童 合計 150名
内 容 運動会に向けた校庭草取り作業（保護者・児童）の実施。入場門設置作業。

<校庭樹木枝切作業>

期 日 平成23年10月9日
回 数 1回 参加人数 10名（保護者）
内 容 PTA環境厚生委員会による桜の枝切作業を実施。

(3) 学習活動支援

<ふれあいタイム>

期 日 5月～12月
回 数 火曜日に実施・年間16回 参加人数 16人程度（地域の祖父母）

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立長者小学校

校長 福田 文弘



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成23年5月30日

②協議内容

◎委嘱状交付式

- ◆今年度の学校経営方針（校長）、学校教育目標具現化全体構想の具体的取組（教務）について説明し、ご意見をいただく。
- ◆今年度の事業計画…学習支援部、幼保小中連携部、地域連携部の重点事項について提案（教頭）し、ご意見をいただく。
- ◆登下校時、地域での子どもたちの様子について情報交換した。

(2) 第2回 ①実施日時 平成23年10月7日

②協議内容

- ◆学校経営の経過報告（校長）をした。
- ◆学習支援部…図書室支援ボランティア・読み聞かせボランティア・野菜づくりボランティアの活動状況について、亀橋コーディネーターが報告し、ご意見をいただいた。
- ◆幼保小中連携部…幼稚園・保育園訪問、J S交流会、参観授業、中学校訪問等についての説明、及び中学校区における非常時変災時の対応について説明し、ご意見をいただいた。
- ◆地域連携部…長者場所相撲大会、区民運動会、ふれあいまつり、学校施設開放等について説明し、ご意見をいただいた。

(3) 第3回 ①実施日時 平成24年1月27日

①協議内容

- ◆今年度の学校教育活動の振り返りと来年度の学校経営方針について校長が報告した。
- ◆学校教育目標具現化全体構想の具体的取組の評価結果について教務主任が報告し、今後の課題解決・改善に向けた取組について教頭が説明。その後ご意見をいただいた。

◆コーディネーターより図書支援ボランティアの活動報告を行った。

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会 ①実施回数 1 回

②構成メンバーの概要

◆事務局、コーディネーター、各専門部長

③検討内容

◆学習支援部、幼保小中連携部、地域連携部の取組重点項目について話し合い、年間の活動計画について検討した。

(2) 専門部会 ◎学習支援部会

①実施回数 4 回

②構成メンバーの概要

◆事務局、コーディネーター、学習支援部長、PTA役員他

③検討内容

◆環境奉仕活動について ◆図書支援活動について

◆プールの監視計画について ◆えんぶり鑑賞会について

◎幼保小中連携部会

①実施回数 6 回

②構成メンバーの概要

◆幼保小中連携部長（本校教務主任）、長者中教務主任、図南小教務主任、長者幼稚園教頭、福寿保育園主任、他

③検討内容

◆小中連携の計画について ◆J S 交流会について

◆中学校訪問について ◆幼保小合同学習会について

◆幼保小懇談会について

◎地域連携部会

①実施回数 8 回

③構成メンバーの概要

◆事務局、コーディネーター、地域連携部長、地域諸団体事務局員、他

③検討内容

◆学校施設開放事業について ◆親子スポーツ教室について

◆安全パトロール活動について ◆生徒指導情報交換会について

◆長者地区ソフトボール大会について ◆区民運動会について

◆ふれあいまつりについて ◆公民館との連携行事等について

3 具体的な取組状況

(1) 学習支援部

◆図書室支援ボランティア

現在、16名の方々が図書ボランティアに登録している。毎月4回（月曜日・木曜日を中心に）図書室の本の整理・修繕・飾りつけなどの環境整備に努めている。また、その活動のための研修「本の修繕の仕方」「パソコンによる図書管理の仕方」なども自主的に行っている。

(2) 幼保小中連携部

◆小中ジョイントスクール交流会

11月29日に長者中学校区の6年生が中学校を訪問し、中学生と共同授業を行った。また、各校の校内研修参加や教職員の合同研修会を開催するなど、教職員間の交流も深めることができた。来年度は、長者小を会場に凶南小・長者中教員による小学校授業参観を行う予定である。

◆幼保小合同学習会

2月14日には、長者幼稚園・はくさん保育園・サンフラワー保育園・たいなか保育園・福聚保育園の年長（平成24年度1年生になる園児全員）が来校し、園児と一緒に合同の学習会を実施する予定。また、給食時には全学級に園児が分かれて、全校児童と一緒に給食を食べる予定である。

(3) 地域連携部

◆生徒指導情報交換会

長者地区青少年生活指導協議会の組織を活用し、6月14日と11月18日の2回、長者小・凶南小・長者中の三校合同の生徒指導情報交換会を実施した。この会では、学校、PTA（校外生活安全・交通安全母の会・広報）、町内会、防犯協会、青少協、交通安全協会、中央交番の方々が長者公民館に集まり、児童生徒の健全育成について話し合った。現在のところ、非行や問題行動等はみられず、児童生徒の挨拶も良くなって来ているということが報告された。また、交通安全や生活安全等について、引き続き学校・家庭・地域が協力して児童生徒の安全確保に努めていくことを確認しあった。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 18 人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 18 人

※地域密着型教育予算による保険加入者数である。

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ◆地域学校連携協議会では、協議会委員の方々に学校の教育方針や現状を知っていただき、そのことについてのご意見やご指導をいただいた。地域の情報も入れながら課題解決に結び付けることができた。
- ◆地域学校連携協議会を設置することにより、開かれた学校づくりの推進に努めることができた。
- ◆コーディネーターの働きにより、図書支援ボランティアの積極的な活用を図ることができた。図書室環境の整備をしていただいたり、読み聞かせをしていただいたりしながら、児童の読書量の向上に寄与することができた。
- ◆地域の人材活用により、学習内容に広がりが見られ、地域の安全性の向上にもつながってきている。

(2) 課題

- ◆今後、長者地区各小・中学校が連携して地域密着型教育に取り組み、地域諸団体とかかわっていく必要もでてくるのではないか。そのような意味では、今後ネットワークづくりを重視していく必要があると思われる。
- ◆長者地区各小・中学校間で、学習指導、生活指導、8Dプラン…等もこれまで以上に情報交換を密にしながら、共同歩調を進めていくことが理想である。
- ◆保護者や地域の方々に対して、学校の取組をより理解していただくことができるように、情報の内容を工夫するなど、情報発信の質を更に高めていきたい。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立函南小学校

校長 小 関 恵 子



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回
 - ①平成23年5月16日（月）16：00～
 - ②協議内容
 - ア 議事（①会則の承認 ②会長・副会長指名 ③23年度学校経営計画について ④今年度の事業日程・組織案の説明）
 - イ 今年度のボランティアの活動について
- (2) 第2回
 - ①平成23年9月8日（木）13：50～
 - ア 議事（①学校評価に係る取組の状況について《①学校で取り組む3つの重点に関わる自己評価について ②NRT学力調査の結果から ③1学期の重点項目のアンケート調査結果から》）
 - イ 授業参観しての意見・情報交換
- (3) 第3回
 - ①平成23年12月1日（木）15：30～
 - ②協議内容
 - ア 学校目標に関する進捗状況について
- (4) 第4回
 - ①平成24年1月23日（月）15：00～
 - ②協議内容
 - ア 学校目標に関わる評価の結果と考察
 - イ 学校関係者評価委員会からのご意見
 - ウ 24年度地域学校連携協議会事業案について

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

- (1) 理事による授業参観
 - ①実施回数3回
 - ②地域学校連携協議会理事
 - ③授業参観と意見交換
- (2) ボランティアとの意見交換会
 - ①実施回数1回
 - ②地域ボランティア、地域学校連携協議会理事
 - ③今年度のボランティア活動についての意見交換

3 具体的な取組状況

- (1) 常時的なボランティア活動
 - ①部活動の指導（5名）：4月から実施
 - ・野球部、サッカー部、ミニバスケットボール部、吹奏楽部の練習及び試合の指導等を行った。
 - ②朝の読書の見守り（述べ5名）：6月6日から実施
 - ・職員朝会のある月曜日と木曜日に、朝の読書活動を見守っている。1年生への読み聞かせも実施した。
 - ③クラブ活動の指導（述べ12名）：4月から12月まで実施
 - ・ヒップホップダンス、茶道・華道、料理、昔の遊び、ボランティアの5つのクラブ活動での指導・支援を実施した。バザーで、クラブの展示を行った他、ヒップホップダンスクラブによるステージ発表も実施した。

(2) 単発的なボランティア活動

①環境整備活動（資源物回収）第1回：7月9日（土）、第2回：11月5日（土）実施

- ・アルミ缶、新聞紙等の資源ごみを各町内から回収し、学校の玄関前に集め、市のリサイクルパートナー事業指定の業者に引き渡した。2回の活動で延べ20名ほどのボランティアが参加した。

②学習支援（6学年親子キャンプ）7月23日（土）～7月24日（日）実施

- ・6学年主催の親子キャンプに延べ20人ほどのボランティア（お父さん委員会・PTAOB）が参加し、三戸のチェリリン村でのキャンプで支援を行った。テント張り、キャンプファイヤー、名久井岳登山などのサポートを行った。

③学習支援（宿泊学習）8月30日（火）～9月1日（木）実施

- ・種差少年自然の家での宿泊学習で、敷地外での活動の見守りとして11名のボランティアが参加した。特に海辺での活動では、非常事態に備え待機してもらった。

④学習支援（生活科の町探検）9月12日（月）、14日（水）実施

- ・学区の町探検の見守りとして3つのグループへ延べ10名のボランティアが参加した。

⑤学校行事支援（秋を楽しむ会）11月11日（金）実施

- ・秋を楽しむ会で行うイモ焼きの手伝いに10人のボランティア（保護者、地域のお年寄りの方）が参加し、火おこし等の活動を行った。

⑥PTA 行事支援（バザー）10月2日（日）実施

- ・PTA 主催のバザーに、PTAOB 20名がボランティアとして参加し、当日までの食材の準備や当日の野菜コーナーや輪投げコーナー、餅コーナーなどで販売のサポートを行った。

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 61人（保護者含む） |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 34人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・ボランティアの登録と必要なボランティアの募集等を2人のコーディネーターの配置でスムーズに行うことができた。地域密着通信でボランティアの募集も行うことができた。また、ボランティアと理事との意見交換会を開くことで、ボランティア活動の内容や要望等を直接理事に伝えることができた。
- ・PTA役員OBと現役のPTA役員の2人のコーディネーターを配置することで、保護者・地域と学校をつなぐ体制が整備されてきた。
- ・参観授業を通して児童の変容を直接見ていただくことができた。また、学校評価に関わる意見を定期的にいただくことができた。
- ・従前のPTA活動を中心に、それらの充実と拡充を目指した活動が徐々に見られてきている。

(2) 課題

- ・教育活動の中で、ボランティアを活用する機会が増えるなど、昨年度と比べると教職員への周知や共通理解は図られてきたが、まだ十分とはいえない。来年度も積極的な活用を推進したい。
- ・地域学校連携協議会の組織でほとんど機能していない部会等があるので、見直しを図り、よりシンプルな組織としたい。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立中居林小学校

校長 金 澤 定 光 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- | | | |
|---------|-------|--|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成23年 5月27日（金）18:00～19:30 |
| | ②協議内容 | 推進委員会の今後の活動計画について
今年度の中居林小の経営の重点について
震災を受けての各団体の連携のあり方について |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成23年 9月21日（水）18:00～19:00 |
| | ②協議内容 | 各団体のこれまでの活動について
非常災害時の対応について
各団体間でもっと連携できる部分はないかについて |
| (3) 第3回 | ①実施日時 | 平成24年 1月18日（水）18:00～19:00 |
| | ②協議内容 | 各団体のこれまでの活動について
中小グリーンの活動状況について
学校関係者評価について |

2 具体的な取組状況（～1月末）

(1) 学習活動支援（授業全般への支援，補充指導，調理実習補助，校外活動引率・引率補助）

・算数学習補助	通 年	28日	138名
・さつまいも苗植え	5／27	1日	1名
・クラブ活動指導（布ぞうり作り）	8／30	1日	1名
・安全マップづくり	9／26	1日	11名
・マラソン大会メダル作り	10／21	1日	1名
・やきいも会	10／28	1日	12名
・学区探検	11／10	1日	12名
・中国蘭州市交流会手伝い	11／24	1日	4名
・ずんだあん・きな粉作り	12／16	1日	7名
・もちつき大会	12／16	1日	11名

(2) 図書活動支援（読み聞かせ，紙芝居，図書室整備，図書貸し出し・返却作業）

・ 図書室環境整備	通 年	5 6 日	1 6 9 名
・ 読み聞かせ	月 1 ～ 2 回	8 日	1 4 名
・ 親子ふれあい読書	5 ～ 1 0 月	6 日	1 4 名

(3) 生活安全活動（登下校時の安全，交通安全巡視，風水害時の集団下校児童見守り）

・ 登下校時の安全	通 年	1 4 8 日	8 6 3 名
-----------	-----	---------	---------

(4) 環境整備活動（校舎内外の環境整備）

・ 学校菜園草取り	5 / 6	1 日	1 0 名
・ 校庭水まき	5 / 2 0	1 日	3 名
・ 家庭科室棚ペンキ塗り	7 / 20~22・25	4 日	2 3 名
・ えんぶり「えんこえんこ」銭太鼓修理	1 1 / 8・18	2 日	2 3 名
・ 中国蘭州市交流会準備	1 1 / 2 1	1 日	4 名

3 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 5 9 人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 5 9 人

4 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ボランティアの活用により，子どもたちの学習意欲が高まってきている。また，ボランティアの持っている専門的な知識に触れさせることができた。
- 子どもたちとボランティアとの交流が生まれたり，感謝したりされたりすることによってお互いに満足感が得られている。

(2) 課題

- 同じボランティアに仕事が偏りがちな面があるので，これからも広報紙の発行などにより，地域の方々の啓発を図っていきたい。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立柏崎学校
校長 上 條 秀 信



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（1）第1回（第三中学校と合同開催）

- ①実施日時 平成23年5月23日（月）16:00～
- ②協議内容
 - ・今年度の学校目標並びに重点施策について
 - ・専門部会の今年度の取組について
 - ・新校舎移転に伴う通学路並びに交通安全指導について
 - ・緊急時の対応等について

（2）第2回

- ①実施日時 平成23年12月14日（水）17:00～
- ②協議内容
 - ・学校関係者評価（児童・保護者・教員アンケート）結果の報告と協議
 - ・帰宅後の生活（遊び、読書）について
 - ・ボランティア活動状況について

（3）第3回（第三中学校と合同開催）

- ①実施日時 平成24年2月9日（木）17:30～
- ②協議内容
 - ・第2回理事会（小・中別「学校関係者評価」等）の報告
 - ・今年度の取組について（各専門部長より）
 - ・ボランティアの現状と今後について（コーディネーターより）
 - ・小・中の共通課題について

2 上記以外の会議の実施状況

（1）企画会（地学連協会長、各部長、副部長、校長、教頭、コーディネーター）

- ①実施日時 平成23年6月9日（木）15:30～
- ②協議内容
 - ・4専門部会の昨年度の活動報告
 - ・今年度の活動について

（2）安全安心部会防犯パトロールボランティア組織会（地学連協会長、柏崎地区安全パトロール協議会長、類家地区防犯防犯会長、PTA生活指導委員会、交通安全母の会）

- ①実施日時 平成23年6月9日（木）14:00～
- ②協議内容
 - ・地域の防犯活動について
 - ・PTAの安全安心に係る活動について
 - ・新校舎移転に伴う集団下校等について

3 具体的な取組状況

（1）教育活動部会

①ボランティアによる夏休み学習会

- ・7/27～7/29 各午前の部・午後の部に分けて実施 柏崎公民館利用
- ボランティア人数 八戸東高校生：のべ30人 地域・保護者：のべ30人
- 参加児童数 のべ102人

②読み聞かせ「かしわお話のたまご」

- ・毎月2回の朝の読み聞かせ活動実施（上学年・下学年対象）
- ・図書通信の発行 2回
- ・入学おめでとう読み聞かせ会 5月25日 1回 8人

③授業支援

- ・1年・2年スケート教室指導とひも結び ひも結び 人
- ・2学年生活科幼保小交流活動（おまつりひろば）1回 6人
- ・2学年生活科（校外学習）1回 10人
- ・3学年総合（学区探検）1回 16人
- ・3年総合「かしわ餅づくり」ゲストティーチャー 1人 地域より材料の寄贈
- ・5学年総合（安全マップ作り）2回 20人

④クラブ活動ゲストティーチャー 茶道クラブ 2人

⑤部活動指導 相撲部1人 バトン部1人

(2) 環境整備部会

- ①図書室整備：毎月2回、図書室整備と昼休みの貸し出しボランティア活動を実施
- ②草取り奉仕作業 5月 保護者・地域96人 教職員25人 児童175人
- ③新校舎へ引っ越し手伝い7・8月 地域・保護者109人

(3) 安全安心部会

- ①集団下校指導(8/26) 地域関係機関・町内会役員・保護者77人
- ②夏休みプール監視 のべ85人
- ③PTA 防犯ボランティア 7人
- ④柏崎地区安全安心パトロール(青色回転灯車)
- ⑤防犯協会パトロール
- ⑥類家防犯協会パトロール
- ⑦柏崎地区交通指導隊
- ⑧集団下校指導(12/16) 地域関係機関・町内会役員・保護者62人

(4) 交流連携部会

- ①校外子ども会 7/20(21名) 12/16(37名)
- ②柏崎地区区民運動会 9/4
- ③PTA 主催第32回合同演奏会 1/21
 - ・吹奏楽部・合唱部・バトン部・6年生合唱のステージ演奏、運動部映像発表
 - 第三中学校吹奏楽部賛助出演
 - ・多数の保護者・父親の会、全教職員の協力

(5) ボランティアの集い 1/31

- ①各ボランティアによる情報交換 地域・保護者65名参加
- ②給食試食会

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 65人(保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ①新校舎移転新築に伴う引っ越し作業と新校舎落成記念式典にかかわる膨大な作業に保護者・町内会・地域の関係団体の皆様の表に裏に数え切れないほどの働きに接することにより、児童は旧校舎に対する愛着や感謝、新校舎への期待と歓び、保護者や地域の皆様への感謝の心をもつことができた。
- ②新校舎移転新築に伴い通学路の変更を余儀なくされたが、保護者のみならず地域の関係団体の高い関心をいただき、何度も検討を重ね、子どもの安全のために学校と地域が一体となって、通学路の決定から交通安全指導に当たることができた。学校・保護者・地域の「子どもの安全」に対する課題意識が強く共有され、協力的に実践できた。
- ③新校舎移転新築により、これまでと違う新たな校外学習等を行うことになり、保護者や地域ボランティアの引率補助や指導により、児童も教師も安心して調査活動ができた。
- ④これまでの継続とコーディネーターの働きかけにより、読み聞かせボランティア等、地域からのボランティアが増えてきている。
- ⑤中学校の近くに移転となり、プール使用や小中J S、合同理事会等を通して、これまで以上にお互いの共通理解や連携が深まりつつある。

(2) 課題

- ①地域密着型教育の趣旨やねらいについて、保護者のみならず本校職員も理解が十分とは言えない。教育課程編成会議や各種PTAの会議等を通して、理解を深めていきたい。
- ②学校や地域、子どもたちが抱える課題について保護者や地域の人と共有したいが、お互いの思いを理解するには時間も必要である。お互いに「私的」ではない「公的」意識を高め、お互いを理解しながら合意形成ができる話し合いにしていきたい。
- ③保護者と地域(町内)を同じくする子どもたちを取り巻く諸課題について、小・中学校でも課題を共有し、さらに共通理解と共通実践に努めていきたい。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立江陽小学校

校長 佐々木 正仁



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（1）第1回

- ① 実施日時 平成23年5月25日（水）
- ② 協議内容
 - ・委嘱状交付
 - ・会則，会長・副会長の承認
 - ・江陽小・中学校の平成23年度の学校経営の説明、教育活動の報告
 - ・江陽小・中学校の学校経営・学校運営方針の説明
 - ・平成23年度の地域学校連携協議会会議の日程
 - ・学校関係者評価の依頼

（2）第2回

- ① 実施日時 平成23年6月1日（水）
- ② 協議内容
 - ・専門部会の報告
 - ・主催事業の検討

（3）第3回

- ① 実施日時 平成23年11月30日（水）
- ② 協議内容
 - ・今年度の学校経営・運営及び活動について
 - ・質疑応答
 - ・学校評価の依頼
 - ・来年度の会議日程

（4）第4回

- ① 実施日時 平成24年2月23日（木）（予定）
- ② 協議内容
 - ・平成23年度の学校経営の説明・教育活動の報告
 - ・平成24年度の学校経営・学校運営方針の説明

- ・平成24年度の地域学校連携協議会会議の日程

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 地域づくり会議専門部会 実施回数 1回(平成23年5月25日)

①構成メンバーの概要

- ・江陽町内連合会長・各専門部長・江陽地域各種団体長・両校の職員・両校のPTA役員

②協議内容

- ・地域密着型教育の趣旨説明
- ・専門部会ごとの今年度の事業計画で提案された事業や教育活動について、地域や学校の課題、要望、教育活動の提案がなされた。

3 具体的な取組状況

(1) 地域ボランティアの活用

①プール管理人さんによる学年畑への作物づくり及び収穫の支援【5月～11月】

(ジャガイモ・サツマイモ・大豆・大根・落花生等)

②地域活性化のために運動会で江陽音頭の導入2年目

- ・婦人会4名の協力を頂き、指導4回
- ・運動会(5月22日)に全児童が演技した後、保護者・地域の皆様も多数参加していただき、大盛況であった。

③学校中庭にある池の泥上げ作業

- ・夏期休業中(7月26日)に町内会の方々6名が鯉や金魚を飼っている池の環境を整備して頂いた。

④交通安全見守り隊の方々による朝・夕の立哨と巡回

※日常(約17名)

- ・児童の通学路や商店街の巡回等、会の皆様から安全・安心な学校生活を送れるよう見守って頂いている。

⑤地域ボランティアによるクラブ活動(通年11回)

- ・茶道(3名) ・裂き織り(3名)

(2) 地域の取り組みに参加

<地域行事>

①森のおとぎ会参加 6年児童6名朗読(7月29日)

②江陽地区盆踊り児童参加(8月7日)

③江陽地区スポーツ交流大会参加(9月11日)

- ・本校音楽部が入場行進曲を演奏



④公民館祭りへの参加・作品展示（１０月１６日）

- ・本校音楽部の演奏発表

<ボランティア活動>

①親子で山公園清掃・草刈り活動（江陽緑地公園）

（７月２４日　１回）

- ・児童・保護者（５０数名）及び中学生・地域住民参加

②交通安全マスコットとメッセージ封筒配布活動

（９月２４日）

- ・ラピア前で小中野交番職員・交通安全母の会と一緒に

１２名が参加し、地域交通安全の呼びかけを実施

<地域への発信>

①小中学校合同地域あいさつ運動 ※登校時

（１１月２８日～１１月３０日）

- ・計画委員会・生活委員会と中学生が小中学生や地域の方々に、さわやかで元気なあいさつを呼びかけた。

（３）開かれた学校を目指す

①学校関係者評価委員（地域学校連携協議会委員）との連携

- ・学校行事の案内・参観日での授業参観（通年）

②保護者参観日等で保護者アンケート実施（９月９日）

③招待給食による地域の皆様との交流会

（１１月２２日　２４名招待）

- ・日頃、学校でお世話になっている方々に感謝の気持ちを伝えるために各学級で感謝のセレモニーを行った。
- ・各学級で地域の方々と共に楽しく食事をし、交流を深めることができた。

④６学年公共施設訪問（１月１２日　公民館）

- ・社会科学習で身近な公共施設を見学させて頂いた。
- ・公民館を通して政治の仕組みを学習することで、地域・社会の一員として自覚を持つことができた。

⑤６学年と地域の方々との交流会（２月１０日）

- ・地域の方々１６名を学校に招き、郷土料理を教えて頂いたり、地域や保護者の皆様との交流を図ることによりふれあいを深める。＜予定＞



4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 現在登録 11 人 (保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数
※中学校で加入済み

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成 果

<子ども>

- 地域住民とのふれ合いを多くしたり、地域行事に参加・協力をしたりしたことで、江陽地区への愛着がさらに育ってきている。
- 地域の教育力の活用を図ったところ、子どもたちの学習意欲の向上と地域の良さの発見につながっている。

<地 域>

- 通学路の立哨や商店街の巡回を行って頂いているため、子どもたちの安全・安心が守られている。
- 地域・保護者の来校が増えたことにより、子どもたちの学校での様子や発達段階に応じた学校の取り組みを見てもらうことができた。(開かれた学校)
- 地域の方々からも学校と共に子どもたちを良くしていこうとする意識が高まってきている。

<学校評価>

- 地域・保護者から評価を頂くことで、今年度の学校目標の成果と課題を客観的に把握することができた。(地域の願いの共有)
- 子どもの確かな学びと豊かな育ちのための学校運営の改善に生かすことができた。
- 次年度の教育課程編成に活用することができた。

(2) 課 題

- 学校内では、あいさつや言葉づかい・態度も良くなっているのだが、地域の方々からはあいさつがないとの指摘が多い。大人がまず手本を見せ、進んであいさつをすることで、子どもたちも育っていくとの意見を頂いているので、今後は学校での指導と地域の協力により、習慣化を図っていきたい。
- 地域ボランティアの活用については、十分とは言えない。今後はコーディネーターと連携し、地域学校連携協議会から頂いていた意見をもとにさらなる地域教育力の効果的な活用を図り、「地域で子どもを育てる」学校づくりに取り組んでいきたい。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立青潮小学校

校長 石 田 規 代 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- | | | |
|---------------------|-------|--|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成23年1月15日(火) 午後6時から |
| | ②協議内容 | ア 委嘱状交付
イ 行政説明
ウ 議事 <ul style="list-style-type: none"> ・会則審議 ・会長・副会長指名, 挨拶 ・学校経営方針, 今年度の教育活動の状況等説明 ・地域学校連携協議会組織・年間計画審議 |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成24年1月30日(月) 午後6時から |
| | ②協議内容 | ア 今年度の教育活動の実施状況及び学校評価結果説明
イ 来年度の主な年間行事予定
ウ 2学期の教育支援ボランティア活動の実施状況 |
| (3) 第3回 | ①実施日時 | 平成24年2月29日(水) 午後3時から(予定) |
| | ②協議内容 | ア 学力検査(DRT)結果について
イ 平成24年度学校運営基本方針について
ウ 平成24年度年間行事予定について |
| ※ 午後2時から授業参観を実施する予定 | | |

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備委員会
- ①実施回数 2 回
 - ②構成メンバーの概要 湊地区・湊高台地区連合町内会長 前PTA会長
現PTA会長 校長 教頭 コーディネーター
 - ③検討内容 ア 会則原案審議
イ 地域密着型教育の方針及び組織審議
ウ 地域学校連携協議会委員の選定
- (2) 企画推進部会
- ①実施回数 2 回
 - ②構成メンバーの概要 校長 教頭 コーディネーター
 - ③検討内容 ア 地域密着型教育の方針及び組織審議
イ 地域学校連携協議会委員の選定
ウ 地域学校連携協議会の進め方について

3 具体的な取組状況

(1) 教育環境整備

- ア 図書整備 6月10日(10名) 多目的ホール図書整備作業
- イ プール清掃 6月5日(25名) プール清掃作業
- ウ 除草・側溝泥あげ 5月21日(530名 内児童300名) 除草作業等
- エ 窓ガラス清掃 10月13日, 17日(のべ40名) 玄関, 廊下窓ガラス清掃
- オ 家庭科室整備 12月14日(20名) 家庭科室清掃, 備品整頓等
- カ タイヤペンキ塗り 7月10日(12名) 校庭遊具タイヤペンキ塗り作業

(2) 教育活動支援

- ア 1年給食配膳支援 4月15日, 18日(のべ20名) 1年給食配膳, 後始末支援
- イ 絵本読み聞かせ 6月10日, 11月25日(のべ25名) 大型絵本読み聞かせ活動
- ウ ミシン学習支援 11月14日, 15日, 18日(のべ24名) 5年家庭科支援
12月6日, 8日, 9日(のべ10名) 6年家庭科支援
- エ スケート指導 12月14日(2名) 1年スケート技術指導
- オ 集団下校指導支援 5月9日, 7月19日, 12月19日(のべ120名)
- カ 学区巡視活動 毎月2回程度, 木曜日午後6時30分から(のべ100名)
- キ 部活動見守り, 外部指導者指導 部活動開催日(外部指導者登録状況25名)

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 40 人(保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 5 人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 地域学校連携協議会を設立し, 学校運営方針や教育活動の状況を説明する機会が明確になり, それに対する意見や要望などについて協議する場が確立した。また, 学校関係者評価委員会の機能との融合を図ったため, 学校評価の機能も昨年度より充実させることができた。
- ② これまでもPTA活動として学校支援活動が活発に行われてきたが, 教育支援ボランティア活動を取り入れることにより, 参加した方々の交流の輪が広がるとともに, 学校に対する理解が深まり, 保護者・地域・学校がともに子どもを育む意識が高まってきた。
- ③ ミシン学習支援や読み聞かせ活動などの教育支援活動が充実し, 子どもの学びが深まるとともに教師の意識が保護者・地域と子育てを共有していく方向に変わってきた。

(2) 課題

- ① 教育支援ボランティア活動として取り組んでほしいこと, 取り組んでみたいことなどのニーズを, 教師・教育支援ボランティアから吸い上げ, 実践に結びつけていくコーディネーターの機能を充実させていくことが大切である。そのためにも, 専門部会との調整を進めるコーディネーターの複数配置を検討していくことが必要である。
- ② 保護者中心の活動になっている傾向があるため, 地域住民の意見・要望をどのように吸い上げ, 地域住民の地域密着型教育への参画をどのように図っていくかが課題となっている。
- ③ 2つの中学校区との連携を図るために, 地域密着型教育のねらいや推進状況など, 情報提供を今後も積極的に行っていく必要がある。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白銀南小学校

校長 天 内 享 二 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（1）第1回 ①実施日時 平成23年7月4日（月）

②協議内容

- ・委嘱状交付式（八戸市教育委員会主催）
- ・会則の承認
- ・会長，副会長の指名，挨拶
- ・小・中学校からの説明（組織，方針，行事等）
- ・その他

（2）第2回 ①実施日時 平成23年12月1日（木）

②協議内容

- ・学校評価の結果報告
- ・その他

（3）第3回 ①実施日時 平成24年3月（予定）

②協議内容

- ・今年度の成果と課題
- ・次年度の教育計画について

2 上記以外の会議の実施状況

（1）準備委員会 ①実施回数 1回（平成23年6月24日）

②構成メンバーの概要

小中PTA会長，公民館長，小中校長，小中教頭，
小中コーディネーター，市教委担当指導主事

③検討内容

第1回地域学校連携協議会についての話し合い

3 具体的な取組状況

（1）安全・安心支援

- ・見守り隊 安協支部，地区有志による登校時，下校時の見守り
- ・防犯パトロール //
- ・HELP活動 子ども女性110番の家の表示，張り替えと感謝の手紙

（2）環境整備支援

- ・校地内松の剪定

（3）情報共有支援

- ・みなみネット情報交換会 地域関係者が一堂に会しての情報交換会（年2回）

(4) 教育活動支援

- ・はげみ学習 毎週月曜日朝子どもの学習をみ守り，励ましの声がけ・丸付け
- ・えんぶり指導 3年生が大久保えんぶり組の親方を招いて学習会
- ・ホタルの学習 4年生が公民館長を招いて学習会
- ・相撲指導 白銀地区相撲大会に向け，心技体の指導
- ・部活動指導 スポーツ部の技術指導
- ・読み聞かせ 朝の読書タイムを活用した絵本の読み聞かせ
- ・「八幡馬」指導 1～2年生を対象に運動会で踊る踊りの指導を地区の老人クラブが行っている。

4 ボランティアの活動状況

- (1) ボランティア登録現在数 24人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 なし

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

○地域の方々とのふれあいが広がった。

児童と地域の方々が互いに声を掛け合うことで親近感が増すとともに，大事にしている・大事にされているという気持ちが伝わってよい関係になっている。

○地域のことを知る機会が増えた

児童の指導，地域間系団体との協議などを通して，児童も職員も地域の歴史，変遷，現状などを知り，それをもとに地域の良さを考えるようになった。

○学習意欲が高まった

児童がはげみ学習，読み聞かせなどを通し，担任や学年の教員などとは違うボランティアの方々と関わることにより，意欲が高まった。

(2) 課題

○情報の収集と発信

ボランティアとして何らかの働きをしたいと考えている方々は潜在的にあると思われるが，どのように見いだしていくか，どのように参画してもらうかを考える必要がある。人づてに広がり始めてはいるが，参画することで相互利益となるような形でないと継続が難しいと考えており，そのための情報のやりとりがどうあればよいか模索中である。

○コーディネーターの役割

小中一体の形をとる仕組みの中で，コーディネーターはどのような役割を果たしていけばよいのか，模索する1年であった。地域の様子をよく知っており，人脈も生かしながらボランティアの発掘や日程調整などに，もっと関わっていく必要がある。地域と学校をつなぐキーマンとして，来年度は学校だよりの印刷や配布をお願いしようと思っている。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立種差小学校

校長 新 舘 勝 紀



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成23年11月28日（火）
 ②協議内容
- ・種差小学校「地域学校連携協議会」の会則審議
 - ・会長・副会長の指名、あいさつ
 - ・種差小学校の学校経営方針・重点施策等説明
 - ・年間スケジュール等説明
 - ・質疑

- (2) 第2回 ①実施日時 平成24年1月31日（火）
 ②協議内容
- ・学校評価（アンケート）の集計結果について説明
 - ・学校評価（アンケート）の集計結果について審議
 - ・次年度の予定に関する説明及び審議

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

- (1) 準備委員会 ①実施回数 2回（平成23年7月14日、10月25日）
 ②構成メンバーの概要 地域代表7名 保護者代表1名 学校代表3名
 ③検討内容
- ・会則・組織の原案検討
 - ・地域学校連携協議会理事選考
 - ・第1回地域学校連携協議会の次第および内容

- (2) 企画推進部会 なし

- (3) 専門部会 なし

3 具体的な取組状況

- (1) 学習支援
- ①種差音頭指導 5月12日 1回 2名
 参加児童数 全校児童 53名
 - ②運動部指導 野球部 1名、ソフトボール部 1名
- (2) 環境整備

①校外環境整備 3回 のべ60名

②資源回収 3回 のべ90名

③教材園整備 5月 1回 4名

(3) 校外安全指導

①下校時街頭指導 通年 12名

②交通安全教室 4月15日 3名 保護者4名

③防犯教室 6月28日 1名

(4) 連携行事

①オオハンゴンソウ駆除活動 6月6日

・種差海岸ボランティアガイドを講師に、外来植物であるオオハンゴンソウ駆除を行う。

②南浜スポーツ大会 7月23日

・南浜青少協と連携して、グランドゴルフとフリスビーゴルフを種差少年自然の家で実施。

③敬老の集い 9月13日

・種差連合老人クラブの方に講師になっていただき、昔遊びを通して交流を深める。

④東幸園交流餅つき会 11月29日

・東幸園の方と餅つきやゲームを通して交流を深める。

⑤南浜防犯レクリエーション 12月18日

・南浜防犯協会と連携して、ミニ運動会を種差少年自然の家で実施。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 12人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・広く地域諸団体から理事になっていただいたことで、各組織間の連携や情報の共有が図られるようになった。
- ・種差の豊かな自然・文化・施設等を活用した種差らしい教育活動が今まで以上に展開できるようになった。

(2) 課題

- ・学習支援等いろいろな分野のボランティアを募ること。
- ・児童の日常の様子を知っていただくために、授業参観や学校行事への参加を地域に広く呼びかけること。
- ・中学校区の全小中学校が地域学校連携協議会を設立した場合、理事の取り合いにならないように調整が必要である。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立金浜小学校

校長 三和 雅子 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成23年11月9日（水） 18:30～20:00

②協議内容

(1)理事委嘱状交付式

(2)議事 ・ 会則審議

・ 会長・副会長指名

・ 会長・副会長あいさつ

・ 学校経営方針等説明

・ 組織・年間スケジュール等

(2) 第2回 ①実施日時 平成24年1月18日（水） 18:30～19:30

②協議内容

・ 学校の現状と課題について

・ 学校評価について

・ 平成24年度の予定について

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

(1) 準備委員会 ①実施回数 1 回

②構成メンバーの概要

・ 大橋 正治 金浜町内会長・南浜公民館長

金浜地区民生委員・児童委員

・ 柳沢 豊 金浜漁業部会長

・ 田中たか子 金浜婦人会長

・ 山田 敏悦 金浜子供会育成会長

・ 山崎 勝弘 金浜小学校PTA会長

・ 梅内 太郎 八戸市教育委員会教育指導課指導主事

・ 三和 雅子 金浜小学校校長

・ 原 穰 金浜小学校教頭

③検討内容

・ 地域密着型教育推進事業について

・ 金浜小学校学校地域連携協議会全体図について

・ 金浜小学校学校地域連携協議会会則について

・ 今後の日程について

3 具体的な取組状況

(1) 今年度 11 月に地域学校連携協議会を立ち上げたばかりなため、具体的な取組事項はない。

ただし、本校ではこれまで、運動会や学習発表会・バザー等を町内会や婦人会等と合同で、また浜学習やクリーン作戦等は漁業部会の協力で、他にも地域の方々の参加を得て多くの行事を実施してきている。連携協議会立ち上げに当たって、これらについてについて地域と共通理解できたことで、来年度からの活動に向けて、道筋がよりはっきりしてきた。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 0 人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0 人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

① 理事を委嘱した地域の方々が、学校運営への参画意識をはっきり持つようになった。

② 地域学校連携協議会理事会という場を設定したことにより、教育課程の編成に関わる情報（地域の行事予定等）を把握することができた。

(2) 課題

① 各行事に際して、学校が地域の人材名簿をもとに直接参加を呼びかけてきたが、地域の各団体との連携についても考えなければならない。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立 根城 小学校

校長 赤石 和枝



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成23年5月30日

②協議内容（箇条書きで）

- ア 根城小学校「地域学校連携協議会」の組織、会則の確認
- イ 会長の指名（校長） 副会長の選出（会長）
- ウ 会長・副会長あいさつ
- エ 根城小学校の学校経営方針について（報告）
- オ 今年度の活動の概要
- カ 各委員の方々からのご意見・ご要望

(2) 第2回 ①実施日時 平成23年12月2日

②協議内容（箇条書きで）

- ア 事業の進捗状況（支援事業、ボランティア活用状況等）
- イ 学校評価について
- ウ 各委員の方々からのご意見・ご要望

(3) 第3回 ①実施日時 平成24年2月2日

②協議内容（箇条書きで）

- ア 今年度の事業のまとめ
 - ・各支援事業のまとめと次年度に向けて
 - ・ボランティア状況（コーディネーターより）
- イ 学校課題についてのご意見・ご助言
- ウ 次年度の委員について

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

(1) 企画推進部会 ①実施回数 4回

②構成メンバーの概要 校長、会長、事務局、PTA 副会長、PTA 幹事
PTA 専門委員長、PTA 学年委員長

③検討内容 ・組織確認、PTA 活動との整合性理解、今後の予定
・意見・要望、ボランティアから

- (2) 専門部会
- | | |
|-----------------|-------------------------|
| ①実施回数 | 教育活動部、環境整備部、安全対策部、交流連携部 |
| | それぞれの部会が随時活動 |
| ②構成メンバーの概要・検討内容 | 資料参照 |

ア 花壇整備…今年度新たにできた花壇のデザインと従来のフラワーポット等の年間を通して植栽、除草、摘花等の活動を行う。

イ P T Aバザー…たくさんの方の協力で大成功

手作り商品等すばらしいアイデアと実行力に感心させられた各学年スタッフ。準備と後始末には子どもと教員が協力し、保護者・子ども・教員が1つになって楽しんだ。

ウ 玄関生け花…月2回、公民館の生け花クラブの方が来校し、職員玄関に生け花をいける。

②学校図書館整備

ア 読み聞かせボランティア…44日、のべ189人

イ 図書貸し出し・本の修繕作業…28日、のべ156人

(3) 安全対策部

①校外安全安心（登下校巡視活動、防犯パトロール、通学路・危険箇所の点検、集団下校支援）

ア 交通安全教室 4/11…入学してすぐの1・2年生の交通安全教室での見守り。

イ 側溝調査 5/30…子どもの通学路に一部側溝蓋のない箇所があり、児童の安全のため市庁建設部に地域住民が要請し、この後設置された。

ウ 地域総合防災訓練 10/29…全校一斉の避難訓練の後、起震車やはしご車搭乗体験・煙幕体験をし、地域の方と一緒に町内毎に集団下校した。校庭は、避難した全児童と職員約530名、地域・保護者の方々約300名でいっぱいになった。

②学校安全安心（プール監視）

ア A E D活用講習会 7/20…7月20日に根城分遣所の職員6名が来て人工呼吸やA E Dの使い方など救急救命の実地訓練を指導した。教員と保護者約60名が共に学んだ。

イ 夏季休業中のプール監視は2・3年保護者による見守り支援。水泳指導をしていただくボランティアもあった。

(4) 交流連携部

①連携行事（敬老会、老人クラブ連携、子ども会キャンプ、区民運動会、三社大祭、親子学習会、三水会）

ア 三社大祭に参加 8/1～3…三社大祭に参加したのは111名。新組、売市、吉田産業、六日町、八戸市職員互助会、新荒町、法霊神楽、神明宮等で、太鼓、引き子、神楽、行列等に参加。

イ 合同キャンプに参加 8/6・7…テント作り・キャンプファイヤー・炊事などを経験したのは、6年男子4名と、4年女子1名。

ウ 参加者が増加した根城地区運動会 9/4…児童の参加がぐんと増え、若い保護者の参加も見られた。地域の方の指示に従い大人と一緒に競技に参加したり、町内の応援をしたりした。

②学校間連携（幼保小連携、小中J S、J Sあいさつ運動）

ア あいさつパワーアップ大作戦…学級で工夫しながら取り組んでいる。

イ 地域の根城地区あいさつ運動…9月の毎週水曜日に行われた地区あいさつ運動では、7:20

から20分間、多くの地域の方が学校近くや交差点付近に並び、あいさつを交わした。

4 ボランティアの状況

- | | |
|-----------------------|------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 65人（保護者含む） |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 1人 |
| （学校支援地域本部事業の予算による加入者数 | 1人） |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ①地域学校連携協議会「ねじょっ子はぐくみ協議会」を開催し、小中学校・保護者・地域の願いを共有し建設的な意見交換をしていくことで、地域・保護者が、学校の取組やねらいを理解し、地域との連携を深め、地域とともに歩む学校づくりを推進することができた。
- ②地域学校連携協議会「ねじょっ子はぐくみ協議会」で三者が会して話し合うことにより、地域諸団体の会合・三水会・PTA委員会等で出された意見や、三社大祭・えんぶり・各町内の行事等の現在の取組等を地域・保護者・学校それぞれが互いに理解することができた。児童・地域住民が気持ちよく参加し、地域関係団体組織とPTA組織との調和と融合を図ることができた。
- ③PTAやボランティアによる支援活動をやってよかったと思う人が増え、PTA活動への参加者やボランティアが負担感なく増えるように、声をかけ合い、地道に少しずつ活動の輪が広がってきた。また、ボランティアの輪が広がり、コーディネーターと学校支援地域本部事業の活用を図ることができた。
- ④校内研修で、地域密着型教育を取り上げ、共に考えてきた。また、授業で地域の文化・施設・人材を活用したりボランティアを活用したりしてきた。その結果、教員の地域への関心が高まり、児童の地域行事への参加が増加した。

(2) 課題

協議の中で委員から、非常災害時の児童の集団下校について質問があった。児童の安全も含めて地域住民による災害への備えを図り、地域総合防災に対しての学校の役割を検討していく予定である。

また、児童の学力の保証とともに豊かな体験活動の一層の充実を図るよう助言があったことから、教育課程の編成に生かしていくこととする。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白山台小学校

校長 松 橋 眞 彦



1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成24年2月16日 9時30分から(予定)

◎委嘱状交付式

②協議内容

- ◆行政説明
- ◆八戸市立白山台小学校地域学校連携協議会の組織、会則審議
- ◆会長の指名・副会長の選出、あいさつ
- ◆学校経営方針等(報告)及び地域本部事業からの移行について
- ◆組織・年間スケジュール等の説明・報告
- ◆その他、委員から

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 準備委員会 ①実施回数 2回

(平成23年7月13日)

- ◆校長から 地域密着型への立ち上げに向けて
- ◆構成メンバーの概要 地域の代表・保護者・教職員
- ◆昨年度の実施状況
- ◆現状報告
- ◆今後の計画
- ◆社会教育課から説明
- ◆委員から

(平成24年1月31日)

- ◆構成メンバーの概要 校長、教頭、指導主事
- ◆検討内容 第1回地域学校連携協議会の発足に向けての話合い

3 具体的な取組状況

(1) 図書室整備

① 図書ボランティア・・・登録者17名。平成23年6月～平成24年1月
年10回

新刊・寄贈図書登録、本の修理講座、修理作業、図書室内整備、季節の飾り付けなど

(2) 学習支援

- ① 学習支援・・・登録者 1 名 4 月～3 月 (特別支援) ほぼ毎日
- ② 各学年学習・・・スケート教室、町探検、社会科見学、地域安全マップづくり、
家庭科の実習補助、豆しとぎ作り
- ③ よみきかせ・・・登録者 29 名 5 月～1 月 8 回 朝 8 時～8 時 30 分

(3) 環境整備

- ・校地内草刈り・・・7 月 30 日 25 名 (シルバークラブ)

(4) 登校安全指導

- ・3 A サポーター朝の見守り・・・4 月～11 月まで 3 名

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 86 人 (保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 23 人

5 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果 本校では前年度までの学校支援地域本部事業をほぼそのまま継続することとし、図書ボランティアを募り本の登録作業、本の修理や図書館整備を行っている。また、月一回、全学級に地域・保護者が入り、朝のよみきかせを行っている。また、学習支援ボランティアでは、スケート教室、町探検、社会科見学、家庭科の実習補助、豆しとぎ作りなどを行っている。また、シルバークラブの環境整備や 3 A サポーターの安全指導など、地域からの学校支援をいただき幅広く関わりを持つことができおり、教育効果をあげることができた。

(2) 課題

学校支援地域本部事業が充実していたことから、地域密着型教育推進の素地はできており、まずは既存の組織をいかしてスムーズな移行に努めたい。今後は保護者や地域住民が学校運営に参画する仕組みづくりにつとめ、教育活動に対する責任をそれぞれに分担していく組織の見直しが課題である。協議を重ねて、保護者や地域住民の願いを生かした教育活動を展開していきたい。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立江南小学校

校長 古谷 吉光



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成23年10月24日（月） 18:00～19:30

②協議内容

- | | |
|------------|---------------------|
| ア 委嘱状交付式 | イ 地域密着型教育について(行政説明) |
| ウ 会則の承認 | エ 会長・副会長の指名 |
| オ 学校経営方針説明 | カ 地域学校連携協議会組織図 |
| キ 年間事業計画 | ク これまでの事業実施報告 |

(2) 第2回 ①実施日時 平成24年1月23日（月） 18:30～20:00

②協議内容

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| ア 事業の進捗状況説明 | |
| イ 学校評価に関する説明（2学期のアンケート結果報告） | |
| ウ 質疑応答及び提案・要望 | エ 学校支援地域本部から |
| オ 教育委員会より | カ 学校関係者評価について |

(3) 第3回 ①実施日時 平成24年2月27日（月）予定 18:30～19:30

②協議内容

- | | |
|---------------------|-------------|
| ア 今年度の事業報告 | イ 学校関係者評価から |
| ウ 学校評価と次年度の重点指導について | エ 次年度の行事予定 |

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

(1) 準備委員会 ①実施回数 1回

②構成メンバーの概要（8名）

PTA 会長・副会長・校長・教頭・教務・コーディネーター

③検討内容

- | | |
|----------------|-----------------|
| ア 地域密着型教育の方針審議 | イ 会則、組織図の原案審議 |
| ウ 協議会委員の選定 | エ 今後の活動についての見通し |

(2) 企画推進部会 （開催なし）

(3) 専門部会 （開催なし）

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動部

○部活動支援（バスケット）	通年	2名
○2年 生活科学学習支援	6／1	2名
	6／21	7名
	10月	4名
○3年 総合的な学習の時間	6／24	1名
（えんぶり）	2月	1名
○1・2年 体育（プール指導支援）	6／29～8／29	1名
（スケート指導支援）	1月～2月	2名
○3・4年 体育（リズムダンス指導支援）	2月	2名

(2) 環境整備部

○読みか行かせ（朝 年10回）	5／12～3／8	8名
（昼 年 4回）	6月～12月	1名
○ベルマーク収集作業	6月～2月	6名
○プール清掃・学校園柵撤去・花植え	6月	7名
○玄関靴箱ペンキ塗り	8／5	7名
○図書室整備・図書修理	5月～10月（18回）	10名
○サッカーゴール・水道補修支援	11月	3名

(3) 安全対策部

○防犯パトロール	7/22・8/10	8名
○集団下校引率支援	10月	14名

(4) 交流支援部

○根城地区子ども会キャンプ	8／6～7	4名
---------------	-------	----

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 48 人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 19 人

※学校支援地域本部事業の予算による加入者数 19人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

①地域を知るコーディネーターの力が大きく、年々、活動支援内容の種類が増えている。教職員のニーズに応じたボランティア・サポートを受けることができた。

(2) 課題

①各事業部で行っている取組に支援して下さるボランティアは多いが、同じ人がボランティアとして活動しているのが現状である。誰もが気軽に学校支援できる環境整備、保護者・地域への広報活動を更に工夫していく必要がある。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立田面木小学校

校長 横 町 嘉 一



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成23年10月7日（金）14：00～
 ②協議内容 ◆委嘱状交付
 ◆行政説明
 ◆議事（・会則の承認 ・会長、副会長の指名 ・本校の事業の説明）
- (2) 第2回 ①実施日時 平成24年1月19日（金）13：30～
 ②協議内容 ◆学校の現状と課題の説明及び審議
 ◆学校評価に関する説明及び審議
 ◆平成24年度の予定について説明及び審議
- (3) 第3回 〈 予 定 〉
 ①実施日時 平成24年3月1日（金）13：30～
 ②協議内容 ◆23年度の成果と課題の説明
 ◆平成24年度の教育計画についての説明
 ◆平成24年度の委員選出

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備委員会 ①実施回数 2 回
 ②構成メンバーの概要（メンバー数6名）
 ◆田面木連合町内会会長、田面木公民館館長、PTA会長、校長、
 教頭、コーディネーター
 ③検討内容 ◆地域密着型教育の方針審議
 ◆会則、組織の原案審議
 ◆協議会委員の選定
 ◆第1回協議会について
- (2) 企画推進部会 （開催なし）
- (3) 専門部会 （開催なし）

3 具体的な取組状況

◆教育活動（クラブ活動、生活科、総合的な学習の時間、学校行事、その他）

活 動 内 容	児 童	ボランティア	月 日
交通安全教室	全学年	防犯協会と婦人部 10 名	4/14
ボランティア運営委員会・クラブ活動	4.5.6 学年	教育ボランティア 10 名	4/19
よもぎもち作り (摘み、アク抜き、きざむ、もち作り)	2 学年	老人クラブ のべ 17 名	5/2, 5/10
田面木音頭の指導	全学年	婦人会 のべ 40 名	5/16 ～ 5/18
クラブ活動 年間計 9 回 点字、郷土芸能、菱ざし、大正琴 茶道、英語、ユニホック	クラブ活動	教育ボランティア のべ 144 名	5/17 ～ 11/1
音楽会に向けての合唱指導	全学年	合唱指導の中里さん	9/12
地域安全マップづくり	5 学年	防犯協会員 20 名	9/15
お茶会 (4 日間にわたり、各学年ごとに礼儀 作法等を学ぶ)	全学年	教育ボランティア のべ 31 名	11/7 ～ 11/10
ボランティア運営委員会 (今年度の反省と来年度に向けての話 合い)		教育ボランティア 13 名	1/23
ひなまつりお茶会 <予定> (田面木公民館にて)	6 学年	教育ボランティア	3/2
大菊づくり (奥州菊の歴史を学ぶ～菊まつりへの 出品、菊の解体まで)	6 学年	菊づくり指導の田村さん	4 月～ 11 月

◆環境整備活動（校内環境整備、学校図書室、防犯活動）

活 動 内 容	児 童	ボランティア	月 日
P T A 早朝奉仕（校庭整備、資源回収）	全学年	P T A 全員で 136 名	5/15
プール清掃	5・6 学年	婦人会 9 名	6/10
図書室の本の整備		P T A ベルマーク委員会 9 名	9/16

◆地域交流活動

活 動 内 容	児 童	ボランティア	月 日
ふれあい遊びランド	全学年	老人クラブ 29 名 近隣の保育園児	10/13

◆スポーツ文化交流活動（部活動、根城中学校区ジョイントスクール、地域文化活動への参加）

部 活 動	児 童	ボランティア	月 日
野球部（基本練習、大会へ向けての指導）	部 員	指導者 4 名	通年
卓球部（ 〃 ）	部 員	指導者 1 名	〃
バスケットボール部（ 〃 ）	部 員	指導者 2 名	〃
吹奏楽部（ 〃 ）	部 員	指導者 1 名	〃

活 動 内 容	児 童	ボランティア	月 日
根城田面木地区合同キャンプへの参加	4.5.6 学年 対象	P T A	8/6 ～ 8/7
田面木地区婦人会親睦会演芸会にて大黒舞を披露	郷土芸能 クラブ	教育ボランティア 4 名	9/10
田面木地区敬老会にて大黒舞を披露	郷土芸能 クラブ	教育ボランティア 4 名	9/19
田面木地区婦人会 6 0 周年記念祝賀会にて大黒舞を披露	郷土芸能 クラブ	教育ボランティア 4 名	10/10
史跡根城まつりにて根城中との合同演奏	吹奏楽部		10/8
ユニホック大会への参加	ユニホック クラブ	教育ボランティア 1 名	11/27
根城中学校区ジョイントスクール事業 6 学年による根城中学校の授業参観	6 学年		11/29

◆学校評価活動（学校目標にかかわる評価）

評価委員会活動内容	ボランティア	月 日
第 1 回 学校評価についての説明、今後の説明	学校関係者評価委員 10 名	6/27
第 2 回 自己評価の結果と改善方策について	学校関係者評価委員 9 名	12/9
第 3 回 改善方策についての意見聴取、来年度の教育計画についての説明	学校関係者評価委員 9 名	1/13

◆健康増進活動（子どもたちの健康増進を図る）

活 動 内 容	児 童	ボランティア	月 日
学校保健委員会（すこやか会議） 児童、保護者、地域の方が子どもたちの健康について話合う	全学年	地域の方 4 名	11/24

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 35人（保護者含む） |
| (2) 今年度ボランティア保健加入者数 | 28人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・今までに行われていた教育ボランティアの方々の活動を整理し、編成することができた。
- ・人と人のつながりを学ぶ場となり、子どもたちにとっても、地域の方々にとっても活動が広がる場となった。
- ・地域学校連携協議会が設置されたことにより、学校に対する意見や地域の方々の願いを直接聞くことができ、教育活動の改善に努めることができた。



(2) 課題

- ・委員の中には、会議が多くなり負担となっている方もいる。
- ・地域、保護者への周知がまだ不十分。さらに活動や組織について知らせる必要がある。
- ・教員の意識を高め、地域とともに子どもたちを育てるということを考えていく。
- ・初年度のため、組織を立ち上げることで精一杯であったため、次年度は各専門部会の活動を明らかにする。教員、保護者が参加する機会を増やしたり、情報を発信したりして活性化を図る。
- ・各専門部会の活動を整理し、拡充する。
- ・校内事情により、コーディネーターが作業する十分な場所を確保できない。



平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立根岸小学校

校長 佐々木 昭 夫 印

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回

①実施日時

平成23年10月14日 17:00～

②協議内容

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ア) 学区校長会長（北稜中学校長）あいさつ | イ) 会則承認 |
| ウ) 正副会長指名及びあいさつ | エ) 地域学校連携協議会の組織及び今年度計画 |
| オ) 3校の学校経営方針等についての説明 | カ) 質疑 |

(2) 第2回

①実施日時

平成24年1月23日 17:00～

②協議内容

- ア) 全体会
 - ・北稜中学校区非常災害時における対応（地域の安全・安心に係る内容も含む。）
 - ・24年度の日程等についての確認
- イ) 分科会（北稜中部会，根岸小部会，日計ヶ丘小部会）
 - ・各校の学校評価説明（自己評価及び児童・保護者アンケートの結果説明）
 - ・各校の学校評価結果について，質疑及び協議

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 準備会

①実施回数 4回 (5/2, 5/17, 5/19, 6/10)

②構成メンバーの概要

3校校長，第2・3回は，八戸市教育委員会の本事業担当者を含む。

③検討内容

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| ア) 地域密着型教育推進事業の在り方についての共通理解 | |
| イ) 事業概念図（案）の作成 | ウ) タイムスケジュールの作成 |
| エ) 会則，組織の原案協議 | オ) 準備委員会構成員の協議 |

(2) 準備委員会

①実施回数 2回 (7/4, 8/29)

②構成メンバーの概要

連合町内会会長・副会長，公民館長，学識経験者，3校PTA会長，校長，教頭
学校支援地域本部事業コーディネーター

③検討内容

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ア) 事業概要説明（八戸市教育委員会） | イ) 北稜中学校区地域密着型教育推進事業概念図 |
| ウ) 協議会会則（案）審議 | エ) 地域学校連携協議会員の協議 |

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動・学校行事・文化関連事業

朝の読み聞かせ，夏休み読み聞かせ教室（図書ボランティア）
根岸音頭の指導（婦人会），PTAバザー（保護者，PTA）
クラブ活動指導，部活動後援（外部講師による指導・引率等）
スケート教室紐結び支援（保護者，PTA）

昔遊び、町探検、豆しとぎ作り、八戸探検（ゲストティーチャー、支援、引率）
田植え・稲刈り・脱穀・餅つき会体験（準備、支援）
入学式・運動会・音楽会・卒業式等（接待、後始末）

（２）環境整備事業

花壇整備（花植え・草取り）、教材園及び教材田の整備、小川の泥上げ、プルタブ回収
校庭整備（校庭整地・草刈り）、窓拭き清掃作業
図書室の整備と書架整理、郷土資料室の掃除
鯉のぼり設置、入場門設置

（３）安全対策事業

プール監視、安全マップづくり、交通安全教室、自転車教室、朝のあいさつ運動
防犯パトロール、登下校見守り隊、通学路点検

（４）交流連携事業

クリーン作戦、えんぶり鑑賞会、地区敬老会参加
子ども会サマーキャンプ、子ども会ウォークラリー、区民運動会参加
公民館子ども教室・子ども会行事への参加
小・中学校ジョイントスクール事業（中学校見学・グッジョブ）
幼保小連携（園児の小学校見学）

４ ボランティアの状況

- | | |
|--------------------|----------------|
| （１）ボランティア登録現在数 | ４ ９ ５ 人（保護者含む） |
| （２）今年度ボランティア保険加入者数 | ９ ６ 人 |

５ 地域密着型教育の成果と課題

（１）成果

本学区３校は、これまでも根岸地区連合町内会や地区関係機関からボランティア派遣等、様々な支援を受けてきており、当初本事業は不要ではないかという意見もあった。実際、青少年生活指導協議会の席上では、各校の児童生徒の状況など、腹を割った情報提供や改善策等の協議がなされ、体育振興会、子ども会、公民館、下長交番連絡協議会等では、スポーツ大会の開催、地域ウォークラリー、文化祭、情報交換等各種事業を実施し、青少年の健全育成に努めてきた。

しかしながら、本事業の趣旨の説明や協議会の開催により、学区の３校が小・中学校ジョイントスクール推進事業を含め、互いに協力しながら教育活動を実施しているという姿を見たり、各校の学校経営方針の説明を聞く機会を設けられたことから、各学校が胸襟を開いて地域と共に子どもたちを育てようとしているということが伝わり、非常にいい雰囲気第１回協議会が開催された。

具体的な成果は次のとおりである。

- 保護者や地域の方々が、学校やその周辺の環境整備に気を使ってくれている。特に通学路の安全管理では、歩道の整備や交通安全協会の巡回指導、保護者の登下校指導が日常的に実施されている。
- 子どもたちを含めた地域全体であいさつ運動を盛り上げようとしてくれている。学区によって、町内会全体で日常的な活動として取り上げたり、校門前に交代で立ってくれたり、あるいは、ＰＴＡの委員会活動の一環として、交通安全強化と協力しながら毎日の登下校指導をしている。
- 餅つき、豆しとぎ作り、地域で整備している郷土資料館の維持・管理や解説等、特に高齢者の方々が、子どもたちへの指導の講師を快く引き受けてくれる。

（２）課題

本学区は、従前より教育活動全般に対するボランティア活動が盛んであったが、本事業はまだ緒に就いたばかりであり、依頼に応じて支援する、あるいは、ボランティア活動そのものが活動のねらいという認識の段階にある。今後、広報活動や日常的な教育活動を通して、保護者や地域住民が学校運営に参画するという意識を醸成させたい。

また、それと同時に、「地域や関係機関の要望」と「学校での教育活動」との調整機能を地域学校連携協議会の中に持たせる必要があると考える。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立日計ヶ丘小学校
校長 池田 了 印

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回

①実施日時

平成23年10月14日 17:00～18:30

②協議内容

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ア) 学区校長会長（北稜中学校長）あいさつ | イ) 会則承認 |
| ウ) 正副会長指名及びあいさつ | エ) 地域学校連携協議会の組織及び今年度計画 |
| オ) 3校の学校経営方針等についての説明 | カ) 質疑 |

(2) 第2回

①実施日時

平成24年1月23日 17:00～18:30

②協議内容

ア) 全体会

○北稜中学校区非常災害時における対応

- ・24年度地域防災訓練の在り方（根岸地区、下長地区の広域防災訓練）
- ・震災発生時、児童生徒が避難する際に懸念される地域について
- ・学校が避難所となる場合の地域の関与について

○24年度の地域学校連携協議会日程の確認

○日計ヶ丘小学校創立20周年記念行事概要について

イ) 分科会（北稜中部会、根岸小部会、日計ヶ丘小部会）

○学校評価について

- ・自己評価と児童生徒・保護者アンケートの分析結果の説明と考察
- ・質疑応答と学校関係者評価

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 準備会

①実施回数 4回（5/2, 5/17, 5/19, 6/10）

②構成メンバーの概要

3校校長（第2・3回は、八戸市教育委員会の本事業担当者を含む。）

③検討内容

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| ア) 地域密着型教育推進事業の在り方についての共通理解 | イ) 事業概念図（案）の作成 |
| ウ) タイムスケジュールの作成 | エ) 会則、組織の原案協議 |
| オ) 準備委員会構成員の協議 | |

(2) 準備委員会

①実施回数 2回（7/4, 8/29）

②構成メンバーの概要

連合町内会会長・副会長，公民館長，学識経験者，3校PTA会長・校長・教頭
学校支援地域本部事業コーディネーター

③検討内容

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| ア) 事業概要説明（八戸市教育委員会） | イ) 北稜中学校区地域密着型教育推進事業概念図 |
| ウ) 協議会会則（案）審議 | エ) 地域学校連携協議会員の構成員についての協議 |

3 具体的な取組状況

(1) 教育関連事業

- ・図書ボランティア
 - ・階上岳登山遠足支援
 - ・低中学年地域探訪引率
 - ・豆しとぎつくり指導
 - ・えんぶり鑑賞教室支援
 - ・読み聞かせ
 - ・スケート教室指導補助
 - ・スターディサポート（算数採点補助）
 - ・入学式、卒業式等支援
 - ・地域郷土資料館解説
 - ・クラブ活動指導補助
 - ・水泳教室指導補助
 - ・運動会会場整備
- (2) 安全対策事業
- ・交通安全教室
 - ・登下校指導
 - ・防犯パトロール
- (3) 環境事業
- ・グラント整備
- (4) 文化事業
- ・夢太鼓（指導・校外演奏会移動支援）
 - ・根岸音頭指導
- (5) 交流・連携事業
- ・J Sあいさつ運動
 - ・異世代交流会
 - ・地区敬老会（夢太鼓クラブ員）
 - ・子ども会関連事業（スポーツ大会、サマーキャンプ、ウオークラリー）

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 2 1 1 人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 9 6 人（保護者以外の北稜中学校区住民）

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

北稜中学校区3校は、これまでも根岸地区連合町内会や地区関係機関からボランティア派遣等、様々な支援を受けてきており、当初本事業は不要ではないかという意見もあった。例えば、青少年生活指導協議会では、各校の児童生徒の状況など、腹を割った情報提供や改善策等の協議がなされ、体育振興会、子ども会、公民館、下長交番連絡協議会等では、スポーツ大会の開催、地域ウオークラリー、文化祭、情報交換等を実施し、青少年の健全育成に努めてきた。

しかしながら、本事業の趣旨の説明や協議会の開催により、3校が小・中学校ジョイントスクール推進事業を含め、互いに協力しながら教育活動を実施しているという姿を見、各校の学校経営方針の説明を聞く機会を設けられたことから、各学校が胸襟を開いて地域と共に子どもたちを育てようとしているということが伝わり、温かな雰囲気の中で第1回協議会を終えることができた。

立ち上げ初年度ではあるが、具体的な成果は次のとおりである。

- 保護者や地域住民が、学校や周辺的环境整備に気を配ってくれる。特に通学路の安全管理では、歩道の整備や交通安全協会の巡回指導、保護者の登下校指導が日常的に実施されている。
- 子どもたちを含めた地域全体であいさつ運動を盛り上げようとしてくれている。町内会全体で日常的な活動として取り上げたり、校門前に交代で立ってくれたり、あるいは、PTAの委員会活動の一環として、交通安全強化と協力しながら、毎日の登下校指導をしている。
- 餅つきや豆しとぎ作り等の指導、地域で整備している郷土資料館の維持・管理や解説等、特に高齢者の方々が、子どもたちへの指導の講師を快く引き受けてくれる。

(2) 課題

北稜中学区は、従前より教育活動全般に対するボランティア活動が盛んであったが、本事業はまだ緒に就いたばかりであり、依頼に応じて支援する、あるいは、ボランティア活動そのものが活動のねらいという段階にある。今後、広報活動や日常的な教育活動を通して、保護者や地域住民が学校運営、児童生徒の教育活動に参画するという意識を醸成させたい。

また、地域関係機関から学校に対して様々な行事の提案や要請がなされる場合もある。しかし、学校教育という視点で見た時に、児童生徒の成長段階、あるいは時期的な問題から適切でないものもある。そうした場合、地域学校連携協議会に「地域や関係機関の要望」と「学校での教育活動」との調整機能を持たせる必要があると考える。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立是川小学校

校長 永 渕 律 子 図

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回

①実施日時 平成23年10月6日（木）

②協議内容

ア委嘱状交付 イ会則の承認 ウ役員選出 エ組織について
オ学校教育方針について

(2) 第2回

①実施日時 平成24年1月23日（月）

②協議内容

ア各アンケート結果の説明

（家庭学習週間アンケート 学習発表会アンケート 学校評価10月・12月）

イ質疑応答（審議） ウ学校評価

(3) 第3回

①実施日時 平成24年3月2日（金）

②協議内容

ア今年度の活動報告

イ来年度の予定

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 準備委員会

①第1回準備委員会 6月6日（月） 於是川東小学校

・大塚副参事 花生指導主事 是川東小（中村校長 三上教頭） 是川小（永渕校長 舘山教頭）

・地域密着型教育推進の概要説明

・地域学校連携協議会組織について

②第2回準備委員会 8月30日（火）

・大塚副参事 花生指導主事 細越公民館長 永渕校長 舘山

・協議会会則審議 役員組織案審議

3 具体的な取組状況

(1) 図書室支援

図書ボランティア（石村さん）

貸し出し返却支援及び図書室掲示物の作成 10月より 月2回程度

(2) 校外活動安全支援

是川小見守り隊 下校指導 月・木・金 通年 7名

1. 2年交通安全教室 4／15 8名

1年土器づくり安全指導 9／8 3名

2年社会見学安全指導 9／8 1名
全校仲良し遠足安全指導 9／16 5名
3年町探検安全指導 11／25 9名
3年安全マップづくり安全指導 12／1 11名

(3)環境整備支援

校地内除草・整備 5／22 120名
運動会準備 撤収作業 5／29 20名
校地内整備 校内清掃作業（巡回ラジオ体操整備） 7／31 62名
校地内除草・整備 9／3 140名
資源回収小屋飼育小屋修理作業 12／3 5名

(4)部活動支援

野球部指導 2名 通年
女子バスケットボール部指導 1名 通年
男子バスケットボール部指導 1名（4月～12月）

(5)学習支援

1年昔の遊び指導 11／1 7名
2年干し柿作り指導 11／11 9名
6年家庭科ミシン指導 2／8 2／9 4名
（1年灯籠づくり指導 2／20 2／23 8名）
（2年灯籠づくり指導 2／20 2／23 8名）
（3年灯籠づくり指導 2／20 2／23 8名）

(6)広報活動

是小地域密着通信発行 2／1 3／10

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 0 人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0 人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成 果

- ①学校教育を地域の方々に理解していただくために、実際に学校に係わる機会として学校支援を設定してきた。それにより、教師が学習支援を受け入れる意識に変化が見られた。
②学習支援ではボランティアが入ることにより、教師一人で指導していたときよりも子ども達全体を掌握でき、ゆとりを持って対応する時間が確保された。また全体に目が届くようになった。
③学習支援では家庭科などの技能教科においてボランティアが入ることにより、技能や進度の差に応じて子ども一人一人に対応することができた。
④ボランティア自身が子ども達とふれあう中で楽しく活動に参加している。
⑤地域の方々がボランティアとして学校に来るようになり、学校を身近に感じているようだ。

(2) 課 題

- ①子ども達には学校が地域の人に支えられていることを意識させていく必要がある。
②地域の方々には地域密着型教育や現在本校で取り組んでいる事業について知っていただく必要がある。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立是川東小学校
校長 中 村 郁 子



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成23年10月31日（月）19：00～
②協議内容
・委嘱状交付
・会則の審議
・会長と副会長の選出
・組織と学校教育方針、今年度の計画について審議



- (2) 第2回 ①実施日時 平成23年12月21日（水）18:30～
②協議内容
・学校の現状と課題及び学校評価についての説明
・協議員から学校評価に対する意見をいただく
- (3) 第3回 ①実施日時 平成24年2月下旬実施予定
②協議内容
・今年度の事業報告（成果と課題）
・来年度の予定に関する説明及び審議

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備委員会 ①実施回数 3回
②構成メンバーの概要
・校長、PTA会長、教頭
・3町内会長
・指導助言
八戸市教育委員会
教育指導課副参事兼指導主事兼総合教育センター指導主事
大塚 弘昭 様
八戸市教育委員会
総合教育センター指導主事兼教育指導課指導主事
花生 典幸 様
- ③検討内容
・会則、組織の原案審議
・協議会委員の選定
・第1回地域学校連携協議会の次第及び内容の検討

3 具体的な取組状況

- (1) 広報研修委員会
・ 6月 9日（木）市連P広報委員会に出席
・ 7月12日（火）広報研修委員会の年間計画作成
・ 7月21日（木）PTA新聞「ひがし」第1号発行
・ 10月 2日（日）PTA研修旅行：盛岡方面 約22名参加
・ 12月22日（木）PTA新聞「ひがし」第2号発行



- (2) 保健環境委員会
・ 5月 6日（金）農園開き協力
・ 6月22日（木）～9月26日（月）花壇整備作業 6回程度



(3) 交通安全母の会

- ・ 9月11日(日) 交通安全マスコットづくり
- ・ 9月25日(日) 交通安全マスコット配布
是川駐在所・是川地区指導隊等総勢20名参加



(4) 地域の方々の協力を得て

- ・ 6月12日(日) **学区大運動会**
保護者や地域の方々も、赤・白に分かれて参加し勝負を競い合った。保護者や地域の方の種目も数多く、各係の仕事もお願いしながら地域一帯となって楽しく取り組めた。
- ・ 6月20日(月) **しいたけ栽培**
地域の方を講師に招き、しいたけの菌を原木に打ち込み、しいたけが育っている原木を観察する体験的な学習を行うことができた。
- ・ 7月24日(日) **校舎内大清掃**
夏季休業中に校舎内の大清掃を行った。地域や保護者、卒業生などがたくさん参加し、ポリッシャーを使いながらワックスがけをし、校内をきれいにすることができた。
- ・ 10月16日(日) **学習発表会**
学習発表会では、児童の発表の他に、保護者や地域の方も練習を重ねて一緒に発表するなど、地域と共に発表会を創り上げている。
- ・ 12月18日(日) **三世代ふれあい会**
保護者と学区住民、そして老人クラブの協力を得ながら、餅つきや昔の遊びを通してお互いにふれあい、郷土や家族に対する思いを深めた。

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 48人(保護者と学区民を含めた PTA 全会員数)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 地域学校連携協議会の委員に、学校運営や学校行事等について率直な意見や考えを聞くことができ、来年度の学校運営に生かせるように教育課程編成会議で話し合うことができた。
- ② 地域の方が学校や子どもたちのことを温かく見守って下さっていることを実感でき、今後も連携し合いながら、子どもたちの健やかな成長に向けた指導を続けていく自信を持つことができた。
- ③ 地域の方や保護者の協力を得ながら、体験的な活動を数多く取り組むことができ、児童の地域や郷土を大切にすることを育むことができた。

(2) 課題

- ① 専門部会の効果的な運用
 - ・ 現在 PTA で組織されている専門部会を生かしながら、部会の年間計画を作成し、部員それぞれが意見を出し合う中で、今までの活動を更に発展させて部会の活動に積極的に取り組む必要がある。また、地域の特色や特性を生かした創造性あふれる活動を展開していく。
 - ・ 小規模校のため専門のコーディネーターがいない。各専門部会で資料を作成し提案したり、校内の分掌組織を活用して会議に参加してもらったりするなどの工夫をしていく必要がある。
- ② 地域に根ざした活動の輪を広げる
専門部会の委員を保護者だけでなく、地域住民にもお願いすることで、委員数の増加につながり、活動内容や範囲も広がりを持ったものとなる。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立西園小学校

校長 櫻井敏樹 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 7月14日
 - ②協議内容 第2回地域学校連携協議会議案について説明
 - ※教育委員会より説明
 - ※委嘱状交付
- (2) 第2回
- ①1月18日
 - ②・地域水害マップ
 - ・樹木剪定
 - ・地域学校連携協議会広報紙の名称
 - ・教育支援ボランティア募集要項

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

- (1) 準備委員会
- ①実施回数 1回
 - ②構成メンバーの概要 学校三役，学校関係者評価委員3名，コーディネーター
 - ③検討内容 地域密着型教育について大塚指導主事より説明
質疑応答
- (2) 企画推進部会
- ①2回
 - ②学校三役

3 具体的な取組状況

- (1) 本の読み聞かせ
2名，年間各学級7～8回（年間90回程度），朝自習の時間帯（8：00～15）
- (2) 水害マップの作成
西園小学区における冠水箇所（登下校時に心配な箇所），事務局作成
- (3) 樹木の剪定
2月中旬予定，参加人数未定

4 ボランティアの状況

- | | |
|-----------------------|-----------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 2人（保護者含む） |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 2人 |
| ※地域密着型教育予算による保険加入者数 | 2人 |
| ※学校支援地域本部事業の予算による加入者数 | 0人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

「教師が子どもと向き合う時間の確保」等，保護者・地域に周知してきた。地域学校連携協議会の委員がこの取り組みについて理解し，学校と話し合いながら，できることをしていこうと会議上発言している。また，既存の組織の活用等についても，意見を述べている。24年4月から，教育支援ボランティアの協力を得て，教育活動を展開する計画である。

※今年度は，本事業の周知と理解を得ること，組織を立ち上げることを目標とする。よって，すでに活動中の教育支援ボランティア以外の募集は，年度末に実施し，活動は4月以降と計画している。

(2) 課題

教育支援ボランティアの活用については，ほとんどの職員が未経験であるため，打ち合わせや必要事項の諸連絡等戸惑う場面が予想される。できるだけ早い時期に，スムーズな活用ができるよう校内事務局の支援が必要と思われる。また，ボランティアの登録数がどの程度になるか懸念される。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立明治小学校

校長 中村 和貴子



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成23年9月5日（月）

②協議内容

- ・委嘱状交付式
- ・八戸市立明治小中学校地域学校連携協議会会則審議
- ・会長、副会長の指名
- ・八戸市立明治小中学校地域学校連携協議会組織審議
- ・明治小学校、明治中学校の学校経営方針説明（学校目標を含む）
- ・今年度の計画審議



(2) 第2回 ①実施日時 平成23年12月13日（火）

②協議内容

- ・明治小学校、明治中学校の学校評価の説明及び審議
- ・明治小学校、明治中学校の学校支援進捗状況の説明及び審議

(3) 第3回 ①実施日時 平成23年3月2日（金）予定

②協議内容

- ・明治小学校、明治中学校の成果と課題の説明及び審議
- ・明治小学校、明治中学校の来年度教育計画の説明

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

(1) 準備会 ①実施回数 1回

②構成メンバーの概要

- ・市教育委員会指導主事2名
- ・小中学校校長、教頭4名

③検討内容

- ・年間スケジュールの作成
- ・準備委員会メンバーの検討
- ・地域密着型教育の方針などの審議

(2) 準備委員会 ①実施回数 1回

②構成メンバーの概要

- ・学校支援本部事業地域教育協議会の会長、副会長 3 名
- ・市教育委員会指導主事 2 名 ・小中学校校長、教頭 4 名
- ・オブザーバー…小中学校支援コーディネーター 3 名

③検討内容

- ・地域密着型教育の説明
- ・地域学校連携協議会会則や組織
- ・地域学校連携協議会委員の選定
- ・第 1 回連携協議会の案件



3 具体的な取組状況

(1) 教育活動

- ①学習活動支援 …学級担任や行事担当者からの依頼を受けて随時活動。給食配膳補助 16 人・サツマイモ苗植え指導 16 人・八幡駒踊り指導 16 人・写生会引率補助 2 人・自習クラス見守り 9 人・焼き芋会手伝い 7 人・家庭科ミシンがけ補助 8 人・スケート靴の紐結び 30 人の活動を行った。
- ②図書館整備支援…一人の方が中心となって 5 名のスタッフで年間 30 回程度の活動。主な活動内容は名簿の更新作業・図書登録・本の整備（ブックコート）・図書室の装飾・担当教師との打ち合わせである。
- ③読み聞かせ支援…5 月から 3 月までの毎週月曜日の朝に 3~5 名のスタッフが学級を訪問し、本や紙芝居の読み聞かせを行っている。



(2) 部活動

- ①部活動指導支援…通年、放課後を中心に野球部 2 名・サッカー部 3 名・スケート部 2 名がコーチとして活動している。（毎年 4 月に委嘱状を交付）
- ②部活動撮影支援…部活動の保護者を中心に担当者を依頼し、対外試合の様子をビデオやカメラに記録し、各部に寄贈している。
- ③引 率 支 援…陸上競技会とスケート競技会への参加にあたって、引率支援ボランティア 1 名を配置し、児童の安全確保に協力している。
- ④部活動見守支援…野球部・サッカー部・ミニバスケット部・スケート部に対して、通年の放課

後に指導者が練習に入るまでの間、各部で1名のボランティアが練習を見守っている。



(3) 安全安心活動

- ①交通安全支援 …9月26日(月)に6年生がドライバーにマスコットを配りながら安全運転を呼びかけた。地域からも5名のボランティアが支援に参加した。
- ②防犯パトロール…通年、全校児童が5時間授業で下校する水曜日の放課後に、7名で組織している巡回ボランティアによる学区内巡回を行っている。
- ③朝の立哨支援 …夏休みと冬休み明けの3週間、通学路の11箇所ではボランティアが登校の街頭指導を行った。延べにすると150人程度の方が参加した。



(4) 環境整備活動

- ①奉仕作業 …5月22日(日)と9月4日(日)に除草や花壇整備を中心とした奉仕作業を実施した。どちらの回も、100名を超えるボランティアが参加した。
- ②資源回収 …5月～11月に6回の資源回収を実施した。回毎に担当学年を分担したことによって、毎回10名前後のボランティアの協力を得ることができた。
- ③校内清掃 …3月にボランティアによる清掃活動を計画している。

(5) 交流連携活動

- ①保小中連携行事…10月の安全安心街づくりパレード、11月の地域総合防災訓練に各回10人の保護者ボランティアが準備や安全確保に活動した。

②八幡宮大祭参加…相撲大会の運営・まわし付け補助に 15 人、流鏑馬の着替え補助に 20 人のボランティアが参加した。また、大祭期間は延べ 20 人が巡視を行った。

③学区民体育祭参加… 8 月 27 日(日)中学校を会場とした運動会が行われた。中学生の活躍のおかげで小学生は保護者と共に大いに楽しむことができた。



4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 15 人
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 0 人 ※PTA安全互助会に加入

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・平成20年度から学校支援地域本部事業に取り組んでいることもあり、地域との連携には充実したものがあつた。しかし、今年度、新たに地域密着型教育にも取り組み、地域学校連携協議会を発足させたことで、地域関係者・学校職員・学校支援コーディネーター・PTA役員等には、地域全体で子どもを育てようという意識が一層向上してきている。
- ・小中学校が合同で本事業に取り組むことによって、学校間の情報交換が密になり、ジョイントスクールやグッジョブ事業での連携がスムーズになった。また、会議の回数が減らせることも、協議委員の負担軽減に役立っている。
- ・ボランティアの方々に学習面や行事面に協力いただくことで、内容の充実と教師の負担軽減が実現し、基礎学力の定着・豊かな心の育成などの「生きる力」の育成に役立っている。

(2) 課題

- ・学校だより等で本事業への取り組みは紹介しているものの、一般の地域住民や保護者への浸透は今一歩である。分かりやすくタイムリーな情報の発信と、具体的な活動を共有し合うことによって理解を深める必要性を感じる。
- ・小学校と中学校の両方のことが会議の話題となるため、地域学校連携協議会(学校関係者評価)での話し合いが感想的なものに止まり、協議の深まりという点では今一歩であつた。協議委員の活動や所属を分担制にするなどして、分科会的な話し合いの場も設けていきたい。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立豊崎小学校

校長 上 條 政 樹



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成23年9月30日(金) 19:00～
②協議内容
・委嘱状交付
・会則及び組織に関する審議
・学校経営方針、重点施策の説明及び審議 等
- (2) 第2回 ①実施日時 平成23年12月16日(金) 19:00～
②協議内容
・学校の現状と課題の説明及び審議
・学校評価に関する説明及び審議
・情報交換 等
- (3) 第3回 ①実施日時 平成24年2月中旬予定
②協議内容
・今年度の地域学校連携協議会の成果と課題の説明及び審議
・来年度の教育計画についての説明 等

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備会 ①実施回数 3 回
②構成メンバーの概要
・指導主事2名、PTA会長、PTA副会長1名、校長、教頭
(指導主事は1回目のみ出席)
③検討内容
6月 6日(月) 地域密着型教育の基本方針や年間スケジュール、準備委員会の持ち方等の説明を受ける
6月23日(木) 準備委員会のメンバー選定、年間スケジュールの審議、地域密着型教育の方針審議 等
7月15日(金) 準備委員会のメンバー選定、年間スケジュールの審議
- (2) 準備委員会 ①実施回数 2 回
②構成メンバーの概要
・PTA会長、PTA副会長1名、地域代表2名、指導主事1名
校長、教頭
③検討内容
7月27日(水) 地域密着型教育の説明、会則・組織の原案審議、地域学校連携協議会委員の選定 等
8月10日(水) 会則・組織の原案審議、地域学校連携協議会委員の選定
第1回地域学校連携協議会の打ち合わせ 等
- (3) 企画推進部会 開催なし
- (4) 専門部会 専門部会を組織していない

3 具体的な取組状況

- (1) 安全・安心活動
- | | | |
|--------------|---------------|--------|
| ・下校時の児童への声かけ | 毎週水曜日(通年) | 毎回3～4名 |
| ・地区の巡回指導 | 毎週木曜日(6月～11月) | 毎回3～6名 |

・登校時の交通安全指導	4月8～12日(金～火)	約40名
	9月26日～28日(月～水)	約40名

(2)環境整備活動

・校庭整地	4月17日(日)	1名
・運動会前の校庭の草取り 側溝の泥あげ	5月 8日(日)	約80名
・相撲大会前の土俵周辺の草刈り 土俵整備、校舎の窓ふき	8月21日(日)	約100名
・校庭の樹木の剪定・片付け	10月 9日(日)	5名
・駐車場の除雪	12月～3月	2名

(3)教育支援活動

・田植えから精米までの米作り 畑作物の栽培に関する活動支援	4月～11月	毎回1～5名
・1・2年生への学習支援	9月～3月(毎週火・金)	1名
・七崎音頭指導	5月11～16日(水～月)	1名
・餅つきに関する活動支援	12月 6日(火)	8名

(4)行事支援活動

・相撲の作法指導	8月26日(金)	3名
・相撲大会準備、運営、審判 後片付け	9月 7日(水)	約40名
・相撲大会用のシート片付け	9月11日(日)	約30名
・マラソン大会巡視	6月 2日(木)、10月27日(木)	各15名
・学習発表会後の後片付け	10月16日(日)	約20名

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数	81人(全保護者を含む)
(2) 今年度ボランティア保険加入者数	6人
※地域密着型教育予算による保険加入者数	6人
※学校支援地域本部事業の予算による加入者数	0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域学校連携協議会を立ち上げ、直接委員の方々に学校経営の方針や重点施策、取り組み、学校評価等を説明したり、意見や指導を受けたりしたことによって、学校への理解と支援体制をより強めることができた。また、学校の取り組みも高く評価していただくことができた。
- ・地域の方が来校する機会が増えたことで、子どもたちとも顔見知りになり、地域の中で会った時お互いにあいさつを交わすようになった。子どもたちと地域の方々とのつながりがよくなり、子どもたちの一層の安全・安心の確保にもつながっている。

(2) 課題

- ・今年度は、小学校だけが地域密着型教育を始めた。来年度は中学校も始めることになり、中学校区での体制をとっていくことになる。委員の選定や活動への取り組みについて中学校とも相談しながら進めていく必要がある。
- ・今年度作成した構想図は、新しく組織を作ったり活動を増やしたりしたものではなく、これまでのPTAや地域の方々の協力による活動をまとめたものである。「地域密着型教育を始めたのはいいが、これまでとやっていることが同じ」とならないように、さらに地域と密着した活動が行われるよう、それぞれの支援活動を充実させていく必要がある。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立新井田小学校

校長 佐藤 宏美



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- | | | |
|---------|-------|---|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成23年 9月29日（木）18:00～19:30 |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none">・委嘱状交付・会則案の審議・正副会長の選任・学校経営方針，児童生徒の現状等についての説明・意見交換 |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成23年12月20日（火）18:00～19:30 |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none">・学校目標に係る自校評価結果の説明・学校評価の説明・意見交換 |
| (3) 第3回 | ①実施日時 | 平成24年 2月16日（木）18:00～19:30 |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none">・学校評価の総括・次年度の計画の確認・意見交換 |

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

- | | | |
|--|------------|--|
| (1) 準備委員会 | ①実施回数 | 2回 |
| | ②構成メンバーの概要 | 9名 各小中学校（校長，教頭，PTA会長） |
| | ③検討内容 | <ul style="list-style-type: none">・地域密着型教育推進に向けた方針の検討・コーディネーターの選出・年間スケジュールの作成・準備委員会の構成メンバーの選出 |
| (2) 企画推進部会 | ①実施回数 | 2回 |
| | ②構成メンバーの概要 | 14名
大館地区自治振興会会長，大館地区連合町内会会長，大館公民館館長，
各小中学校（校長，教頭，PTA会長），コーディネーター，
八戸市教育委員会担当指導主事 |
| | ③検討内容 | <ul style="list-style-type: none">・地域密着型教育推進に向けた方針及び組織の確認・地域学校連携協議会委員候補の選出・地域学校連携協議会会則案の作成 |
| (3) 企画推進部会及び専門部会については、必要の有無を含めて今後地域学校連携協議会において検討することとする。 | | |

3 具体的な取組状況

- | | |
|-----------|---|
| (1) 図書室整備 | <p>活動内容・・・本の貸出し及び修理，図書室の環境整備，新書の選定期日，回数・・・毎週金曜日を基本（４月～１月末まで 計２５回）</p> <p>参加人数・・・登録者２２名のうち１回４～６名参加</p> |
| (2) 環境整備 | <p>活動内容・・・校地内の草刈り・草取り</p> <p>期日，回数・・・６月～１０月末まで 計６回）</p> <p>参加人数・・・累計１２０名参加</p> |
| (3) 安全指導 | <p>活動内容・・・登下校の安全指導</p> <p>期日，回数・・・毎日</p> <p>参加人数・・・登録者１１名</p> |
| (4) 部活動指導 | <p>活動内容・・・卓球部の指導</p> <p>期日，回数・・・９月以降週に１回程度</p> <p>参加人数・・・登録者１名</p> |

4 ボランティアの状況

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 85人(保護者含む) |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 30人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果
- ①地域学校連携協議会において学校関係者評価を実施したことによって、学校運営に対する願いや意見を地域や保護者の代表から改めて聞くことができ、自校の教育活動を見直すことができた。
 - ②コーディネーターが中心となって「環境整備」ボランティアの人材確保及び連絡調整する体制を作ることができた。
- (2) 課題
- ①今年度は、地域学校連携協議会の立ち上げを目標に、校長及び教頭だけで進めたため、教職員並びに保護者、地域住民、児童は十分に理解していない状況である。今後、意図的・計画的に説明していくことによって、実質的な協働態勢づくりを推進していく必要がある。
 - ②地域学校連携協議会を基盤とした取り組みと既存のPTA組織や諸事業をどのようにリンクさせていくかが今後のポイントになると考えられる。そのため、企画・推進部会並びに専門部会等の細部組織をどのようにするか、必要の有無を含めて今後検討する必要がある。
 - ③地域密着型教育の推進が、教職員や児童、保護者の過度な負担を招くことにならないよう留意して進めていく必要がある。
- ア コーディネーターの複数体制の検討
- イ 防災教育の推進（地域と連携した防災体制の構築、訓練の実施）
- ウ 部活動支援体制の整備

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立松館小学校

校長 湊 昌 三



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回

- ①実施日時 平成23年 9月29日（木） 18:00～
- ②協議内容
 - i) 委嘱状交付・教育委員会より説明
 - ii) 会則について
 - iii) 正副会長選任
 - iv) 三校合同の地域学校連携協議会を組織する意義について説明
 - v) 三校の学校経営方針、児童生徒の状況等について説明
 - vi) 質疑応答（全員発言）
 - vii) 今後の予定確認

(2) 第2回

- ①実施日時 平成23年12月20日（火） 18:00～
- ②協議内容
 - i) 三校の学校運営状況の説明
 - ii) 学校評価の進め方について

(3) 第3回

- ①実施日時 平成24年 2月16日（木） 18:00～
- ②協議内容
 - i) 三校の学校評価委員会の結果について
 - ii) 平成24年度 三校の学校経営方針及び教育計画について
 - iii) 平成24年度年間予定について

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 準備会

- ①実施回数……………2回
- ②構成メンバーの概要…9名（三校 校長、教頭、PTA会長）
- ③検討内容……………
 - i) 地域密着型教育推進に向けた方針の検討
 - ii) コーディネーターの選出
 - iii) 年間スケジュール作成
 - iv) 準備委員会構成メンバーの選出

(2) 準備委員会

- ①実施回数……………1回
- ②構成メンバーの概要…大館地区自治振興会会長 蟹沢 幸治 氏
大館地区連合町内会会長 木村富士夫 氏
八戸市教育委員会指導主事 木村 朋子 氏
三校校長・教頭・PTA会長
コーディネーター 千葉 幸子 氏
- ③検討内容……………
 - i) 地域密着型教育推進事業についての説明
 - ii) 地域密着型教育推進事業の今年度進捗状況
 - iii) 地域学校連携協議会会員の選考

- (3) 企画推進部会及び専門部会については、地域学校連携推進協議会においてその必要性等について検討する。

3 具体的な取組状況

事 柄	期 日	回数	参加人数	主な内容
クラブ活動支援	8.23(火)、30(火)	2	延べ2名	陸上競技指導
	9.1(木)	1	3名	松館川 釣り体験
	9.29(木)、10.13(木)	2	延べ3名	ユニホック指導
	11.10(木)	1	2名	ばほり餅作り
	11.24(木)	1	1名	小物作り
お話会	5.13(金)、6.29(水) 9.12(月)、11.7(月) 1.31(火)	5	延べ10名	「紙風船」によるお話会、読み聞かせ
登校指導	4.7(木)～13(水) 9.21(水)～30(金) 12.12(月)～20(火)	18	保護者 延べ36名	交通安全母の会並びに保護者による朝の交通安全指導
米づくり体験学習	5.27(金)	1	9名	田植え体験
	9.29(木)	1	6名	稲刈り体験
	10.21(金)	1	6名	脱穀体験
行事支援	6.5(日)	1	約25名	運動会
	10.30(日)	1	20名	ありがとう収穫祭餅つき補助
環境整備	5.22(日)	1	75名	校庭整備

※参加人数はボランティアの人数

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 2 人（保護者含む）
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 2 人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果（今後期待される姿）

- ①小規模校という学校の特色や土着性の強い土地柄から、今までも保護者・地域の方々からの支援を得ながら教育活動が進められている。今年度、地域密着型教育推進校に指定されたことで学校への協力が公的にも認められたということになり、学校関係者評価委員をはじめ地域の方々との協力関係を一層築きやすくなることが期待される。
- ②従来は完全に個人のボランティアで行われていたものが、ボランティア登録し保険に加入することで、事故等への対応がいくらかでも可能となる。
- ③従来のJ Sに加えて大館地区の方々と交えての小中連携となり、今まで以上に相互理解がなされ、交流がより一層深まっていくと期待される。

(2) 課題

- ①校庭整備などは70名を超える地域の方が協力してくださるが、それらの方々のボランティア登録することは難しい。また、自分から好きで無償で協力して下さっている方が多く、改めてボランティア登録となると、特に年配の方は抵抗を示すことが考えられる。
- ②地域と共同の防災体制作りや防災訓練計画の作成。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立旭ヶ丘小学校

校長 鳴 海 秀 彦



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第1回 ①実施日時 平成23年6月15日（水） 18:30～20:00

②協議内容

・会則の確認 ・組織について ・今年度の事業計画について

(2) 第2回 ①実施日時 平成23年9月28日（水） 18:30～20:00

②協議内容

・1学期の取り組み状況 ・1学期の子どもたちの様子及び情報交換
・今後の取り組み方について

(3) 第3回 ①実施日時 平成24年1月24日（火） 18:30～20:00

②協議内容

・「学校関係者評価」実施 ・地域密着型教育の推進状況報告及び
・情報交換 来年度の方向性の検討

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 専門部会 ①実施日時 平成23年8月17日（水）

②協議内容

・ボランティアに協力してもらう事業等について ・要望等

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動部会

7月 7日（木） 学校保健委員会主催「すこやか会議」テーマ「いきいき姿勢ってどんな姿勢？」 青森県立はまなす医療療育センター園長 盛島利文氏

児童、保護者、教員、地域連絡協議会委員合計約600人参加

10月27日（木） マラソン大会全校児童参加（保護者引率補助ボランティア10名）

10月27日（木） 地域安全マップづくり（4学年89名及びボランティア7名）

11月14日（月） 1学年スケート補助保護者ボランティア（15名）

11月15日（火）～16日（水）

6学年職場体験学習（6学年76名及び保護者引率ボランティア7名）

(2) 安心・安全部会（安全づくり）

8月 6日（土）～ 7日（日）

旭ヶ丘祭り夜間巡回及び山車引き子として全職員参加

(3)環境整備部会（環境づくり）

5月22日（日） 校庭除草作業

10月23日（日） 校庭除草作業

(4)図書部会（心づくり）

6月27日（月） 本の読み聞かせ・本の修理・整理整頓

11月 1日（火） ”

12月 1日（木） ”

2月 1日（水） ”

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 55人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

①児童へのきめ細かな対応や安全が図られた

・マラソン大会や総合的な学習の時間等で児童のグループにボランティアが一緒について、引率や指導の補助をしていただいた。そのことにより、児童の安全が十分確保されたり、児童がわからなかったところを教えていただいたりするなどきめ細やかな対応が図られた。

②地域の一員としての自覚が育ってきた

・児童が地域の行事に参加したり、地域団体の方々が交通安全週間等で児童の安全を見守って下さったりしたことで、地域の方々との交流が図られ、地域の一員としての自覚や地域に対する愛着が児童に育っている。

③地域との一層の協力体制が確立した

・町内会や地域の幼稚園・保育園に地域学校連携協議会便りや学校便り等を配布することによって、学校の様子をきめ細やかに伝えてきた。それによって学校の実情を理解してもらうとともに、地域にお願いすべきことが明確になってきた。

(2) 課題

①一年間を見据えた役割分担や協力体制の明確化

・連携を深めていくことで行事や活動の中には、時期を同じにして一緒に行えるものがあることがわかってきた。そこで、学校、地域、保護者がそれぞれすべき仕事内容を明確にし、各団体のスケジュール一覧と照らし合わせて活動していくことで、より効率的に協力していけるのではないかと考える。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立市野沢小学校

校長 田 村 滋 子 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回
 - ①平成23年10月3日(月) 18:30～
 - ②地域学校連携協議会理事委嘱状交付式
 - ②協議内容
 - ア 行政説明「地域密着型教育について」
 - イ 議事 (1)会則の承認 (2)会長・副会長の指名
(3)地域学校連携協議会の方針及び組織について
(4)今後の日程と計画案について
- (2) 第2回
 - ①平成23年12月 7日(水) 18:30～
 - ②協議内容
 - ア 学校適正配置に関わる本学区での今後の進め方について
 - イ 情報交換
- (3) 第3回
 - ①平成24年 1月25日(水) 18:30～
 - ②協議内容
 - ア 学校の現状と課題の説明及び審議
 - イ 学校評価に関する説明及び審議
- (4) 第4回
 - ①平成24年 2月29日(水) 13:50～
 - ②協議内容
 - ア 授業参観及び意見交換
 - イ 今年度の成果と課題の説明及び審議
 - ウ 来年度の教育計画についての説明

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

- (1) 準備委員会
 - ①実施回数 3回
 - ②構成メンバーの概要
 - ・校長、教頭、PTA 会長、自治会長1名、担当指導主事、コーディネーター
 - ③検討内容
 - ア 地域密着型教育の方針審議
 - イ 会則、組織の審議
 - ウ 地域学校連携協議会理事の選定
 - エ 理事顔合わせ、第1回理事会の打合せと今後の見通し
- (2) 企画推進部会（開催なし）
- (3) 専門部会（開催なし）

3 具体的な取組状況

- (1) 環境整備(PTA との連携で実施)
 - ①5月15日(日)6:30～敷地内の草刈り
 - ②7月 3日(日)6:30～敷地内の草刈り・桜の枝払い
 - ③9月11日(日)6:30～校地内の草刈り
 - ④11月20日(日)9:00～校舎内の清掃

(2) 学校支援ボランティアによる環境整備(登録)

- ① 6月18日(土) 13:00～フェンス直し作業 3名のボランティア参加
- ② 6月20日(火) 15:30～花壇への花植え作業 3名のボランティア参加
- ③ 6月22日(水) 10:00～花壇への花植え作業 2名のボランティア参加
- ④ 10月11日(火) 13:00～校庭の草取り作業 3名のボランティア参加
- ⑤ 10月21日(金) 9:00～花壇の花植え作業 9名のボランティア参加

(3) 学校支援ボランティアによる環境整備(登録外の有志)

- ① 学校農園耕耘作業、4月・5月・11月3回
- ② 学校の階段除雪作業 12月～2月

(4) 学習支援

- ① 読み聞かせボランティア(のいちごの会) 4月～2月全12回(学年2回の読み聞かせ)
- ② 親子農園農作物を植える指導、有機肥料指導者2名
- ③ 10月15日(土)の学習発表会に向けた南中ソーランの指導者1名
- ④ 11月9日(水) ミュージカル公演における朝の立哨指導3名、午後の一般車両の交通整理及び場内整備・会場設営撤収手伝いボランティア6名
- ⑤ 4年そば打ち体験・三世代交流会への支援 祖父母ボランティア5名参加

(5) PTA 行事支援(バザー&子ども冬まつり)

これまでは地域の子ども会育成会の「子ども冬まつり」のお手伝いを PTA の保健委員会が行ってきたが、今年度から PTA バザーも行い、父親のボランティア(大鍋雑煮づくり・射的・くじ引き担当)12名の参加を得ることができた。

餅つき、どんと焼き、繭玉飾り、お雑煮等のお正月の伝統的な行事を体験するほか、射的やくじ、軽食販売等もあり、子どもも保護者も地域の方々も一緒に楽しい一時を過ごすことができた。

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 27人(保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 8人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 理事会のメンバーから、学校行事に支援してくれる団体や個人の情報をいただくことができ、学校行事・教育活動及び学年の学習(総合的な学習の時間)の充実につながった。
- ② 11月30日(水) 収穫感謝祭を実施し、日頃お世話になっている地域の方々やボランティアの方々を招待し、感謝の気持ちを伝えるとともに、地域の方々と子どもたちのつながりができた。
- ③ PTA バザーについて、理事からアイデアをいただき、工夫しながら運営することができた。PTA 活動の充実に結び付いた。
- ④ 学校評価について、建設的な意見をいただくことができた。

(2) 課題

- ① ボランティア登録の呼びかけ(1学期1回)では、5名の登録しかなかったが、2学期2回目の一斉募集及び活動毎の募集により27名まで増えてきた。次年度は、このメンバーをもとに組織会を行い、確実にボランティア保険を適用させたい。
- ② コーディネーターは徐々に地学連だよりの作成ができるようになってきた。次年度は、年間計画・予定をしっかりと立て、教育活動の中でボランティアを積極的に活用できるようにしていきたい。
- ③ 今年度の地域密着型教育の取組状況を説明し、教職員への周知と共通理解を図るとともに、本校の総合的な学習の時間の「ふるさと学習」において受けたい支援を明確にし、次年度の活用を図っていく。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立 中野 小学校
校長 山 田 真寿美



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①平成23年10月29日（土） 15:00～
②協議内容
○委嘱状交付
ア 行政説明「地域密着型教育について」 イ 会則の承認
ウ 会長・副会長指名 エ 地域学校連携協議会の組織について
オ 今年度の学校経営方針 カ 今年度の事業日程計画の説明
- (2) 第2回 ①平成23年11月22日（火） 10:40～15:00
②協議内容
○子ども祭り参観，会食
ア 学力調査の結果と考察 イ 生活習慣チェックの結果と考察
ウ 学校評価について
・アンケートの集計結果 ・学校関係者評価の進め方
エ 子どもの様子と意見交換
- (3) 第3回 ①平成24年1月31日（火） 18:30～
ア 学校関係者評価（報告書）について イ 次年度の活動計画
ウ 学校適正配置検討会の委員選出について エ 意見交換

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし，準備委員会は初年度の学校のみ記入）

- (1) 準備会 ①実施回数 1回（平成23年8月23日）
②構成メンバーの概要
・市教委担当指導主事 ・全PTA会員 ・校長，教頭
③検討内容
ア 地域密着型教育についての方針や活動の概要説明（市教委）
イ 第1回準備委員会に向けての検討・協議
・理事の人選と組織 ・会則について ・参加者の確認 ・資料について
- (2) 準備委員会 ①実施回数 1回（平成23年10月6日）
②構成メンバーの概要
・市教委担当指導主事 ・地域の相談役（2名） ・校長，教頭，教務
③検討内容
ア 地域密着型教育についての方針や活動の概要説明（市教委）
イ 委嘱状交付式と理事会の持ち方
・会場設置 ・資料の準備 ・会則についての検討
・連携協議会理事の人選と組織についての検討
ウ 今後の活動についての見通し

3 具体的な取組状況

- (1) 学習支援
ア 学区合同運動会：H.23.6月，用具係，会場準備

- イ 学習発表会：H.23.10月，10日程度，中野神楽の指導
- ウ 収穫感謝祭：H.23.11月，そば打ち体験の指導
- エ 総合的な学習：H.23.12月，そばの打ち方，そば料理についてインタビュー

(2)生産活動への支援

- ア 米づくり：H.23.5月～11月，代掻き，田植え，稲刈り脱穀，精米
※通年で田んぼの世話・管理，肥料・農薬散布
※もち米の苗提供…中野稲作地域震源保全隊
- イ 蕎麦づくり：H.23.5月～11月，畑の耕耘，蕎麦種まき，蕎麦刈り，脱穀
- ウ 学校農園：H.23.5月，耕耘，マルチがけ

(3)環境整備

- ア 奉仕作業：年2回，地域全戸，校地内の草取り・草刈り
年1回，中野づくりの会，校地内樹木の枝払い
年2回，PTA会員，花壇の草取り，校内ワックスがけ
年1回，地域の有志，高所窓ふき作業
- イ 花壇の苗提供：なかの地域資源保全隊
- ウ 施設修繕：適時，地域の有志，古い小屋の撤去
適時，地域の有志，ゴミ捨て場のゴミ搬出
適時，地域の有志，校地内除雪
適時，地域の有志，玄関タイルの補修
適時，地域の有志，鶏小屋ドアの補修

(4)安全・安心

- ア 学区内巡視：年6回，PTA会員，巡回指導
- イ 街頭指導：年3回，地域の交通指導隊，春・秋・冬の交通安全運動期間

(5)地域交流

- ア ヨサコイ出演：丑の湯祭り(社会福祉協議会)，福祉施設訪問，中野祭り
- イ PTA主催地区レクレーション：年1回，グランドゴルフ大会
- ウ JS事業：中沢中学校区合同発表会，小小交流学习，授業参観等
- エ 収穫感謝祭：年1回，子ども祭りへの招待
- オ 中野芸能発表会：年1回，劇や神楽，ヨサコイの披露
- カ 南郷芸能発表会：年1回，神楽出演

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 0人 登録はしていない。
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 15人 ※地域密着型教育予算による保険加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・保護者や地域の方々の教育活動への支援により，学習に対する意欲や主体性が高まり，生き生きと活動する児童の姿が多く見られた。
- ・学校評価に関わるご意見や情報交換をとおして，地域から見た学校，学校への期待や思い，願いを感じ取ることができた。
- ・理事会の場において，地域の諸団体が行う学校への支援や取組について共通理解を図ることができた。そのことにより，地域全体で子育てを共有する意識の高まりが感じられた。

(2) 課題

- ・教育活動に対する具体的な支援を呼びかけて，地域の教育力・人材の活用を図りたい。
- ・当該中学校の地域学校連携協議会の理事と本校の理事が重複し，諸団体長の多忙化が危惧されるので，小中の連携・調整を図りながら状況を見守っていききたい。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立鳩田小学校

校長 澤 田 保



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成23年8月10日(水)
②協議内容
○委嘱状交付式・行政説明(八戸市教育委員会)
○会則の承認, 会長指名, 副会長指名, 会長・副会長あいさつ
○運営組織について(教頭)
○今年度の学校経営について(校長)
- (2) 第2回 ①実施日時 平成23年12月13日(火)
②協議内容
○今年度の状況について説明(教頭)
・教育活動について, 学校評価について, 非常災害時の連携について
○学校適正配置検討委員会委員の選任について(校長)
○学校関係者評価の実施(委員による評価)
- (3) 第3回 ①実施日時 平成24年1月19日(木)
②協議内容
○学校評価についての説明(教頭)
・学校目標・学校課題についての教職員のアンケート結果について(教頭)
・学校評価結果及び成果, 課題, 改善策等について

2 上記以外の会議の実施状況 (開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入)

- (1) 準備委員会 ①実施回数 1回
②構成メンバーの概要 P T A会長, 鳩田学区推進協議会会長, 校長, 教頭
③検討内容
・地域学校連携協議会会則について, 地域学校連携協議会組織について
地域学校連携協議会役員, 委員について(候補確認), 今後の計画について
- (2) 企画推進部会 ①実施回数 1回
②構成メンバーの概要 P T A会長, 副会長, 執行部役員, 校長, 教頭
③検討内容
・学校の教育活動を支援する活動内容の確認(教育活動部会, 農園活動部会, 安全指導部会, 環境整備部会, 交流・連携部会について)
- (3) 専門部会 ・各専門部会はP T A組織に準じており, 各活動を行う際に, 学校, 保護者, 地域がお互いに連絡を取り合い, 活動を行っている。

3 具体的な取組状況

- (1) 環境奉仕作業
・5月8日(日), 10月2日(日)の2回
・各回とも約120名(保護者, 学区民, 教職員, 児童)
・学校敷地内の環境整備(草刈り, 草取り, 校庭整備, 校舎内の窓拭き等)
- (2) 小学校・学区合同運動会
・5月22日(日)
・約200名(児童, 教職員, 保護者, 学区民)
・鳩田学区推進協議会との共催。運営を学校, 学区民が分担し合い, お互い協力して行う。
- (3) 親子キャンプ
・7月23日(土), 24日(日)
・約70名(児童, 保護者, 学区民)
・テント設営, 夕食づくり, レクリエーション, キャンプファイヤー, 肝試し等

(4) 学校田活動

- ・ 4 月初植え， 5 月田植え， 1 0 月稲刈り・脱穀
- ・ 約 5 0 名(児童，保護者，教職員 学校田地主，管理者，サポートセンター虹の皆さん)
- ・ 米作りに関わる作業を保護者の協力を得て行う。

(5) さわやかグランドゴルフ大会

- ・ 9 月 2 6 日(月)
- ・ 約 6 0 名(児童，老人クラブ，保護者，教職員)
- ・ 鳩田学区推進協議会との共催で実施し，グランドゴルフを通してお年寄りとの交流を図る。

(6) 鳩田学区子どもえんぶり組の活動

- ・ 5 月～ 2 月
- ・ 約 6 0 名(児童，地区えんぶり指導者，保護者，教職員)
- ・ 年間を通して，えんぶりの練習を地区えんぶり指導者や保護者の協力を得て行っている。その成果を学習発表会，中沢中学校校区合同発表会，南郷区芸能祭りなどで発表している。今年度は，老人福祉施設へ訪問しての演技もあった。

(7) 図書読み聞かせボランティア

- ・ 毎週木曜日の朝自習の時間
- ・ 1 5 名(児童，読み聞かせボランティア，教員)
- ・ 1・2 年生を対象に読み聞かせを行っている。また，年 4 回，読み聞かせサークル「野いちごの会」の読み聞かせを業間時間に行っている。

(8) 収穫感謝祭

- ・ 1 2 月 8 日(木)
- ・ 約 6 0 名(児童，保護者，学区民，サポートセンター虹の皆さん)
- ・ 収穫した餅米を利用した料理を作り，保護者，学区民，サポートセンター虹の皆さんに食べていただき，感謝の気持ちを表す。

※このほかに，学校農園活動への協力，交通安全指導・巡回指導，スキー場整備，学校林管理，部活動支援等に協力をいただいている。

4 ボランティアの状況

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| (1) ボランティア登録現在数 | 6 人(保護者含む) |
| (2) 今年度ボランティア保険加入者数 | 0 人(P T A 安全互助会には加入している。) |
| ※地域密着型教育予算による保険加入者数 | 0 人 |
| ※学校支援地域本部事業の予算による加入者数 | 0 人 |

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・ 鳩田学区で今まで行われてきた地域と連携した様々な活動を，地域密着型教育の視点から考えることで，その必要性，有用性がより明確になった。
- ・ 地域学校連携協議会委員の方々から教育活動等についての評価，意見をいただくことで，課題の共有化が図られ，学校運営の改善に役立てることができた。また，肯定的，建設的意見を伺うことができ，学校で取り組んでいることへの自信を持つことができた。
- ・ 地域や保護者の方々から様々な協力をいただくことで，児童は感謝することの大切さを実感することができた。

(2) 課題

- ・ 地域と連携した様々な活動をいろいろ行ってきているが，学校が中心的に動いて保護者，地域から協力を得るといいう形である。今後，地域の児童は，地域で育てていくという意識の向上を図り，地域や保護者も主体的な役割を担っていけるよう進めていきたい。
- ・ 地域学校連携協議会委員や学区民からの意見をより集約できるよう方法等を工夫していく必要がある。
- ・ 今年度は，地域学校連携協議会を立ち上げ運営してきたが，運営の在り方についてももう少し工夫・改善していく必要があり，協議会が地域密着型教育の推進に効果的な役割を果たせるようにしていきたい。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立島守小学校

校長 玉田 嘉昭



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ① 7月6日（水） 18:30～20:00 於：島守小（今年度事務局校）
②【協議内容】
・委嘱状交付式（教育委員会）
・今年度の計画及び地域との連携事業について説明（小・中教頭）
・今年度の学校教育について説明（小・中校長）
・学校関係者評価についてのお願い（事務局）
- (2) 第2回 ① 11月7日（水） 18:30～20:00 於：島守小
②【協議内容】
・地域との連携事業についての中間報告（小・中教頭）
・1学期の児童・生徒・保護者・教職員アンケートの結果報告（小・中校長）
・アンケート結果等をもとにした話し合い
・教育委員会より
- (3) 第3回 ① 1月17日（木） 18:30～20:30 於：島守小
②【協議内容】
・地域との連携事業についての経過報告（小・中教頭）
・児童・生徒・保護者・教職員アンケートの成果と課題について（小・中校長）
あらかじめ「小・中学校学校目標の3重点」と「小・中ジョイント重点項目3つ（8Dプランから）」についてアンケート結果分析を資料として送付し、学校関係者評価に協力いただいた。

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 打ち合わせ ① 6月17日 小・中学校校長・教頭打ち合わせ 於：島守小学校 14:00～
・昨年度の地域学校連携委員会持ち方を振り返って今年度に生かす話し合い。
- (2) 企画推進部会 ① 6月21日 於：島守小学校 18:30～
・小・中学校PTA会長、副会長（企画推進委員）と小・中学校校長と教頭
教育委員会から教育センター副所長の田村 元氏 出席
・昨年度の振り返りと今年度の地域学校連携委員会の持ち方
・昨年度の自己評価と学校関係者評価をもとにした改善の検討

3 具体的な取組状況

◎ 島守ふるさと応援隊の活動

- (1) 教育関連事業 ① 生活科と総合的な学習の支援
生活科：町たんけん（農協・菓子店・自動車販売店・駐在所）等
総合的な学習の時間：無農薬の米作り・そばの研究等
② 図書ボランティア
読み聞かせ（野いちごの会）5回 図書室整備飾り付け（保護者5名）
保護者による読み聞かせ2回（保護者2名）
③ 学校行事への支援 収穫感謝祭餅つき・学校田の管理（PTA学年委員会）
- (2) 環境事業 ① 水車小屋・裏庭等の保全作業（PTAOB施設管理委員会・PTA環境委）
② 草刈り・窓ふき早朝作業 2回（PTA）
③ 歩け歩け会と植林活動（島守子供会育成会・市土地改良区水土里ネットはちのへ）
- (3) 文化事業 ① 島守小学校神楽クラブの春まつり、生き生きまつり、南郷郷土芸能発表会練習と
出演 演目は番楽と剣舞（神楽神楽保存会・教職員）

- (4) 交流・連携事業①小・中学校合同大運動会・島守音頭の練習
 - ②地域学校連携協議会及び小・中学校ジョイントスクール授業公開・研修会
- (5) 安全対策事業 ①緊急時安全見守り(地域子供会世話人)
 - ②交通安全キャンペーン(交通安全母の会、駐在さん、交通安全協会南郷支部)

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数小学校 80名 (保護者と地域の関係者全員が応援隊となっている)
※地域密着型教育予算による保険加入者数 本年度はなし (PTA安全互助会に賛助会員として加入10名)

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 島守小・中学校地域密着型教育の組織図のとおり、保護者と地域住民が「ふるさと応援隊」として、子どもたちのためにボランティアを引き受けてくれているが、今年度は校内研究で「意図的に体験を繰り返すことによって課題設定・課題解決の力をつける」に小学校では取り組み、地域の方々は再度のお願いにも快く協力してくださっている。学習を深めたり広げたりできるようになり成果が見られた。また、学習面だけでなく地域の行事にかかわって、地域の方々の思いや生き方も学ぶことができ、キャリア教育・心の教育がおのずと進められたことが成果としてあげられる。
- ② 第3回目の地域学校連携協議会では、「3年目を迎えたのでそれぞれの学校の評価とともに、地域密着型教育に関するこの組織を振り返って評価してみようではないか」という意見がだされた。小学校と中学校それぞれの学校経営や教育方針をよく理解し、それぞれの立場で責任感と使命感をもって子育てをしようという意識の高揚が熱く感じられた。また、大人社会が子どもの手本となるようにすることや、小学校にあっては「躰のこと」、中学校にあっては「自ら考えをもち積極的に表現できるたくましさや自信」について言及し、共に目指していくべきことを確認できた。
- ③ ジョイントスクール推進事業と地域密着型教育の組み合わせにより、地域の方々を含む学校関係者は、9年間を見通して子育てを考えることができ、児童・生徒の成長を見据え、小学校での課題を中学校がどう解決していくか、中学校での課題から、どう小学校が取り組みれば良いか考えることができ地域の方々もそういう目で関係者評価をし、協力している。4つの共有について教育委員会より指導をいただいているが、その理想に近づきつつあるように思う。
- ④ 組織運営のあり方については昨年度の反省をもとに、企画推進部の機能を再確認し、改善案を整理しておいて協議を進めた。企画推進部委員を、地域学校連携協議会の3回目にオブザーバーとして出席していただき実際の事業実施に意見を生かしていけるように改善を図った。

(2) 課題

- ① 昨年度の反省のもと、地域学校連携協議会委員の方々にできるだけ実際の児童・生徒の様子をみていただきたいと年間の計画表をだしてあらかじめ予定をしていただき、案内状をだして御案内したが、なかなか難しい面があった。今後は地域学校連携委員会での宣伝や、地域にも配布している学校だよりも参観意欲を増すような御案内をするなど、できるところで工夫を重ねたい。
- ② 組織運営のあり方については、昨年度の反省をもとに今年度工夫したが、企画推進部の動きがさらに実践化に有効なものとなるよう、今後も話し合っていきたい。また、各事業もさらに充実できるようにすすめたい。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立第一中学校

校長 伊 藤 博 章



1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回
 - ① 実施日時 平成23年5月31日(火) 18:30～
 - ② 協議内容
 - ・委嘱状交付
 - ・今年度の活動について
- (2) 第2回
 - ① 実施日時 平成24年1月16日(月) 18:30～
 - ② 協議内容
 - ・今年度の活動報告について
 - ・「学校教育に関する保護者アンケート」結果について
 - ・意見交換

2 上記以外の会議の実施状況

- ◇専門部会
 - ① 学校行事支援プロジェクト H23.6.10、6.12、6.15、6.17、6.29、7.11、7.12
- (主な会議)
 - ② 学校図書館支援プロジェクト H23.6.7、6.16、7.19、12.1
 - ③ 環境整備支援プロジェクト H23.6.7、7.20
 - ④ 情報発信支援プロジェクト H23.4.28、6.9、7.5、9.1、9.29、12.15、H24.3.2

3 具体的な取組状況

- (1) 学校行事支援
 - 青葉湖ウォーク(1学年遠足)の企画と支援、体育祭の企画から競技支援、授業支援(書写)
 - 文化祭 PTA バザーの支援、調理実習補助ボランティア
- (2) 学校図書館支援
 - 研修会(ブックトーク、本の修理の仕方)、他校の学校図書室訪問、図書ボランティア全体会
- (3) 環境整備支援
 - 校内環境整備や校内ワックス清掃、地域清掃活動等
- (4) 情報発信支援
 - 地学連協だより「ブルースカイ」7回発行、ホームページの随時更新

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 60 人(保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 42 人
 - ※学校支援地域本部事業の予算による加入者数 42 人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

2年間のモデル校を含めて「地域密着型教育」に取り組み4年目を迎えた。昨年度に引き続き、地域の教育力を生かすとともに、地域にいかに関与するかを意識し、活動を行った。今年度も、総合的な学習の時間等を活用した学年ぐるみの活動が行われたことや吹奏楽部などが地域の会合等に招かれ演奏を披露するなど、生徒や職員が地域に出向いて行う活動が定着してきたことが成果としてあげられる。

また、今年も学校行事の企画段階から保護者等にも職員会議後半に出席していただき情報の共有を図るなど、保護者との連携も定着してきており、保護者自らが積極的に学校にかかわろうとする意識の高まりを感じることができた。

さらに、今年度から「地域学校連携協議会」が学校単独で行われるようになり、協議内容が本校に関するものに焦点化できたことも地域の声を生かす意味で大きなプラスと考えられる。

(2) 課題

毎年、同じ課題を抱えている。すなわち、「地域密着型教育」が真に、地域に根ざした活動になるかどうかは職員や生徒の意識に負うところが大きい。「やらされる」という受け身の活動ではなく、「自分たちの学校や地域を自分たちの手でより良いものにしていこう」という自主的な意識をはぐくむことがなにより大事と感じている。この点は、徐々に意識の高まりは見られるもののまだまだ不十分で、今後、職員一人一人が「地域あつての学校」という気持ちで、さらに地域を取り込んだ教育活動等を展開していく必要がある。

来年度は、授業時数の確保が喫緊の課題であり、今年以上に効率的な活動が求められる。本務である授業や子どもたちと向き合う時間を確保しながら、学習面でも生活面でも実績をあげていかなければならない。地域密着型教育の推進が職員や生徒、さらには保護者の過度な負担増を招かないような施策を講じていくことが必要である。従来からの種々の教育活動等を総合的に見直し、これまで継続的に取り組んできた四大プロジェクトを中心に、その質的な充実を図ることが今後の課題である。

青葉湖ウォーク参加者全体会議

6月29日(水)



青葉湖ウォーク

7月9日(土)

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立第三中学校

校長 戸崎 亮司



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成23年5月23日（月）
 ②協議内容 ・委嘱状交付
 ・柏崎小・第三中校長あいさつ
 ・学校運営方針と学校目標
 ・各部会の取組予定
 ・柏崎小新築移転・第三中50周年記念事業について
- (2) 第2回 ①実施日時 平成23年12月5日（月）
 ②協議内容 ・学校関係者評価について
 ・各部会の活動状況について
 ・第三中50周年記念事業について
- (3) 第3回 ①実施日時 平成24年2月9日（木）
 ②協議内容 ・柏崎小・第三中学校関係者評価結果について
 ・各部会の活動状況について
 ・両校の来年度の教育計画について

2 上記以外の会議の実施状況（開催していない場合は必要なし、準備委員会は初年度の学校のみ記入）

- (2) 企画推進部会① 4月18日（月） ② 5月17日（火） ③ 6月27日（月）
 ④ 8月 8日（月） ⑤ 9月14日（水） ⑥ 10月19日（水）
 ⑦ 12月 1日（木） ⑧ 1月26日（木） ⑨ 3月21日（水）
- (3) 専門部会 ①全体会…6月27日（月）
 ②安全安心部会 ③環境整備部会
 ④教育活動部会
 ・グッジョブウィーク推進委員会…6/24, 9/2, 12/12
 ・50周年記念事業実行委員会…6/15, 9/28, 10/27, 12/12
 ・文化祭実行委員会…PTA各委員会（各学年会・企画振興・父親）
 ⑤学校図書館部会

3 具体的な取組状況

- (1) 安全安心部会
 ・青少年生活指導協議会…月1回
 ・柏崎地区安全パトロール協議会…月1回程度
 ・柏崎地区防災訓練打合せ…10/13
 ・PTA校外指導委員会…9月～12月
- (2) 環境整備部会
 ・校舎内生け花ボランティア…月3～4回程度
 ・校地内環境整備…8/21
 ・壁塗り環境整備…9/25

(3) 教育活動部会

- ・ Dear Sanchu（部活動懇談会）… 5/27
- ・ 部活動補助…バスケット、剣道、吹奏楽、ソフトテニスで延べ（ボランティア5名）
- ・ 俳句指導… 5月と1月に計3回の支援（ボランティア1名）
- ・ 生け花指導… 10月、11月、1月に計3回の支援（ボランティア1名）
- ・ 書写指導… 7月と1月で延べ15時間の支援（ボランティア1名）
- ・ 調理補助… 1月に延べ6時間（ボランティア5名）

(4) 学校図書館部会

- ・ 図書ボランティア…週2回程度

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 17人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 7人

※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果
- ①安全安心部会において、地域の関係諸団体との定期的な情報交換を行っていることにより、生徒の地域における様子を知り、また、学校の様子を地域関係者に理解してもらうことができた。
 - ②「地域の人が三中生に求めるもの」について、生徒が意識するようになり、校外でのあいさつを励行したり、歩行に気をつけたりするようになった。そのことが地域の方から評価されることにより、よい循環が生まれている。
 - ③俳句や生け花、書写など、その道の達人に協力いただいたことで、生徒の作品の質が大きく向上した。また、生徒とふれあうことを通して、ボランティアの学校理解が深まり、今後の連携に向けての体制が整った。
 - ④地域の「芭蕉堂祭り」や「みやこうた」への参加により、生徒の地域に対する関心が高まった。また、地域の方に喜んでいただいたことにより、今後の活動に向けての意欲が高まった。
 - ⑤美術科や国語科、技術家庭科など、授業で地域を題材化したり、地域の教育資源・人材を授業で活用したりする教員が増えた。
 - ⑥昨年度までの事業に加え、50周年記念事業に関わる活動が増えたが、円滑に進めることができた。記念講演会や記念座談会など、委員の提案を受けて取り組んだ事業は、どれも成功裏に終了した。
 - ⑥周年行事や新築移転、プールの共用など、諸事業について連絡を密に取り合うことにより、小学校との連携がいっそう深まり、効率的な予算執行、行事の効果的な運営につながった。
- (2) 課題
- ① PTA 校外指導委員会では、参加する保護者の人数が減少したため予定どおり実施できない日もあるなど、協力的な保護者とそうでない保護者の「格差」が広がっている。
 - ②昨年の東日本大震災を受け、自主防災組織や防災訓練と、学校の避難訓練等を効果的に関連させ、地域ぐるみの安全対策を強化していく必要がある。

平成 2 3 年度 「地域密着型教育」 報告書

八戸市立江陽中学校
校 長 長 澤 良 雄

1 地域学校連携協議会（委員会）の実施状況

(1) 第 1 回

- ① 実施日時 平成 2 3 年 5 月 2 5 日（水） 16:10～16:50
- ② 協議内容
 - ・ 委嘱状交付及び会長の指名，副会長の指名
 - ・ 会則審議
 - ・ 昨年度の協議会活動報告
 - ・ 昨年度の学校経営・学校運営（両校長）
 - ・ 今年度の学校経営・学校運営（両校長）
 - ・ 今年度の協議会活動計画
 - ・ 協議会の役割を確認（学校経営・学校運営の点検と評価）

(2) 第 2 回

- ① 実施日時 平成 2 3 年 6 月 1 日（水） 16:30～17:40
- ② 協議内容
 - ・ 5 月 2 5 日の地域づくり会議で話し合われた各専門部会の現状・課題・改善点・提案についての報告と説明
 - ・ 報告された事業を地域主催，学校主催いずれで行うかを話し合う。

(3) 第 3 回

- ① 実施日時 平成 2 3 年 1 1 月 3 0 日（水） 18:00～20:00
- ② 協議内容
 - ・ 学校経営・運営の進捗状況報告（両校長）
 - ・ 今後の学校経営・運営事業について（両校長）
 - ・ 質疑応答（小学校の英語活動，テレビの視聴時間，いじめ，グランドゴルフクラブと小中学生との交流，中学校の体育祭と地区のスポーツ交流会の合同開催）
 - ・ 学校評価の依頼

(4) 第 4 回（予定）

- ① 実施日時 平成 2 4 年 2 月 2 3 日（木） 18:00～20:00
- ② 協議内容
 - ・ 今年度の学校経営・学校運営（両校長）
 - ・ 来年度の学校経営・学校運営（両校長）

2 上記以外の会議の状況

(1) 専門部会

- ① 実施回数 1 回（平成 2 2 年 6 月 3 0 日）
- ② 構成メンバーの概要
 - ・ 町内会長・江陽地域各種団体長・両校の職員・両校の P T A 役員
- ③ 検討内容
 - ・ 各専門部会の現状・地域や学校の課題，要望，教育活動の提案）
（安全安心づくり・人づくり部会・まちづくり部会・健康づくり部会・環境づくり部会）

3 具体的な取組状況

(1) 山公園の草刈り（地域づくり）

- ・ 7月24日（日） 1回
- ・ 児童生徒（120名）および保護者，地域住民（13名）
- ・ 山公園の草刈り作業



(2) 江陽音頭講習会（地域づくり）

- ・ 7月14日（木） 1回
- ・ 婦人会（4名）
- ・ 江陽盆踊りで江陽音頭を踊るための練習



(3) 江陽盆踊り（地域づくり）

- ・ 8月7日（日） 1回
- ・ 生徒（68名）婦人会（6名）親父の会（9名）
- ・ 江陽盆踊りで江陽音頭を披露
- ・ 有志による出店



(4) 江陽中草刈り

- ・ 8月22日 1回
- ・ 生徒（121名）保護者および地域住民（52名）
- ・ 江陽中校地の草刈り



(5) 体育祭

- ・ 8月28日（日） 1回
- ・ 保護者および地域住民（46名）
- ・ 運営協働者として，出発係，決勝係，用具係，救護係等，職員とともに運営に関わる。



(6) グッジョブ

- ・ 9月6日～9日（火～金） 1回
21事業所中15事業所が学区
- ・ 4日間の職場体験を通して社会性を育成する



(7) 江陽地区スポーツ交流会（地域づくり）

- ・ 9月11日（日） 1回
3年生40名
- ・ 3年生が参加種目（2種目）を決め、各町内の選手として参加。



(8) 文化祭

- ・ 10月3日～23日 1～4回
保護者（20名）
- ・ 運営協働者として、校内装飾係、学年・教科展の展示係、演劇の大小道具係、演劇の衣装係等、職員とともに運営に関わる。



(9) 調理実習のアシスタント（事故防止）

- ・ 12月16日（金） 1回
保護者（1名）
- ・ 1年生調理実習のアシスタント（事故防止）



(10) 学校保健委員会（小中合同）

- ・ 2月29日（水） 1回
学校医・学校歯科医・学校薬剤師・町内連合会長・地域保健師・保育園長
健康づくり部会長・校長・教頭・保健主事・養護教諭
- ・ 児童生徒の健康教育、健康管理についての話し合い。

(11) 部活動支援

- ・ 通年 50～100回程度 地域住民（2名）
- ・ 部活動および大会等の支援

(12) 学校図書館支援

- ・ 通年 10回程度（昼休み） 保護者（1名）
- ・ 書籍の管理、貸し出し

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 11名
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 46名

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・昨年度より保護者や地域住民が学校行事や学校公開日，参観日，学校への奉仕作業等に多数参加するようになった。
- ・地域行事への生徒の参加依頼が増え，将来のまちづくりの担い手として，まちづくりに貢献できた。
- ・地域の会議や地域活動の場で，地域の方から「地域密着型教育」という言葉が使われるようになり，協働で子どもを育てる（地域の子どもは地域で育てる）という意識の高まりを感じた。（地域の各種団体の活動に生徒を参加させる動きが出てきた）
- ・地域住民の目が学校や生徒に向けられ，生徒は校外での生活に意識するようになってきた。
- ・職員は地域密着型教育の意義や有効性をさらに理解し，地域密着型教育の下で，学校行事やその他の教育活動を実施するようになってきた。

(2) 課題

- ・地域学校連携協議会委員による意見書（学校関係者評価）は感想が多く，学校運営に生かし辛い。工夫が必要であった。
- ・地域密着型教育コーディネーターの勤務場所が中学校に偏っていた。
- ・職員（教諭）が地域密着型教育コーディネーターを活用しやすい体制が必要であった。
- ・地域づくり専門部会会議が1回のみであった。さらに内容（地域の課題，提案事業等）を深めるために，あと1回は会議を持ちたいが，多忙化につながる。
- ・小中学校合同で行っている地域密着型教育なので，課題を共通し，さらに充実を図っていくために，管理職同士の話し合いが必要であった。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白銀南中学校

校長 高橋 亨

1 地域学校連携協議会の実施状況 [小中合同]

(1) 第1回

①実施日時：平成23年7月4日（月）17：15～18：15

＊協議会の前に委嘱状交付式

②次第

- ・基本構想説明 ・行政説明 ・会則の承認 ・会長の指名 ・会長あいさつ
- ・学校からの説明（地学連協組織、方針、活動計画）・質疑応答 ・事務連絡

(2) 第2回

①実施日時：平成23年12月1日（木）17：00～18：00

②次第

- ・協議会会長あいさつ
- ・学校自己評価について
- ・地域防災の果たす学校の役割について(小中学校避難所開設支援者の配置等)
- ・八戸市教育委員会より

(3) 第3回（予定）

①実施日時：平成24年3月中旬

②次第

- ・協議会会長あいさつ
- ・平成23年度活動報告
- ・平成24年度活動計画
- ・八戸市教育委員会より

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 準備委員会 【実施回数1回、参加者10名】

- ・日時：平成23年6月24日（金）18：30～
- ・場所：白銀南中学校 図書室
- ・協議内容：委嘱状交付式（八戸市教育委員会主催）について
 - ・開式のことば ・委嘱状交付 ・教育長挨拶 ・閉式のことば
- ・第1回地学連協について

(2) 企画推進部会及び 専門部会 開催しなかった

- ・図書ボランティアに関しては、第一中学校のボランティアから直接指導を受けた。
- ・授業支援のゲストティーチャーに関しては、事務局から直接白銀南公民館に交渉し、南部俵積み唄の演奏者をお願いできた。

3 具体的な取組状況

(1) 図書室整備

- ・蔵書整理 ・シール貼り ・図書室内整備 参加人数 6 人
- ・活動期間 平成 23 年 7 月～平成 24 年 3 月 毎週木曜日 1 日あたり約 2 時間

(2) 学習支援

- ・1 学年音楽 ゲストティーチャー 南部俵積み唄
歌唱と演奏
- ・人数 5 名 (白銀南公民館民謡クラブ員の方々)
- ・10 月 4 日 [中教研教科] 音楽の公開授業にて



(3) 学校行事補助 (おやんずの会)

- ・文化祭 P T A 行事補助 体育祭入場門設置・撤収

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 6 人

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 2 人

※地域密着型教育予算による保険加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果 ①学校図書の登録・整備がすすみ、本の貸し出し・返却がスムーズになった。

②専門家からの生きた指導により、音楽の授業が充実した。

③おやんずの会 (小中の保護者・P T A O B) の尽力で行事において本校職員だけでできない部分を補ってもらった。

(2) 課題 ①地域の人材確保

②会議・会合による負担増 (回数、時間、運営)

③小学校との連携

④すこやかみなみネット、P T A との関わり方

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立根城中学校

校長 古 舘 陽 資



1 地域学校連携協議会の実施状況

- (1) 第1回 ①実施日時 平成23年5月24日（火）13:30～15:00
 ②協議内容 ・会則の審議
 ・学校経営方針説明
 ・組織、運営について（グッジョブ・ウィーク推進委員会含む）
 ・事業説明（昨年度の成果と課題・今年度の事業計画）
 ・学区内3小学校からの説明と報告
 ・学校支援地域本部事業との連携の具体策
- (2) 第2回 ①実施日時 平成23年11月28日（月）13:30～15:00
 ②協議内容 ・事業の進捗状況説明（学習支援ボランティア等）
 ・事業推進に向けた提言と要望
 ・学区内3小学校からの説明と報告
- (3) 第3回 ①実施日時 平成24年1月31日（火）13:30～15:00
 ②協議内容 ・学校支援地域本部事業について（支援ボランティア拡充等）
 ・事業の成果と課題の説明
 ・学校評価の報告と委員による評価

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 学校運営協議会 ①実施回数7回（4月、5月、7月、9月、10月、11月、2月）
 ②構成メンバーの概要
 校長、教頭、教務主任、各学年主任及び副主任、PTA会長及び副会長、
 PTA各学年委員長、学校支援地域本部コーディネーター 合計17名
 ③検討内容
 ・学習活動、環境整備、地域交流、スポーツ文化活動の具体的な進め方
 ・学校行事、学年行事の運営
 ・生徒指導面での学校、保護者、地域の連携
 ・情報交換
- (2) 専門部会 各支援プロジェクトの進捗状況に応じて随時開催しているため、実施回数は委員会により異なる。各支援プロジェクトについて、「3 具体的な取組状況」の記載のようにPTAの委員会の協力を得て進めた。また、本事業全般に関する協力要請及び活動報告については、毎月開催している根城・田面木地区の各種団体の協議会である「三水会」の席上で行っている。

3 具体的な取組状況

- (1) 学習活動 ○教養委員会－土曜学習会の運営補助
 支援計画についての会議は3回、実際の運営補助は25回、延べ68人。
 ○学習ボランティア－土曜学習会の支援
 活動計画についての会議は3回、活動回数は延べ22日、参加者は延べ48人。
- (2) 環境整備 ○環境厚生委員会－学校花壇整備
 整備計画についての会議は4回、実際の作業については、4月下旬の土起こしから11月初旬の花壇じまいまで、開催回数、参加人数とも相当数に上る。

○総務委員会－親子による早朝除草作業

実施計画についての会議４回、夏と秋の２回の作業には、生徒・保護者・教職員を合わせて、延べ６８９名が参加。

○指導委員会－学区内及び近隣の祭りの巡視

巡視計画についての会議は３回、巡視活動には保護者延べ１４０人が参加。

○図書ボランティア－学校図書館の環境整備、図書登録、図書管理、貸出作業等

活動内容、活動日時についての会議は毎月開催、活動回数は延べ１４８日、参加人数は延べ３３８人。

(3) 地域交流 ○広報委員会－ＰＴＡ新聞の発行

編集計画会議は３回、活動日数は延べ３５日、参加者は延べ１６７人。

○２学年委員会－グッジョブ・ウィーク推進事業の推進

活動計画についての会議は５回、事業所訪問と打合せ等の活動日数は延べ１２日、参加者は延べ９６人。

○根城地区社会福祉協議会－敬老会の運営

運営についての会議は２回、前日の準備、当日の運営、後始末には、協議会委員、教職員、生徒ボランティアを合わせて、延べ６８０人が参加。

(4) スポーツ文化活動 ○部活動親の会－部活動懇談会の実施

各部の活動の充実に向けた情報交換会を２回実施し、保護者、コーチ、顧問、延べ８３人が参加。

○根城地区体育振興会－東レアローズ（女子バレーボール）との交流

体育館での公開練習、選手と生徒の交流会、選手を各教室に招いての給食。全校生徒、選手、役員、保護者、約６００名が参加。

○都南ライオンズクラブ－航空自衛隊北部方面隊の音楽隊の鑑賞

体育館での演奏と生徒との交流会。全校生徒、音楽隊、ライオンズクラブ会員、学区内３小学校の６年生、保護者、約８００名が参加。

※以上の活動以外にも、学校施設開放事業や三社大祭、えんぶり、区民運動会、小中ジョイントスクール推進事業等、生徒や地域住民が関わるものがあるが、それらについては詳細は省略。
また、体育祭や文化祭、入学式や卒業証書授与式等、地域学校連携協議会の委員や保護者の多大な協力を得て実施している学校行事についても詳細は省略。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数

２５人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数

８人 ※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・学習活動、環境整備、地域交流等では、地域との連携が進められ、事業内容も充実してきた。
- ・保護者や地域の方々が来校する機会が増え、学校の活動の様子を知るよい機会となっている。
- ・地域学校連携協議会では、学校関係者だけではなく、いろいろな立場からの率直な意見をいただき、学校運営を見直す機会が増えた。本事業を高く評価する意見も増えてきた。

(2) 課題

- ・コーディネーターを長期的に確保するためには、学校としての予算措置が必要である。本校はＰＴＡ事務との兼務として人材確保を図る。
- ・学習ボランティアの確保のために多方面からの協力を得たい。
- ・積極的な情報発信により、本事業による具体的な変容を周知することが必要である。
- ・「協力」から「協働」へ、「参加」から「参画」への意識変革を進めなければならない。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立北稜中学校

校長 畑山 寿美子 印

1 地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第1回

①実施日時 平成23年10月14日 17:00～

②協議内容

- ア) 学区校長会長（北稜中学校長）あいさつ
- イ) 会則承認
- ウ) 正副会長指名及びあいさつ
- エ) 地域学校連携協議会の組織及び今年度計画
- オ) 3校の学校経営方針等についての説明
- カ) 質疑

(2) 第2回

①実施日時 平成24年1月23日 17:00～

②協議内容

- ア) 全体会
 - ・北稜中学校区非常災害時における対応（地域の安全・安心に係る内容も含む。）
 - ・平成24年度の日程等についての確認
- イ) 分科会（北稜中部会、根岸小部会、日計ヶ丘小部会）
 - ・各校の学校評価説明（自己評価及び児童・保護者アンケートの結果説明）
 - ・各校の学校評価結果について、質疑及び協議

2 上記以外の会議の実施状況

(1) 準備会

①実施回数 4回 （5/2, 5/17, 5/19, 6/10）

②構成メンバーの概要 3校校長、第2・3回は、八戸市教育委員会の本事業担当者を含む。

③検討内容

- ア) 地域密着型教育推進事業の在り方についての共通理解
- イ) 事業概念図（案）の作成
- ウ) タイムスケジュールの作成
- エ) 会則、組織の原案協議
- オ) 準備委員会構成員選出のための協議

(2) 準備委員会

①実施回数 2回 （7/4, 8/29）

②構成メンバーの概要

連合町内会会長・副会長、公民館長、学識経験者、3校PTA会長、校長、教頭
学校支援地域本部事業コーディネーター

③検討内容

- ア) 事業概要説明（八戸市教育委員会）
- イ) 北稜中学校区地域密着型教育推進事業概念図説明
- ウ) 協議会会則（案）審議
- エ) 地域学校連携協議会員の協議

3 具体的な取組状況

(1) 教育活動・学校行事・文化関連事業

えんぶりクラブ指導支援、体育祭入場門作り、体育祭根岸音頭指導、1年総合的な学習のゲス

トティーチャー（烏帽子作り指導、舞の指導等）、えんぶり衣裝修繕、2年立志式講演会講師（人選、講演）、2年グッジョブ支援、部活動支援

（2）環境整備事業

花壇の整備、校庭の除草・枯葉の廃棄、廊下壁面等のペンキ塗、敷地内桜の木剪定

（3）安全対策事業

地域パトロール（市中体夏季大会前・市中体秋季大会前・夏休み・小田八幡宮例祭時）、プール監視

（4）交流連携事業

小中ジョイントスクール事業（中学校部活動見学・授業見学・挨拶運動）、区民運動会参加、公民館芸能発表会参加（えんぶりクラブ）

4 ボランティアの状況

（1）ボランティア登録現在数 （P会員数＋）60人（保護者含む）

（2）今年度ボランティア保険加入者数 35人

5 地域密着型教育の成果と課題

（1）成果

本学区3校は、これまでも根岸地区連合町内会や地区関係機関からボランティア派遣等、様々な支援を受けてきており、当初本事業は不要ではないかという意見もあった。実際、青少年生活指導協議会の席上では、各校の児童生徒の状況など、腹を割った情報提供や改善策等の協議がなされ、体育振興会、子ども会、公民館、下長交番連絡協議会等では、スポーツ大会の開催、地域ウォークラリー、文化祭、情報交換等各種事業を実施し、青少年の健全育成に努めてきた。

しかしながら、本事業の趣旨の説明や協議会の開催により、学区の3校が小・中学校ジョイントスクール推進事業を含め、互いに協力しながら教育活動を実施しているという姿を見たり、各校の学校経営方針の説明を聞く機会を設けられたことから、各学校が胸襟を開いて地域と共に子どもたちを育てようとしているということが伝わり、非常にいい雰囲気第1回協議会が開催された。

具体的な成果は次のとおりである。

- 保護者や地域の方々が、学校やその周辺の環境整備に気を使ってくれている。特に通学路の安全管理では、歩道の整備や交通安全協会の巡回指導が行われている。
- 子どもたちを含めた地域全体であいさつ運動を盛り上げようとしてくれている。交通安全協会が呼びかけ、通学路に立って安全指導を行ってくれている。
- えんぶりをテーマにした総合学習に八太郎えんぶり組が全面的にバックアップしてくれ、伝統芸能の理解に役立っている。

（2）課題

本学区は、従前より教育活動全般に対するボランティア活動が盛んであったが、本事業はまだ緒に就いたばかりであり、依頼に応じて支援する、あるいは、ボランティア活動そのものが活動のねらいという認識の段階にある。今後、広報活動や日常的な教育活動を通して、保護者や地域住民が学校運営に参画するという意識を醸成させたい。

また、それと同時に、「地域や関係機関の要望」と「学校での教育活動」との調整機能を地域学校連携協議会の中に持たせる必要があると考える。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立 是川中 学校
 校長 三 上 齊 印

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- | | | |
|---------|-------|---|
| (1) 第1回 | ①実施日時 | 平成23年11月7日(月) 19:00～20:30 |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・会則について ・会長、副会長の指名 ・学校目標等、学校教育方針について ・今年度の計画について |
| (2) 第2回 | ①実施日時 | 平成24年1月25日(水) 19:00～20:30 |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校目標等に関わるアンケート結果の報告 ・学校関係者評価(重点施策と8Dプランを中心に) |
| (3) 第3回 | ①実施日時 | 平成24年3月中旬予定 |
| | ②協議内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の事業報告 ・来年度の予定に関する説明及び審議 |

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備委員会 ①実施回数 3 回
②構成メンバーの概要
・PTA会長、連携協議会会長候補者、大塚副参事、花生指導主事、校長、教頭
③検討内容
・地域密着型教育の説明
・会則及び組織図について
・地域学校連携協議会委員の人選
- (2) 企画推進部会…今年度実施せず。
- (3) 専門部会…組織せず。

3 具体的な取組状況

(1) 奉仕活動

7月12日（火）：花壇の整備（保護者12名参加）

8月7日（土）：校庭の草取り、プレハブ小屋修理（保護者・生徒約170名参加）

10月8日（土）：校庭の草取り、プレハブ小屋修理（保護者・生徒約150名参加）

(2) 夏季休業中

7月22日（金）～8月19日（金）：プール監視（保護者20名・教職員のべ20名）

校外巡視活動：3回。保護者・教職員のべ54名参加

(3) 体育祭関係

8月24日（水）：是川音頭指導（地域婦人会から6名参加）

8月27日（土）：熱中症対策用テント搬入・組立（小中保護者約10名）

8月28日（日）：体育祭にて是川音頭を生徒と一緒に踊る（地域婦人会から12名参加）

(4) 野焼き

11月4日（金）：指導ボランティア4名参加。

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 0人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 0人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域学校連携協議会による学校関係者評価を実施したことにより、学校課題や生徒の実態等を共有できた。このことにより、学校、保護者、地域、それぞれの立場から幅広い視点から意見交換をすることができた。
- ・今年度初めて是川音頭を体育祭に取り入れた。その際、地域の婦人会から指導を仰いだが、従来のPTA活動を中心に地域の方々の協力を得て、さらなる充実と拡充を目指した活動を行っていきたい。

(2) 課題

- ・教職員への周知と共通理解。行事や奉仕活動だけではなく、教科を始めとするあらゆる教育活動の中で、ボランティアの積極的な活用を進めていくことが必要。そのためには地域人材バンクを作成し、活動への理解と協力を要請していかなければならない。
- ・地域密着型教育とジョイントスクールの重なり合う部分を検討し、調整するためにも小中連携を一層深めていかなければならない。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

校長 中嶋 正喜



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回
- ①実施日時 平成23年9月5日(月)
 - ②協議内容
 - ・委嘱状交付式
 - ・地域密着型教育について(行政説明)
 - ・会則、会長・副会長の承認
 - ・地域学校連携協議会の組織について
 - ・明治小・中学校の経営方針について
 - ・事業説明(今年度これからの計画)
- (2) 第2回
- ①実施日時 平成23年12月13日(火)
 - ②協議内容
 - ・学校評価について(説明と審議)
 - ・学校支援の進捗状況について
 - ・来年度の予定に関する説明と審議
- (3) 第3回
- ①実施日時 平成24年3月2日(金)・・・(予定)
 - ②協議内容・・・(予定)
 - ・今年度の成果と課題についての説明及び審議
 - ・来年度の教育計画についての説明

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備委員会
- ①実施回数 1 回 平成 23 年 7 月 19 日（火）
 - ②構成メンバーの概要
 - ・ 会長 1 名
 - ・ 副会長 2 名（小・中学校の P T A 会長）
 - ・ 小・中学校の校長と教頭
 - ・ 教育指導課指導主事 2 名
 - ・ オブザーバー（コーディネーター 3 名）
 - ③検討内容
 - ・ 準備委員会の説明
 - ・ 地域密着型教育についての説明
 - ・ 学校支援本部事業と地域密着型教育との違いについての説明
 - ・ 地域学校連携協議会会則・組織の説明
 - ・ 協議会委員の選定
 - ・ 第 1 回協議会の内容についての打ち合わせ
- (2) 地域教育協議会
- ①実施日時 平成 23 年 6 月 10 日（金）
 - ②構成メンバー
 - ・ 明治小・中学校区地域教育協議会員
 - ・ 学校支援コーディネーター
 - ・ 八戸市教育委員会社会教育課（地域支援本部事業担当者）
 - ③検討内容
 - ・ 今年度の事業計画について
 - ・ ボランティア活動への提案
 - ・ 学校評価委員の依頼

- ・地域密着型教育につついの依頼

3 具体的な取組状況

(1) 図書室整備

- ・毎週水曜日に4名で実施。図書の登録、廃棄、棚の整備、図書の紹介、季節に合わせて壁面を飾り付けるなど清掃もふくめた環境整備。

(2) 環境整備

- ・PTA環境委員会・・・年2回の早朝奉仕活動（校地内の除草等）
全校生徒と保護者及び地域の方々に呼びかけ、約140名参加
- ・体育祭前日の入場門づくり・・・早朝奉仕活動に来校したお父さん方に依頼
- ・校庭の除草作業・・・町内会有志の方々（地区運動会の前）
- ・外倉庫の大清掃と粗大ゴミの搬出
- ・校地内の樹木の枝剪定・・・地元の老人クラブに依頼
- ・玄関ロビーのガラスケース内の装飾・・・コーディネーターに依頼

(3) 地域交流

- ・館公民館祭への出品（10月15日）
2年生のグッジョブウィークでの活動の写真、書道、絵画
- ・地区運動会への全校生徒・職員の参加（8月28日）
- ・館地区、子どもと高齢者の安全安心まちづくり推進大会（10月11日）への参加
明治小・中学校全校生徒、地区連合町内会、地区防犯協会、館駐在所（八戸警察署）
- ・館地区自主防災総合訓練への参加（11月9日）
学区内の自主防災会、学区内の保育園、小・中学校、地区老人クラブ、地区連合町内会
八戸消防署、八戸消防署根城分遣所、八戸消防団館分団

(4) 部活動支援

- ・3つの運動部において、4名の方にコーチをお願いしている。
- ・夏季と秋季の市中体壮行式における保護者からの激励

(5) 広報活動

- ・町内会を通して、学校行事の通知やボランティアの募集（枝の剪定や写真撮影）

4 ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 4人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 2人（学校支援地域本部事業の予算による加入者数）

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ・地域の方々と一緒に行う行事が多いので、特に生徒は自分たちが地域へ貢献している、地域と関わりをもっているという意識が芽生えている。
- ・教職員の数も少ないので、特に環境整備はこれまでなかなか手がまわらなかったが、今年度は大きく改善された。
- ・保護者及び地域が中学校へ関心を寄せるようになり、様々な協力の申し出や会議や学校行事、懇親会等への出席数が増えてきた。
- ・学校評価を通して、適切で建設的な意見をもらうことができ、今後の学校経営に大いに参考となる内容であった。

(2) 課題

- ・コーディネーターの後継者探しとボランティア人数の拡大。
- ・十分な予算の確保。
- ・学校の経営方針や実施内容を今まで以上によりわかりやすく伝える必要がある。

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立大館中学校

校長 田名部 直 美 印

1 地域学校連携協議会(理事会)の実施状況

- (1) 第1回 ① 実施日時 平成23年 9月29日(木) 18:00～19:30
② 協議内容 ア 委嘱状交付
イ 会則(案)の審議
ウ 正副会長の選任
エ 学校経営方針、児童生徒の現状等についての説明
オ 意見交換
- (2) 第2回 ① 実施日時 平成23年12月20日(火) 18:00～19:30
② 協議内容 ア 学校目標に係る自校評価結果の説明
イ 学校評価の説明
ウ 意見交換
- (3) 第3回 ① 実施日時 平成24年 2月16日(木) 18:00～19:30
② 協議内容 ア 学校評価の総括
イ 次年度計画の確認
ウ 意見交換

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 準備会 ① 実施回数 2回
② 構成メンバーの概要 9名 各小・中学校(校長、教頭、PTA会長)
③ 検討内容 ア 地域密着型教育推進に向けた方針の検討
イ コーディネーターの選出
ウ 年間スケジュールの作成
エ 準備委員会の構成メンバーの選出
- (2) 準備委員会 ① 実施回数 2回
② 構成メンバーの概要 14名
大館地区自治振興会(会長)、大館地区連合町内会(会長)、
大館公民館(館長)、コーディネーター、各小・中学校(校長、
教頭、PTA会長)、市教育委員会(担当指導主事)
③ 検討内容 ア 行政説明
イ 地域密着型教育推進に向けた方針及び組織の確認
ウ 地域学校連携協議会委員候補の選出
エ 地域学校連携協議会会則(案)の作成
- (3) 企画推進部会及び専門部会については、その必要の有無を含め、地域学校連携協議会において検討することとする。

3 具体的な取組状況

(1) 環境整備

- ① 図書室整備・・・蔵書の修理及び整理、新書の登録等(毎週金曜日)
- ② 草刈り・・・校地内草刈作業(2回)

(2) その他

- ① 学校行事・・・P T A (O B)による体育祭での水撒き作業
- ② 巡回指導・・・P T A (O B)による下校時の学区内巡回指導
- ③ 情報発信・・・コーディネーターによる地学連協便りの作成、発行

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数 24人(保護者含む)
- (2) 今年度ボランティア保険加入者数 11人

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 地域の代表、保護者の代表から、改めて学校運営に対する意見や願いを聞く機会を得たことにより、自校の取組を振り返り評価することができた。
- ② ボランティアによる支援を得るための、人材確保及び連絡調整の土台づくりをすることができた。

(2) 課題

- ① 今年度は、地域学校連携協議会の立上げを目標に、校長及び教頭だけで進めたため、教職員並びに保護者等は十分に理解していない状況である。今後、意図的・計画的に説明していくことによって、実質的な協働態勢づくりを推進していく必要がある。
- ② 地域学校連携協議会を基盤とした取組と既存のP T A組織や諸事業をどのようにリンクさせていくかが今後のポイントになると考えられる。そのため、企画・推進部会並びに専門部会等の細部組織をどのようにするか、必要の有無を含めて今後検討する必要がある。
- ③ ②と同様、生徒への意識化をどのように図っていくかも重要なポイントである。生徒会活動等を積極的に発信していくことにより、地域の一員として、地域のために活躍する機会をつくりだしていくことが重要である。
- ④ 地域密着型教育の推進が、教職員や生徒、保護者の過度な負担を招くことにならないよう留意して進めていく必要がある。
 - ア コーディネーターの複数体制の検討
 - イ 部活動支援体制の整理(コーチの委嘱等について)
 - ウ 学校行事支援体制の検討(体育祭のテント借用と設置)
 - エ 防災教育の推進(地域と連携した防災体制の構築、訓練の実施)

平成23年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立島守中学校

校長 佐藤 隆彦



1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

- (1) 第1回 ① 7月6日（水）18:30～20:00 於：島守小（今年度事務局校）
② 【協議内容】
・委嘱状交付式（教育委員会）
・今年度の計画及び地域との連携事業について説明（小・中教頭）
・今年度の学校教育について説明（小・中校長）
・学校関係者評価についてのお願い（事務局）
- (2) 第2回 ① 11月7日（水）18:30～20:00 於：島守小
② 【協議内容】
・地域との連携事業についての中間報告（小・中教頭）
・1学期の児童・生徒・保護者・教職員アンケートの結果報告（小・中校長）
・アンケート結果等をもとにした話し合い
・教育委員会より
- (3) 第3回 ① 1月17日（木）18:30～20:30 於：島守小
② 【協議内容】
・地域との連携事業についての経過報告（小・中教頭）
・児童・生徒・保護者・教職員アンケートの成果と課題について（小・中校長）
事前に「小・中学校学校目標の3重点」と「小・中ジョイント重点項目3点（8Dプランから）」についてのアンケート結果を資料として送付し、学校関係者評価に協力いただいた。

2 上記以外の会議の実施状況

- (1) 打ち合わせ ① 6月17日（金）小・中学校長・教頭打ち合わせ 於：島守小 14:00
・昨年度の地域学校連携委員会持ち方を振り返り、今年度に生かす話し合い。
- (2) 企画推進部会 ① 6月21日（火） 於：島守小学校 18:30～
・小・中学校PTA会長、副会長（企画推進委員）と小・中学校長と教頭
教育委員会から教育センター副所長の田村 元氏 出席
・昨年度の振り返りと今年度の地域学校連携委員会の持ち方
・昨年度の自己評価と学校関係者評価をもとにした改善の検討

3 具体的な取組状況

◎ 島守ふるさと応援隊の活動

(1) 教育関連事業

- ① グッジョブ・ウィークの支援
・小学校、コンビニエンスストア、図書館、給食センター
- ② 体験学習報告会
・福祉体験（1年）、職場体験（2名）、赤ちゃん触れ合い体験（3年）
＜地連協委員 2名＞
- ③ 音楽の授業への支援 ＜地域住民1名＞

(2) 環境事業

- ① 草刈り・窓ふき早朝作業 3回 ＜PTA＞
- ② 資源回収 ＜PTA、地域住民＞
- ③ 除草剤散布 ＜PTA、地域住民＞
- ④ 地域清掃（5地域）

⑤虚空蔵山清掃

(3)文化事業

- ①文化祭にかかるえんぶり練習・当日の発表（えんぶり組・教職員）　＜えんぶり組　５名＞

(4)交流・連携事業

- ①小・中学校合同大運動会……島守音頭の練習　＜地域住民　１名＞
- ②民生委員との情報交換　＜４名＞
- ③赤ちゃんふれあい体験　＜保育所＞
- ④地域学校連携協議会及び小・中学校ジョイントスクール授業公開・研修会

4 ボランティアの状況

- (1) ボランティア登録現在数　６５名　（保護者と地域の関係者全員が応援隊となっている。）

※地域密着型教育予算による保険加入者数については、本年度はなし。

5 地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

- ① 今年度は小学校が主担当であり、各学校連携協議会の前に、小・中学校の校長・教頭同士が打ち合わせを十分に行いながら進めることができた。来年度は中学校が主担当となるため、これまでの資料やデータの共有化・システム化をさらに進めていきたい。
- ② ３回目の会議では、小学校は「躰は家庭と地域に責任がある」、中学校は「発表力の育成」について意見が出され共通理解がなされた。小学校で培われたものを土台にしていかに中学校で生徒を伸ばしていくかが重要なポイントである。また、組織を広げ子どもと関わる事業を実施していくことも確認された。３回にわたる地域学校連携協議会を通して、地域の方々の郷土に対する熱い思いを感じ取ることができた。その思いに学校がいかに応えていくかが大切である。
- ③ １回目の地域学校連携協議会の前に、組織・会則・委員の選定・今後の事業計画・運営のあり方について、企画推進部会を開催した。小・中学校間での打ち合わせを具体的に行った上で、当日の会議に臨んだ。第３回地域学校連携協議会では、オブザーバーとして企画推進部委員（PTA 副会長）にも出席していただき、会議の内容を把握しながら意見をいただけるよう工夫した。
- ④ 第３回の地域学校連携協議会の際は、学校側の説明をできるだけ簡略化し、委員の方々が十分に意見や思いを発表できるよう工夫した。また、会議の最後では、３年目となる連携協議会が効果的に機能したのか、あるいは３年間の実績を検証する必要があるのではないか、という意見が出された。来年度の連携協議会の深まりを期待したい。

(2) 課題

- ① 島守小・中学校地域密着型教育推進事業の組織図のとおり、保護者と地域住民が「ふるさと応援隊」として、子どもたちのためにボランティアを引き受けてくれている。学校行事や PTA 行事だけではなく、「重点学校課題」の解決につながるような支援の仕方を工夫していきたい。特に、担当の教員と協力しながら授業に巻き込み、通常の学習をさらに発展させるような取り組みを進めたい。
- ② 実際に生徒に指導したり、関わったりする機会が少ないのが現実である。そのため、その都度学校行事や参観日などにお出でいただくよう、案内を出した。多忙であるため、足を運んでくださる方は少なかった。アンケートや会議における積極的な発言のためには工夫する必要がある。
- ③ アンケートの項目によっては正確に評価できないものがある。具体的・客観的に評価できるような文言や基準を準備する必要がある。
- ④ 会議で話題になった内容については学校だよりなどで伝えてはいるが、具体的に地域で実践するための道筋がまだできあがっていない。その方法を模索していかなければならない。
- ⑤ ３年間の連携協議会の検証をどのように行い、来年度に生かしていくか。
- ⑥ 企画推進部会が効果的に生かされるよう、今後模索していきたい。また、会議の進め方について、司会者との事前の打ち合わせを具体的に行う必要がある。

3章 実践発表資料

- 1 第一中学校発表資料（推進校連絡会）-----1 0 3
「地域密着型教育推進校としての現状報告 ～学校経営の基底に据えて～」
- 2 柏崎小学校発表資料（実践研究発表会）-----1 0 8
「地域密着型教育への取組」
- 3 大館中学校発表資料（実践研究発表会）-----1 1 3
「八戸市立新井田小学校・松館小学校・大館中学校地域密着型教育推進事業の取組」

地域密着型教育推進校 としての現状報告

～学校経営の基底に据えて～



日時 平成23年12月19日(月)
会場 八戸市総合教育センター
八戸市立第一中学校
校長 伊藤 博 幸

1

4年間の実践から学ぶ



- ① 地域あつての学校という理念
地域住民の信頼なくして学校は成り立たない。生徒の変容を
- ② ふれない信念と気概
ヤラサレイル意識では成果は期待できない。学校を変える力を
- ③ 校長、職員の意識の醸成
保護者や地域に求めすぎない。双方向の実践を
- ④ 保護者や地域住民からの視点
保護者や住民にとって学校だけがすべてではない。量より質を
- ⑤ 学校教育の本質・原点
イベントが目的ではない。確かな学びと豊かな育ちを

2

-中-

保護者や地域住民との 連携・協働の学校づくり

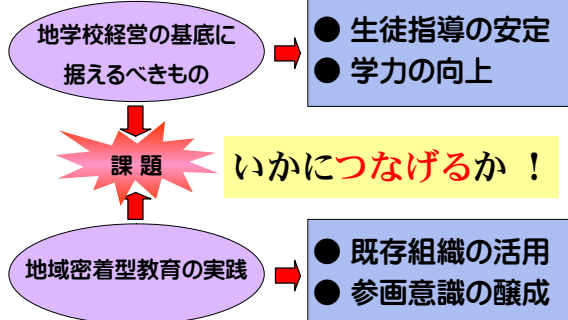
～4年目を迎えた地域密着型教育～



日時 23.6.7/合同会議
会場 一中学校図書室

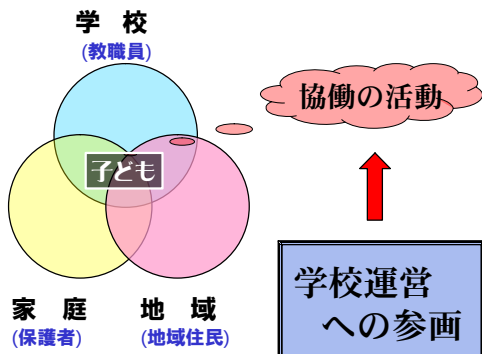
3

学校経営にいかに関与するか



4

学校・家庭・地域の役割



5

Point 多忙化軽減の心得



- ① 今あるものを見直す
既存の学校行事や教育活動を協働の視点で
- ② 細く・長く・楽しくをモットーに
できる事をできる時間にできる範囲内で
- ③ 本当に必要な支援にしぼる
生徒に還元される支援活動を優先で

6

公民館活動と学校の連携

～地域密着型教育のめざすもの～



H23.11.8 吹上公民館
八戸市立第一中学校
校長 伊藤 博 章

7

公民館祭りを拝見して思うこと

「好きこそ物の上手なれ」

自分の好きなことは、いろいろ熱心に工夫をするので、ますます上手になるということ。

→ ヤラサレル活動ではなく、自ら進んで参加し、講師から基礎・基本の手ほどきを受ける。自分の上達が目に見える形として実感でき、さらに意欲が増していく。
公民館の生涯学習は、一中教育のめざす理想像とも重なり合う点が多い。

8

公民館活動と学校との接点

- ◆作品を見せる、あるいは一緒にものづくりを通し子ども心をはぐくむ絶好の機会。常に、指導や評価をとまなう学校の先生にはない気楽さと親しみ。本当の意味での絆を深めあうことが可能。
- ◆地域の子どもは地域で育てるという地域密着型教育のめざす方向と公民館活動は重なり合う部分が多い。

9

「一中頑張りの精神」伝統の重み

- ◆4度にわたる学校火災や度重なる水害に見舞われながら、そのたびに学校と地域が連携し、絆を深め乗り越えてきた60有余年の歴史。

そうした苦難の歴史の中で生まれた「一中頑張りの精神」が今も一中生のバックボーンとして、精神的な支えとなっている。まさに伝統の力か

10

9月10月11月文武両道に相次ぐ朗報



バレー、バスケット、バトミントン3種目優勝

防犯弁論、お話弁論、英語弁論、交通安全ポスターコンクール、発明工夫展、女子駅伝優勝・文武両道にわたる活躍が相次ぐ、まさに実りの秋

11

11/6 県大会で女子バスケ準優勝



創立64年目の快挙を成し遂げた1、2年生の選手

12

- ◆学校は、未完成で未熟な生徒の
心身を鍛える場
◆さまざまな教育活動を通して

厳しさ
苦しさ
つらさ

- ◆特に、大事にしていることは
地域あつての学校という思いと実践

二度と荒れる学校にしてはならない

～過去の教訓に学ぶ→地域と協働の学校づくり～



あとがきにかえて

● 學 語 博 雅

法を定めます。学校は必要であるが、国や市町村が負担になる。国にいい職員は有
限特殊、子供も活力次第で決まってくる。今日一番重要なのは、週に幾らか、それ
がゆらがる本数である。

中興と隆興の間に在りし紀元にして、これと、その前後の二千年紀元前の間に在りし、
 亦たて應れしものも此の性質上、その間に何の相違も有らば、普通として語らるべき
 ありきやう、しかし、一時はとも、都ての性質からいへば、普通、それとこれとを
 混同してはならぬ。今よくこれを明かに發揮せしむ。是れは少少の事實を多量とし
 ての物に在りし、亦、そのことと此の事實を、今にしていへば、いふ事

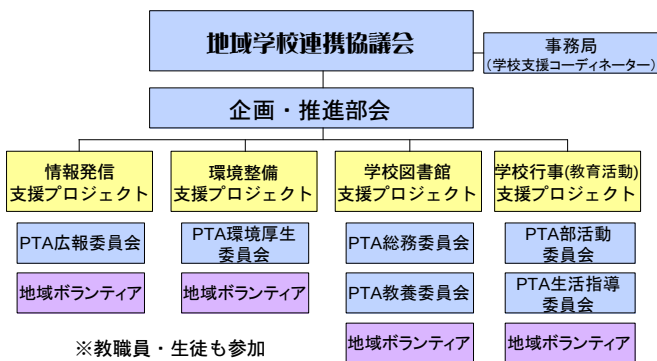
学校の売れることは売れに不都合な事柄ではあるが、一、無形財に表れる授業力・職員力、生徒に接する態度(思い)を売りたい学校は稀で、二、売れか否かは地域(通学区域)から学校によって決まってしまうので、売りのことには責任感が湧かない。カウンスラーセッションからこれら2点を免れようとする機関は少ないように思われる。

作品の図説、エッセイ集の解説などの課題。12年生の協賛の強さは表裏が裏返し。後者は前よりも目覚ましい。そう考える方が正確だろう。

新人展に、文化財だ。洋館を築くまでの物語。戦後といはずの二生屋敷上へ戻りたてで暮らしていた。洋館にできた職能者に頼りながらの暮らしから始まる物語である。そうしながら見れば、その物語は読み取れている。やがて新館前。二の国と新館前。前には新館前であった事象を、その物語は読み取っている。

う、歴かに習熟する事として譲りながら、再びあのよう「忍術の守銭にしろくはない」というの小字の山姥のまゝにある長久蔵はのびる物語である。

第一中学校の地域密着型教育



取り組んでいる支援の内容

図書館支援	新刊登録、紹介 補修 図書室装飾 他
環境支援	校庭整備、校舎内補修など
学校行事 (教育活動)	学習支援(授業の補助) 行事支援(体育祭・遠足) 他
情報支援	ボランティア便り発行 他

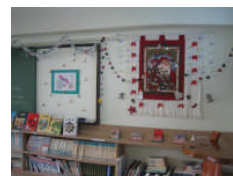
圖書館支援

↓本の補修やブックコート



↑ブックトーク講習会

図書館支援 (23.12.12 最新版)

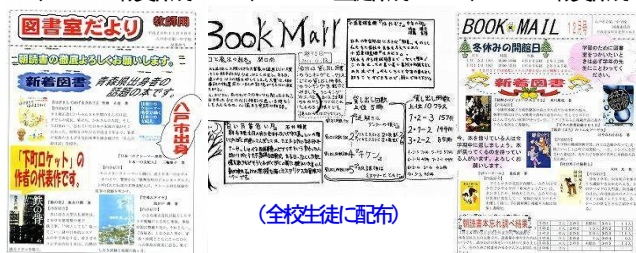


図書館活動(生徒、職員の活動)

(23.11.30 職員作成)

(23.12.13 生徒作成)

(23.12.16 職員作成)



(職員のみに配布)

(全校生徒に配布)

(全校生徒に配布)

19

環境支援



↑ 校舎補修

↓ 校内清掃



20

学校行事支援(教育活動支援)



↑ 学習支援(書道)

↓ 行事支援(体育祭)



21

家庭科調理実習の補助



22

情報支援



学校支援ボランティアルーム



↑ ボランティア便り
「ブルースカイ」編集会議

23

地域との交流

保護者・教職員・ボランティア登録者交流会



↑ ソフトバレー大会

↓ 給食試食会



24

地域との交流

吹上地区合同総会で吹奏楽部アトラクション



25

地域との交流

↓ 公民館への車いす寄贈



↓ 地域からのお返し



26

地域との相互交流

↓ 公民館清掃奉仕



↑ 卒業式に祝華を活ける

27

公民館活動と学校の連携

- ◆ 地域の将来を担う子どもの集う学校と地域住民が集う公民館の連携は、今後ますます重要になってくる。
- ◆ 一方通行の活動ではなく、無理のない範囲での双方向の活動の交流を通して子どもと地域住民との触れ合いの場を増やし確かな絆を築くことが地域再生の力ぎにもなる。



28

〈まとめ〉4年間の成果

- ① 学校生活全般が落ち着いてきた
生徒指導から学習指導や教育活動の充実にシフトできた。
- ② 保護者等の来校が日常的になった
普段着の生徒の様子から学校の今を知ることができた。
- ③ 職員と保護者等の人間関係が良くなった
職員(学校)と保護者(家庭・地域)の敷居が低くなった。
- ④ 学校行事等への参加者が増えた
協働の学校運営によって学校への理解が深まった。
- ⑤ 中学校(生)に対する地域の関心が高まった
批判から理解へ、理解から支援へと住民意識が変わった。

29

課題とこれからの方向性

- ① 職員の意識をいかに高めるか
実践を場を設定し地域の声に耳を傾けること。
- ② 地域活動の時間をいかに確保するか
各種団体や公民館との連携強化を図ること。
- ③ 教頭等の負担をいかに軽減するか
地域に精通したコーディネータ確保と活用。

30

地域密着型教育への取組

八戸市立柏崎学校

教頭 大浦 和典

0 はじめに

- (1) 地域密着型教育へ取り組んで4年
- (2) 新校舎落成にかかわる引っ越しと記念式典

1 地域学校連携協議会（理事会）の実施状況（組織等については別紙参照）

- (1) 第1回（第三中学校と合同開催） 平成23年5月23日（月）16:00～
【主な協議内容】
 - ・今年度の学校目標並びに重点施策について
 - ・専門部会の今年度の取組について
 - ・新校舎移転に伴う通学路並びに交通安全指導について
 - ・緊急時の対応、防災教育について
- (2) 第2回 平成23年12月14日（水）17:00～
【主な協議内容】
 - ・学校関係者評価（児童・保護者・教員アンケート）結果の報告と協議
 - ・帰宅後の生活（遊び、読書）について
 - ・ボランティア活動状況について
- (3) 第3回（第三中学校と合同開催） 平成24年2月9日（木）17:30～予定
【主な協議内容】
 - ・第2回理事会（小・中別「学校関係者評価」等）の報告
 - ・今年度の取組について（各専門部長より）
 - ・ボランティアの現状と今後について（コーディネーターより）
 - ・小・中の共通課題について

2 具体的な取組状況（別紙資料参照）

- (1) 教育活動部会
 - ①ボランティアによる夏休み学習会 ②読み聞かせ「かしわお話のたまご」
 - ③授業支援 ④クラブ活動ゲストティーチャー ⑤部活動指導
- (2) 環境整備部会
 - ①図書室整備 ②草取り奉仕作業 ③新校舎へ引っ越し手伝い
- (3) 安全安心部会
 - ①集団下校指導 ②夏休みプール監視 ③PTA 防犯ボランティア
 - ④柏崎地区安全安心パトロール（青色回転灯車） ⑤防犯協会パトロール
 - ⑥類家防犯協会パトロール ⑦柏崎地区交通指導隊
- (4) 交流連携部会
 - ①校外子ども会 ②柏崎地区区民運動会 ③PTA 主催第32回合同演奏会
- (5) ボランティアの集い 1/31
 - ①各ボランティアによる情報交換 ②給食試食会

3 地域密着型教育の成果と課題

- (1) 成果
 - ①保護者・町内会・地域の関係団体の働きを直接間接見聞きすることにより、児童は旧校舎に対する愛着と感謝、新校舎への期待と喜び、保護者や地域の方への感謝の心をもつことができた。新校舎での校外学習もボランティアの補助により安心して学習できている。
 - ②「通学路」を中心に「子どもの安全」に対する課題意識が保護者・地域・教職員間でしっかりと共有され、協力的に指導・実践することができた。
 - ③これまでの地域密着型教育の継続とコーディネーターの働きかけにより、地域の方にもその趣旨が浸透し、読み聞かせボランティア等、地域からのボランティアが増えてきている。
- (2) 課題
 - ①地域密着型教育の趣旨やねらいについて、保護者のみならず本校職員も理解が十分とは言えない。教育課程編成会議や各種PTAの会議等を通して、さらに理解を深めていきたい。
 - ②学校や地域、子どもたちが抱える課題について保護者や地域、中学校職員とも共有したいが、お互いの思いを理解することは容易ではない。お互いに「私的」ではない「公共的意識」を高め、お互いを理解しながら合意形成ができる話し合いにしていきたい。

八戸市立柏崎小学校

23年度 地域学校連携協議会理事名簿

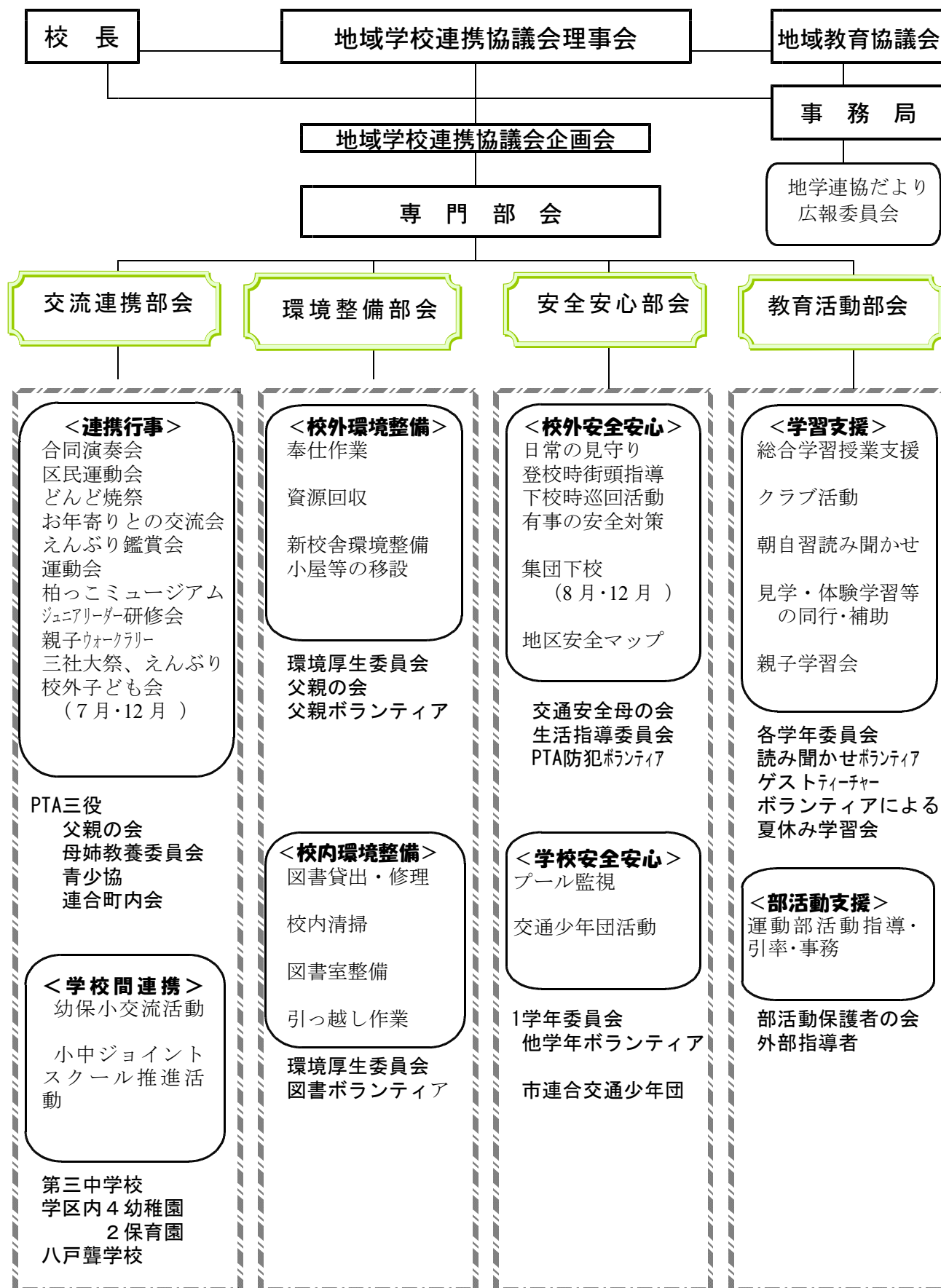
平成23年5月

		所属・役職等	氏 名
地域代表	1	柏崎地区連合町内会 会長	
	2	柏崎公民館 館長	
	3	柏っこミュージアム館長	
	4	柏崎地区青少年生活指導協議会 会長	
	5	八戸地区交通安全協会柏崎支部 支部長	
	6	柏崎地区体育振興会 会長	
	7	柏崎地区安全パトロール協議会 会長	
	8	柏崎地区民生委員児童委員協議会 会長	
	9	イメルダ幼稚園 園長	
	10	類家保育園 園長	
保護者代表	11	十一日町町内会 副会長	
	12	柏崎小学校父母と教師の会 会長	
	13	柏崎小学校父母と教師の会 副会長	
	14	柏崎小学校父母と教師の会 副会長	
学校代表	15	柏崎小学校父母と教師の会 副会長	
	16	柏崎小学校教務主任	
	17	柏崎小学校研修主任	
	18	柏崎小学校生徒指導主任	
事務局		柏崎小学校 教頭 学校支援コーディネーター 同	

[地域学校連携協議会の仕組み]

<地域学校連携協議会(全体会)>

(学校支援地域本部)



平成23年度 柏崎小学校地域密着型教育の取組

期 日	部会等の主な活動内容	備 考
H23,4,2（土）	環境整備部会：校庭整地、石拾い	保護者・児童・教員・柏崎地区体育振興会
H23,4,28（木）	小・中学校ジョイントスクール推進事業 ・総会と第1回研究会 ・中学校授業参観と分科会（指導部会）	
H23,5,7（土）	環境整備部会：校地草取り奉仕作業	保護者・地域・教員・児童 合計 296 人参加
H23,5,13（金） 5,14（日）	環境整備部会：運動会準備手伝い、片付け	父親の会、父親ボランティア、 母子教養委員会
H23,5,23（月） （合同）	第1回理事会（合同） ・委嘱状交付 ・小・中学校の重点 ・小中理事顔合わせ ・意見・要望	新理事 5 名
H23,5,25（水）	教育活動部会：読み聞かせ【かしわお話のたまご】 ・1学年対象「入学おめでとう」読み聞かせ大会	読み聞かせボランティア
H23,6,9（木）	安全安心部会防犯パトロールボランティア組織会 ・PTA防犯ボランティア顔合わせ会 第1回企画会（会長、専門部会部長と副部長） ・各専門部会の取組	柏崎地区安全パトロール協議 会、類家防犯協会、P T A
H23,6,12（日）	芭蕉堂祭り	短歌・俳句・川柳応募
H23,6,15（水）	小・中学校ジョイントスクール推進事業 ・第三中学校市中体壮行式を柏崎小6学年見学	
H23,6,16（木）	教育活動部会：3 年学区探検	引率補助指導 14 名
H23,6,17（金）	幼保小連携事業 ・第1回学区内幼稚園・保育園情報交換会	
H23,6,30（木）	小・中学校ジョイントスクール推進事業 ・第2回研究会 ・小学校授業参観と分科会（教科部会）	
H23,7,15~8,12	環境整備部会：旧校舎より新校舎へ引っ越し作業 ・P T A 専門委員会が梱包と開封作業の手伝い 理科室、家庭科室、図書室、委員会集会室	梱包・開封作業 109 名 図書ボランティア
H23,7,20（水）	安全安心部会：校外子ども会	地域 21 名
H23,7,25~ 8,10	夏期休業中のプール開放 監視協力 ・P T A 1 学年委員会	夏期休業中 10 日間
H23,7,30~31	交流連携部会：青少協ジュニアリーダー研修会	
H23,7,27~29	教育活動部会：ボランティアによる夏休み学習会 ・柏崎公民館で八戸東高校生と保護者・地域ボラ ンティアによる学習会	3 日間午前午後合計 6 回 延べ人数：児童 102 名 東高校生 30 名 保護者・地域 30 名

期 日	部会等の主な活動内容	備 考
H23,8,22~	安心安全部会：交通安全強化月間	
H23,8,26(金)	安心安全部会：交通安全教室・集団下校	地域 42 保護者 35 計 77 名
H23,9,4(日)	交流連携部会：柏崎地区区民運動会	
H23,9,4~9,9	小・中学校ジョイントスクール推進事業 ・第三中学生柏崎小学校でグッジョブ体験	第三中学 2 年生 4 名参加
H23,9,25(日)	交流連携部会：三世代交流事業 ウォークラリー	柏崎地区青少協 ボランティア 3 名
H23,9,27(火)	交流連携部会：柏崎地区幼保小園児・児童交流会	2 学年児童「おまつりひろば」 6 園児 127 名招待
H23,10,3(月) H23,10,4(火)	教育活動部会：5 年安全マップ作成のための調査	引率補助指導 20 名
H23,11,4(金)	第三中学校創立 50 周年記念式典 教育活動部会：2 年学区探検	胸章等物品の共同購入活用 引率補助指導 10 名
H23,12,1(木)	柏崎小学校新校舎落成記念式典	胸章等物品の共同購入活用
H23,12,14 (水)	第 2 回理事会 ・これまでの取組状況 ・学校教育アンケートについて	理事等 23 名
H23,12,16 (金)	安全安心部会：校外子ども会・集団下校	地域 40 名 保護者 22 名 計 62 名
H24,1,8(日)	交流連携部会：どんど焼祭	
H24,1,21(土)	合同演奏会 ・第三中学校吹奏楽出演	広告掲載募集 113 名
H24,1,26(木)	幼保小連携事業 ・第 2 回学区内幼稚園・保育園情報交換会	
H24,1,31(火)	ボランティアの集い ・今年度の取組状況(各専門部会報告) ・今後の取組について	地域 47 名 保護者 15 名 計 62 名参加予定
H24,2,9(木)	第 3 回理事会(合同) ・今年度の取組状況 ・来年度の取組・組織について	
H24,2,20(月)	小・中学校ジョイントスクール推進事業 ・柏崎小学校 6 年第三中学校の授業見学会	
H24,2,28(火) 参観日	小・中学校ジョイントスクール推進事業 ・第三中学校職員柏崎小学校の授業参観	
H24,3,1(木)	交流連携部会：幼保小連携事業 ・園児小学校の授業参観	
H24,3,21(水)	小・中学校ジョイントスクール推進事業 ・柏崎小学校 6 年第三中学校一日入学	

八戸市立新井田小学校・松館小学校・大館中学校 地域密着型教育推進事業の取組

平成24年1月24日(火)
八戸市総合教育センター

1 本学区における事業の趣旨

本学区では、新井田小学校、松館小学校をはじめ、さらに旭ヶ丘小学校の児童が、大館中学校へ入学している状況にあることから、大館中学校区4校PTA連絡協議会が組織されているとともに、小中学校ジョイントスクール推進事業を進めるにあたっても、その点を十分に考慮する必要がある。

また、大館地区運動会、新田城祭り等の地区行事では、多数の地域住民とともに児童生徒も協力要請を受けて参加している。さらに、地区敬老会は、大館中学校を会場に約600名が集まるが、児童生徒の有志が積極的にボランティア活動に参加している。

以上のような状況から、本学区における各小・中学校が、地域密着型教育を推進していくにあたっては、いずれの学校にとっても、児童生徒が利用する公民館、児童館をはじめ、自治振興会、連合町内会(各町内会)、青少年生活指導協議会、民生・児童委員協議会、子ども会育成連絡協議会、防犯協会、社会福祉協議会、体育振興会等との連携はきわめて重要であり、欠くことはできないという共通認識である。

したがって、大館中学校区として地域学校連携協議会を設置し、小中ジョイントスクール推進事業で取り組んできた縦の連携と、これまで地域に築かれてきた横の連携を基盤として、三校それぞれが、さらに地域住民並びに保護者等の参画を得て学校運営を充実させることができる体制の構築をめざして行うものである。

2 事業計画及び進捗状況

(1) 事業計画

月	会 議	内 容	備 考
4	・ P T A 総会 ・ 準備会 (校長、教頭)	・ 保護者への説明 ・ 方針原案審議	
5	・ 準備会 (校長、教頭、P会長)	・ コーディネーター選出 ・ 年間スケジュール作成 ・ 準備委員会メンバー検討	・ コーディネーター研修会
6			
7	・ 準備委員会①(7/12)(校長、教頭、P会長、地域代表、コーディネーター、市教委) ・ 準備会(7/26)(校長、教頭)	・ 行政説明 ・ 方針審議 ・ 地学連協委員検討 ・ 会則、組織原案検討	・ 推進校連絡会
8	・ 準備委員会②(8/19)(校長、教頭、P会長、地域代表、コーディネーター)	・ 地学連協委員選出 ・ 会則、組織原案審議 ・ 第1回協議会打合せ	・ コーディネーター連絡会
9	・ 委嘱状交付式(9/29) ・ 地域学校連携協議会①(9/29)	・ 委嘱状交付 ・ 会則、組織に関する審議 ・ 学校経営方針、重点施策等の説明及び質疑応答 ・ 今後の日程確認	
10			・ コーディネーター連絡会
11			
12	・ 地域学校連携協議会②(12/20)	・ 学校の現状及び課題に関する審議 ・ 学校評価に係る説明及び審議	・ コーディネーター研修会 ・ 推進校連絡会
1		・ 学校評価資料の集約	・ 実践研究発表会
2	・ 地域学校連携協議会③	・ 学校評価の総括 ・ 次年度の教育計画に係る説明	・ 推進校説明会
3			・ 予算説明会

(2) 進捗状況

- ① 準備会において、これまでの地域の基盤をもとに「できるところからできる範囲で取り組んでいく」ことを確認するとともに、地域学校連携協議会準備委員会の開催に向けて準備する。
- ② 準備委員会において、行政説明を受けるとともに、事業推進方針の確認、地域学校連携協議会委員の人選、会則原案の策定を行う。
- ③ 委嘱状交付式(9/29)を行う。(市教委)
- ④ 第1回地域学校連携協議会(9/29)において、行政説明を受けるとともに、会則・組織に関する審議、学校経営方針・重点施策等の説明及び質疑応答を行う。全委員の意見・感想をいただく。
- ⑤ 第2回地域学校連携協議会(12/20)において、学校の自校評価の状況について説明するとともに、学校評価について依頼する。全委員の意見・感想をいただく。
- ⑥ 企画・推進部会並びに専門部会等の細部組織はまだできていない。必要の有無を含めて今後検討する必要がある。
- ⑦ 事業の趣旨・内容・進捗状況等について、職員会議等を利用して教職員へ説明していく必要がある。また、学校便りや参観日等を利用して、保護者へ説明してきているが、さらに意図的・継続的に発信することによって、広報・広聴活動を充実させ、今後は事業内容等について一緒に考えていける体制をつくる必要がある。
- ⑧ 第3回地域学校連携協議会を2月上旬までに開催し、学校評価について総括するとともに、次年度の年間計画等について共通理解を図る予定である。次年度の第1回地域学校連携協議会は、5月下旬～6月上旬を目途に実施する予定である。

(3) ボランティアの活動状況

- ① 新井田小学校 図書(24)・・・4月より毎週金曜日に活動
環境整備(49)・・・草取り2回、草刈り2回実施
安全サポーター(13)・・・毎日活動
プール(1)、部活動(1)、学習支援(1)
- ② 大館中学校 図書(12)・・・6月より毎週金曜日に活動
環境整備(10)・・・草刈り2回実施

()内の数字は登録者数

3 成果と課題

(1) 成果

- ① 地域の代表、保護者の代表から、改めて学校運営に対する意見や願いを聞く機会を得たことにより、自校の取組を振り返り評価することができた。
- ② ボランティアによる支援を得るための、人材確保及び連絡調整の土台づくりをすることができた。

(2) 課題

- ① 今年度は、地域学校連携協議会の立上げを目標に、校長及び教頭だけで進めたため、教職員並びに保護者等は十分に理解していない状況である。今後、意図的・計画的に説明していくことによって、実質的な協働態勢づくりを推進していく必要がある。
- ② 地域学校連携協議会を基盤とした取組と既存のPTA組織や諸事業をどのようにリンクさせていくかが今後のポイントになると考えられる。そのため、企画・推進部会並びに専門部会等の細部組織をどのようにするか、必要の有無を含めて今後検討する必要がある。
- ③ ②と同様、児童生徒への意識化をどのように図っていくかも重要なポイントである。児童生徒会活動等を積極的に発信していくことにより、地域の一員として、地域のために活躍する機会をつくりだしていくことが重要である。
- ④ 地域密着型教育の推進が、教職員や児童生徒、保護者の過度な負担を招くことにならないよう留意して進めていく必要がある。
ア コーディネーターの複数体制の検討
イ 部活動支援体制の整理(コーチの委嘱等について)
ウ 学校行事支援体制の検討(体育祭のテント借用と設置)
エ 防災教育の推進(地域と連携した防災体制の構築、訓練の実施)

4章 関係資料

1	地域密着型教育推進事業実施要項 -----	1 1 6
2	八戸市「地域密着型教育推進事業」推進校における 地域学校連携協議会の設置に関する要綱 -----	1 1 8
3	地域密着型教育推進事業に係る 「地域密着型教育コーディネーター」設置要綱 -----	1 2 2
4	地域密着型教育推進事業基本構想図 -----	1 2 4
5	同一学区内地域学校連携協議会の形態例 -----	1 2 5
6	新規推進校年間スケジュールの例 -----	1 2 6
7	地域密着型教育推進事業と学校支援地域本部事業との違い -----	1 2 7

地域密着型教育推進事業実施要項

八戸市教育委員会

1. 趣 旨

近年、少子高齢化や核家族化、都市化などの社会現象に伴い、家庭や地域の教育力が十分に発揮しにくい状況が生じている。一方、学校においては、社会の急激な変化にも柔軟に対応できる「生きる力」を子どもたちに身に付けさせるために、教育内容を一層充実させることが強く求められている。

このことから、八戸市教育委員会では、児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、地域密着型教育を推進し、推進校の運営に関して、地域の住民及び保護者等の参画等を進めるものとする。

2. 地域密着型教育推進校における実践内容

八戸市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者および地域住民が学校運営に参画できる地域学校連携協議会を設置し、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

- (1) 「願い」「情報」「責任」「学び」の4つを学校・家庭・地域社会が共有し、PTA活動や地域活動などとの連携・協力を深めることにより、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させる。
- (2) 教育方針等に地域住民等の願いを反映させるとともに、地域の特色や地域住民等の教育力を生かした教育活動を展開することにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着をはぐくむ。
- (3) 地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献する。

3. 推進校の指定

- (1) 学校が指定を希望し、教育委員会が指定する。
- (2) 指定は、単年度ごととする。
- (3) 新規指定校に対しては、それぞれの実態に応じた地域学校連携協議会の組織の在り方について、教育委員会が助言・支援する。

4. 推進校における本事業に係る経費

本事業に要する経費の取扱いに関しては別に定める。

5. 推進校の組織

推進校においては、次の（１）～（４）に即して地域学校連携協議会を組織し、運営することとする。（５）（６）については、推進校の裁量とする。

（１）地域学校連携協議会（年３回程度）

（２）委員（理事）の任命

- ①校長の推薦により、教育委員会が任命する。
- ②委員（理事）は、保護者、地域住民、教職員、地域の幼児教育関係者、学校教育関係者、学識経験者等をもって構成する。
- ③委員（理事）の人数は１５人程度とする。
- ④任命期間は１年以内とし、再任を妨げない。
- ⑤委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。
- ⑥報酬については無償とする。

（３）会長及び副会長

- ①地域学校連携協議会に、会長１名と副会長若干名を置く。
- ②会長は校長が指名する。副会長は校長と会長が協議の上、会長が指名する。

（４）会議

- ①委員（理事）の半数以上の出席で、会議が成立する。
- ②議事は出席委員（理事）の過半数で決し、可否同数の時は会長が決する。

（５）専門部会（月１回程度）

（６）企画・推進部会

6. 主な機能

（１）地域学校連携協議会（年３回程度）において、次の各項について協議し、校長に対して意見を述べることができる。

- ①教育目標及び学校経営方針
- ②教育課程の編成に関する方針
- ③施設、設備の管理及び整備に関する方針
- ④各事項の前年度運営実績
- ⑤次年度の学校運営に生かすための、学校運営全般に関わる評価
- ⑥その他校長が必要と認める事項

（２）専門部会は、次の規定に基づいて活動する。

- ①専門部会の数や内容・名称については、各学校や地域の実態に合わせて設定する。
- ②各専門部会は賛助ボランティア委員を募り、それぞれの活動の充実に向けて取り組む。

（３）企画・推進部会は、次の各項の機能に基づいて活動する。

- ①保護者や地域住民等の意見・要望を教育活動に反映させるための具体策を企画・運営する機能
- ②各専門部会の活動内容を連絡・調整する機能
- ③学校行事の運営への参画や教育ボランティア活動の推進に関して協議する機能

（４）推進校においては、渉外等の事務機能を有する事務局を置くことができる。

八戸市「地域密着型教育推進事業」推進校における地域学校連携協議会の 設置等に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、地域密着型教育推進校（以下「推進校」という。）における地域学校連携協議会（以下「協議会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(趣旨)

第2条 協議会は、八戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）及び校長の権限と責任の下、児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、その学校の運営に関して、地域の住民及び保護者等（以下「地域住民等」という。）の参画等を進め、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

- (1) 学校と地域住民等との信頼関係を深め、その教育力を相互に高め合うことを通して、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させること
- (2) 教育方針等に地域住民等の願いや地域の特色を反映させることにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着をはぐくむこと
- (3) 地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献すること

(指定)

第3条 各校長は、地域住民等の意見を踏まえ、推進校の指定を教育委員会に申請することができる。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、前条の設置目的が達成できると認める場合には推進校の指定をすることができる。

(基本方針等の説明)

第4条 推進校の校長は、次に掲げる事項について、協議会の意見を基に、毎年度基本的な方針等を作成し、その内容を同協議会に説明するものとする。

- (1) 教育目標及び学校経営に関すること
 - (2) 教育課程の編成に関すること
 - (3) 施設、設備の管理及び整備に関すること
 - (4) その他校長が必要と認める事項
- 2 校長は、前項の基本方針等に基づき、その権限と責任によって学校運営を行わなければならない。
- 3 校長は、第1項各号に掲げる事項の前年度の運営実績を協議会に報告するものとする。

(運営についての意見)

第5条 協議会は、推進校の運営に関する事項（予算の編成及び執行に関する事項並びに職員の採用、任用、分限、及び懲戒に関する事項を除く。）について、校長に対して意見を述べることができる。

(運営に関する評価)

第6条 協議会は、学校の運営状況について毎年度1回以上の評価を行うものとする。

2 協議会が、文部科学省の「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」に沿った

学校関係者評価を行う場合においては、推進校の校長その他の教職員は、委員（理事）として意見を述べることはできない。

（運営への参画促進）

第 7 条 協議会は、推進校の運営について、地域住民等の理解、協力、参画等が促進されるよう努めるものとする。

（情報発信）

第 8 条 協議会は、地域住民等に対して、その活動状況に関する情報を積極的に発信するとともに、地域住民等の意見・要望等を把握し、その運営に反映するように努めるものとする。

（児童又は生徒の意見の聴取）

第 9 条 協議会は、校長の同意を得て、推進校の児童又は生徒の意見を聴取することができる。この場合において、児童又は生徒の発達の段階等に応じ、必要な配慮をしなければならない。

（委員の任命）

第 10 条 協議会の委員（理事）は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- （1） 推進校に在籍する児童又は生徒の保護者
- （2） 推進校の地域の住民
- （3） 推進校の教職員
- （4） 地域の保育関係者、幼児教育関係者、学校教育関係者
- （5） 学識経験者
- （6） 関係行政機関の職員
- （7） 前各号のほか教育委員会が適当と認める者

2 委員（理事）は、その一部を公募できるものとする。

3 推進校の校長は、委員（理事）を推薦することができる。

4 委員（理事）の定数は、校長と協議のうえ、15 人程度で教育委員会が定める。

5 委員（理事）に欠員が生じたときは、教育委員会は新たに委員（理事）を任命することができる。

6 委員（理事）は、地方公務員法（昭和 25 年法律第 261 号）第 3 条第 3 項第 2 号に規定する特別職の非常勤職員とする。

（委員の任期）

第 11 条 委員（理事）の任期は、任命の日から 1 年以内とする。ただし、任期途中の委員（理事）の交代等に伴う補欠の委員（理事）の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員（理事）は、再任されることができる。

3 第 1 項の規定に関わらず、推進校の指定の期間が満了したとき又は指定が取り消されたときは、委員（理事）は、その身分を失う。

（守秘義務等）

第 12 条 委員（理事）は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

2 前項のほか、委員（理事）は次の各号に掲げる行為をしてはならない。

- （1） 協議会及び推進校の運営に支障をきたす言動を行うこと。

(2) 委員（理事）としての地位を営利行為、政治活動、宗教活動等に不当に利用すること。

(3) 委員（理事）の職の信用を傷つけ、又は委員（理事）の職全体の不名誉となるような非行を行うこと。

（報酬等）

第 13 条 委員（理事）の報酬及び費用弁償については、無償とする。

（会長及び副会長）

第 14 条 協議会に、会長 1 名及び副会長若干名を置く。

2 会長は校長が指名する。副会長は、校長と協議の上、会長が指名する。ただし、推進校の校長その他の教職員を会長又は副会長に指名することはできない。

3 会長は、会務を総理する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を行う。

5 副会長が複数名いる場合は、会長の職務代行についての副会長の優先順位をあらかじめ定めておく。

（議事）

第 15 条 会長は、校長と協議のうえ、協議会の会議を招集し、議事を掌る。

2 会議は、委員（理事）の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

3 議事は、出席委員（理事）の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

4 会長は、必要があるときは、校長から報告及び説明を求めることができる。

5 校長は、会議に出席し、及び意見を述べ、並びに職員を出席させることができる。

6 協議会の協議事項について個人的に利害を有する委員（理事）は、当該協議事項について意見を述べ、又は議決に加わることはできない。

（専門部会等）

第 16 条 校長は、第 7 条に規定する学校運営への参画等を具体的に進めるため、協議会に専門部会（プロジェクト）等を置くことができる。

2 前項の専門部会（プロジェクト）等の具体的内容については、学校の実態に則して、各推進校の協議会会則で定めるものとする。

（指導及び助言）

第 17 条 教育委員会は、協議会の運営に関し、その求めに応じて指導及び助言を行うものとする。

2 推進校の校長及び教育委員会は、協議会が適切な活動を行うことができるよう情報の提供及び説明に努めるものとする。

（指定の取消し）

第 18 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する事由が生じた場合は、必要に応じて適切な指導・助言を行うものとし、当該指導・助言等にもかかわらず、事態が改善しない場合は、推進校の指定を取り消さなければならない。

(1) 協議会が機能せず、その設置の目的を果たせないとき。

(2) 協議会としての合意形成が行えないとき。

(3) その他協議会の運営が著しく適正を欠くことにより、推進校の学校運営に現に著しい支障が生じ、又は生じるおそれがあるとき。

2 校長は、前条第 2 項の規定による情報の提供及び説明に努めたにもかかわらず、基本方針等について協議会の了解が得られないとき又は推進校の運営に現に著しい支障が生じ、若しくは生じるおそれがあるときは、指定の取消しを申し出ることができる。

(解任)

第 19 条 教育委員会は、本人から辞任の申出があったときのほか、次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、委員（理事）を解任することができる。

(1) 第 12 条に規定する義務に違反したとき。

(2) 委員（理事）が心身の故障のために職務を遂行することができないとき。

(3) その他、解任に相当する事由が認められるとき。

2 校長は、委員（理事）が前項各号のいずれかに該当すると認めるときは、直ちに教育委員会に報告しなければならない。

(運営等)

第 20 条 協議会は、法令及び教育委員会が定める要綱及びその設置目的に反しない範囲において、その運営に必要な事項を定めることができる。

(委任)

第 21 条 この要綱において別に定めることとされている事項及びこの要綱の実施に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成 22 年 4 月 1 日から実施する。

地域密着型教育推進事業に係る「地域密着型教育コーディネーター」設置要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、地域密着型教育推進事業において、地域密着型教育を支援するために推進校に配置する地域密着型教育コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）について必要事項を定めるものとする。

(設 置)

第2条 八戸市教育委員会（以下「委員会」という）は、児童数 100 人以上の小学校及び、生徒数 80 人以上の中学校の推進校にコーディネーターを置くものとする。

2 コーディネーターは、地域密着型教育推進校（以下「推進校」という）校長の推薦により選任し、委員会が委嘱する。

3 コーディネーターは、原則 1 推進校 1 人とする。ただし、必要と認められる場合は複数名委嘱することができる。

(職 務)

第3条 コーディネーターは次に掲げる業務を行う。

- (1) 推進校に設置する地域学校連携協議会の事務に関すること。
- (2) 学校支援ボランティア人材バンクの作成事務に関すること。
- (3) 学校が必要とする支援と人材バンク登録者や地域とのコーディネート（調整）に関すること。
- (4) 地域学校連携協議会が検討した事業の実施に関すること。
- (5) その他委員会及び推進校校長が学校支援に関して必要と認める事項に関すること。

(服 務)

第4条 コーディネーターは、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 法令等及び委員会の職務上の命令に従うこと。
- (2) 職の信用を傷つけ、又は職全体の不名誉となるような行為をしないこと。
- (3) 職務上知り得た秘密を漏らさないこと。
- (4) 誠実かつ公正に勤務すること。

(免 職)

第5条 委員会は、コーディネーターが次の項に該当する場合においては、その任期中においても委嘱を解くことができる。

- (1) 本人の都合により退職を申し出た場合
- (2) 心身の故障のため、職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合
- (3) その職に必要な適正を欠く場合

(4) 刑事事件に関し起訴された場合

(任用期間)

第6条 コーディネーターは、1年を超えない期間を任期として任用する。ただし、更新することを妨げない。

(勤務日及び勤務時間等)

第7条 原則として、1週間の勤務時間はおおむね7時間以内とする。

2 勤務場所は、原則として推進校校内とする。ただし、委員会もしくは推進校校長が必要と認めた場合は、校外においても勤務することができる。

(謝礼及びその支給)

第8条 謝礼は、予算の範囲内において支給するものとし、時給800円とする。

2 謝礼の計算期間は、一の月の初日から末日までとする。

3 謝礼の支給日は、前項の計算期間の翌月の21日（その日が日曜日、休日又は土曜日に当たるときは、その日の前日以前で、かつ、その日に最も近い日曜日、休日又は土曜日でない日）とする。

(費用弁償)

第9条 コーディネーターに支給する費用弁償の額は、八戸市職員等の旅費支給条例（昭和28年八戸市条例第9号）第14条第1項第3号に規定する特別職の職員等以外の職員の職務にある職員相当額とする。

2 コーディネーターに対する費用弁償の支給は、一般職の例による。

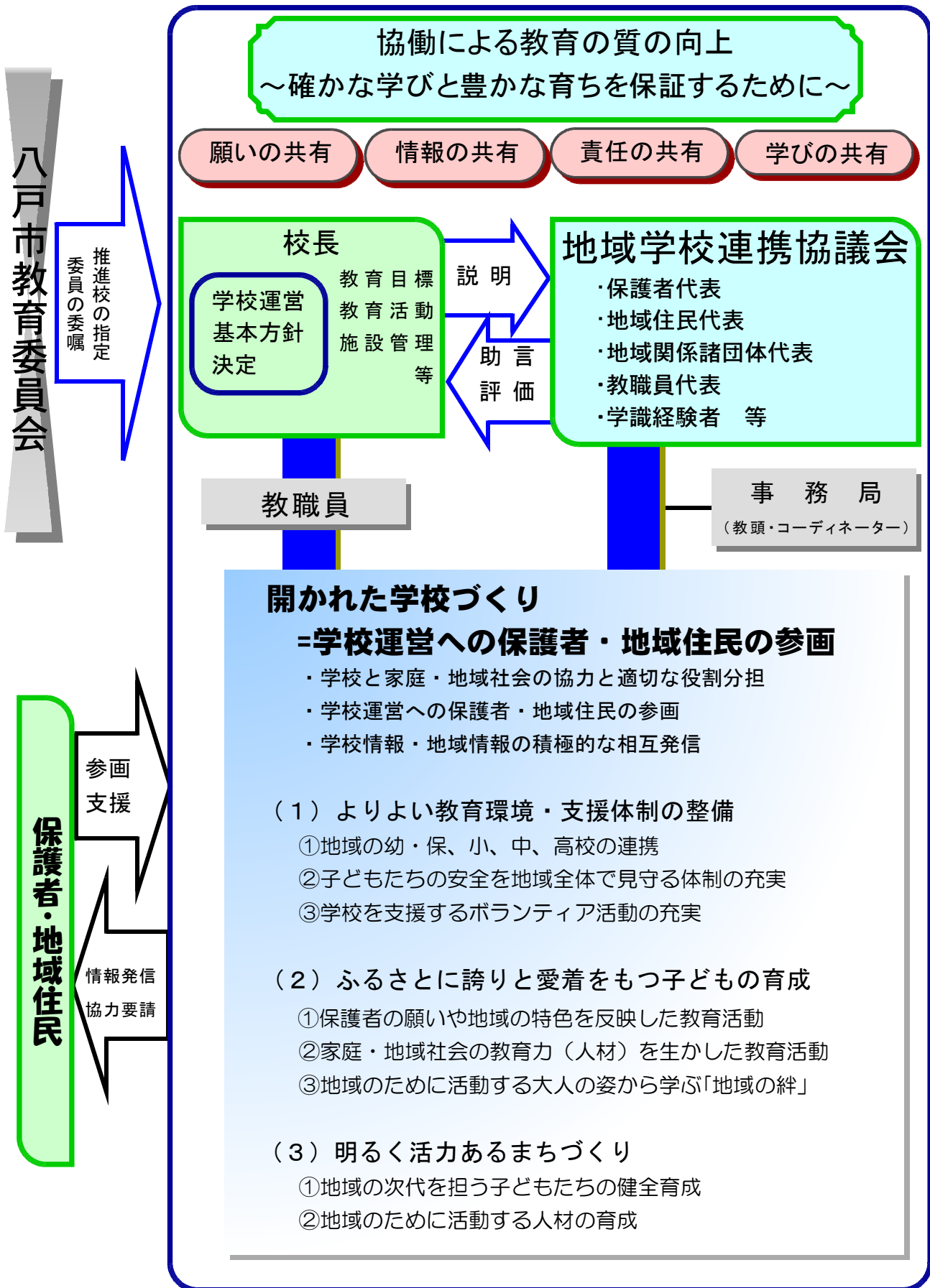
(その他)

第10条 この要綱の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

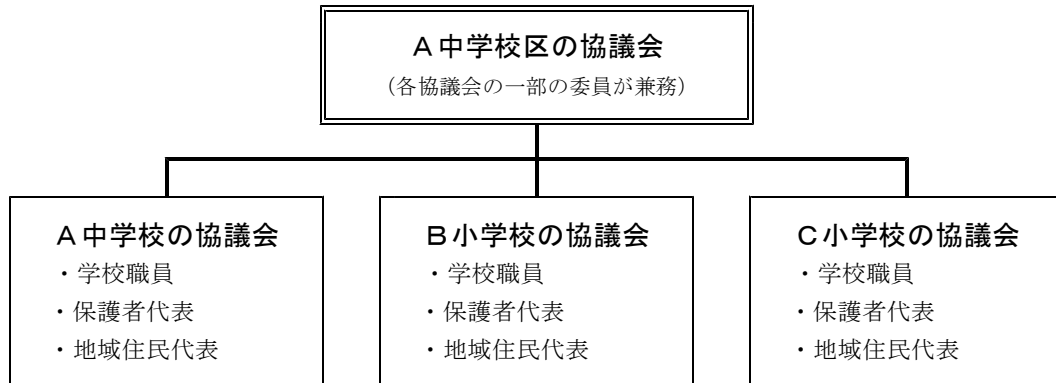
この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

地域密着型教育推進事業基本構想図

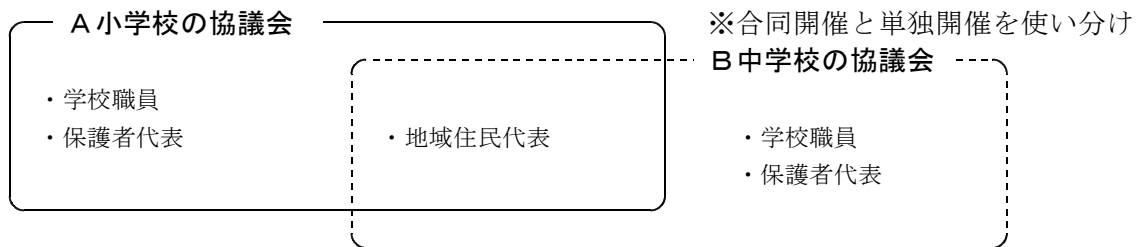


同一学区内地域学校連携協議会の形態例

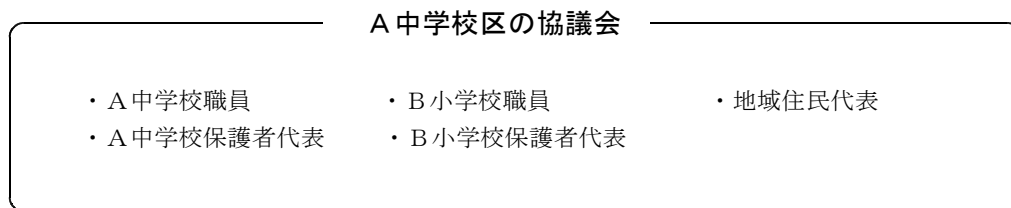
1 複数の協議会のネットワーク型



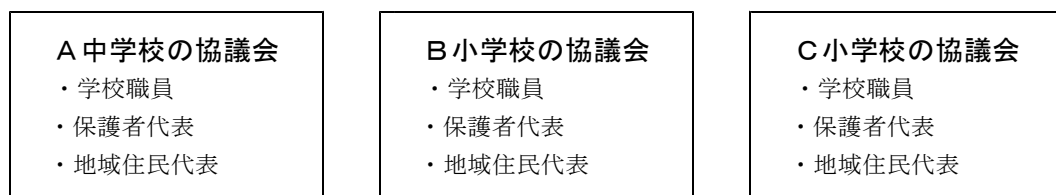
2 一部の委員が兼務する一部合同型



3 小中合同の完全一体型



4 学校別の独立型



※同じ学区にある他の学校の校長先生を委員やオブザーバーにするケースが多い

新規推進校年間スケジュールの例

月	開 催 会 合 名	内 容	市教委関係・その他
4			推進校説明会 推進校指定書送付 ※参観日での説明 ※地域諸団体への説明
5	準備会① (校長、教頭、指導主事)	・年間スケジュール作成 ・準備委員会メンバーの検討 ・地域密着型教育の方針審議	コーディネーター委嘱状送付 コーディネーター研修会
6	準備会② (校長、教頭、指導主事)	・地域密着型教育の方針審議 ・会則、組織の原案審議 ・協議会委員の選定	
7			推進校連絡会
8	準備委員会① (校長、教頭、P会長、地域代表、指導主事、コーディネーター)	・地域密着型教育の方針審議 ・会則、組織の原案審議 ・協議会委員の選定	コーディネーター研修会
9	準備委員会② (校長、教頭、P会長、地域代表、指導主事、コーディネーター)	・会則、組織の原案審議 ・協議会委員の選定 ・第1回協議会打合せ	
10	第1回地域学校連携協議会	・委嘱状交付（市教委主催） ・会則、組織に関する審議 ・学校経営方針、重点施策等の説明及び審議	
11			
12			コーディネーター研修会 推進校連絡会
1	第2回地域学校連携協議会	・学校の現状と課題の説明及び審議 ・学校評価に関する説明及び審議 ・来年度の予定に関する説明及び審議	J S ・地域密着実践報告会
2			
3	第3回地域学校連携協議会	・今年度の成果と課題の説明及び審議 ・来年度の教育計画についての説明	実践報告集発行

地域密着型教育推進事業と学校支援地域本部事業との違い

		地域密着型教育推進事業	学校支援地域本部事業
事業のねらい		①学校教育の質の向上 保護者や地域住民のねがいを生かした教育活動を展開する ②子どものふるさとへの誇りと愛着をはぐくむ ③明るく活力あるまちづくりに貢献	①学校教育の質の向上 ボランティアを活用することで、教員が子どもと向き合う時間を確保する ②生涯学習社会の実現 ③地域の教育力の向上
事業の概要		保護者や地域住民が 学校運営に参画 する仕組みづくり	地域住民が 教育活動に協力 する仕組みづくり
事業を統括する組織	組織名	地域学校連携協議会	地域教育協議会
	構成員	教員、保護者、地域団体代表等	教員、地域団体代表等
	役割	・教育目標や教育計画についての審議をする ・ボランティアをどの取組に活用するかを主体的に決める ・教育活動についての評価をする ※教育活動に対する責任を負う	・学校から派遣を依頼された教育活動にボランティアを派遣する計画を立てる（別紙資料参照） ※教育活動に対する責任は負わない
コーディネーターの役割		・地域学校連携協議会等各種会議の準備 ・学校との連絡、調整 ・PTAとの連絡、調整 ・ボランティアの発掘、連絡、調整	・学校との連絡、調整 ・ボランティアの発掘、連絡、調整
ボランティア活動の意味		ねらいを達成させるための 一つの手段	地域住民によるボランティア活動が 事業のねらいそのもの
財源		自主財源（40校分） （学校支援地域本部事業実施の14校はその予算を活用）	H22まで：文部科学省委託事業 H23から：文部科学省補助事業 （国、県、市が各1／3）